

平成 26 年度
牧之原市 市民意識調査
～ 報 告 書 ～

平成 26 年 9 月
牧 之 原 市

1 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査項目	1
3) 調査の設計	1
4) 回収状況	1
2 調査結果	2
1) 調査結果の要約	2
2) 調査結果の詳細	8
＜牧之原市での暮らしについて＞	8
＜原子力発電について＞	16
＜子育て環境について＞	18
＜公共施設の更新問題について＞	21
＜産業・雇用について＞	26
＜地域活動について＞	30
＜市からの情報発信について＞	36
＜牧之原市の行政サービスについて＞	49
＜回答者の属性＞	60
3 調査票	61

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成 27 年度から実施する第 2 次総合計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- ・ 牧之原市での暮らしについて
- ・ 子育て環境について
- ・ 産業・雇用について
- ・ 市からの情報発信について
- ・ 回答者の属性
- ・ 原子力発電について
- ・ 公共施設の更新問題について
- ・ 地域活動について
- ・ 牧之原市の行政サービスについて
- ・ 日ごろ思うこと（自由意見）

3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の 16 歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成 26 年 7 月 18 日～平成 26 年 8 月 1 日
- ・ 発 送 数：1,394 通（1,400 人抽出のうち 転居等で 6 通は不達）

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,394 人	787 人	56.5%

抽出数は 1,400 人であるが、事前転居や宛先不明により
市内に居住が認められない 6 人については対象外とした
回収数 790 人のうち無効票 3 人

◎ 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してある。

※百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100％にならないことがある。

※1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100％を超える場合がある。

※選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

牧之原市での暮らしについて

◆牧之原市に住み続けたい人は約6割

今の住まいの場所での定住意向は、「住み続けたい」が57.4%で最も多いものの、平成21年度以降、年々減少している。

◆他の地域へ移りたい理由のトップは、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」で約6割

他の地域へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が60.5%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が37.6%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が28.6%などとなっている。

◆今現在、幸せだと思う人は約7割

今現在、「幸せだと思う」（「大いに思う」＋「ある程度思う」）と回答した人は69.4%と約7割を占めており、昨年度と比較すると、「幸せだと思う」が2.8%高くなっている。一方、「幸せだと思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）と回答した人は8.0%と、1割未満にとどまっており、幸福感は高いと思われる。

◆幸せだと思う主な理由は健康と家族・友人との人間関係

幸せだと思う理由は、「健康であるから」が62.8%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が52.2%、「住まいがあるから」が44.0%などとなっている。

原子力発電について

◆浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が半数以上

浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が55.3%と半数以上を占めており、昨年度と比較すると4.0ポイント高くなっている。一方、「安全が確認できれば、稼動したほうがよい」は19.4%で、昨年度よりも3.9ポイント減少している。

子育て環境について

◆牧之原市を、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”人は約3割

子育て環境については、「(産み育てやすいと)ある程度思う」が30.2%で最も多く、「大いに思う」と合わせた“こどもを産み育てやすい環境だと思う”は、33.5%となっている。昨年度と比較すると、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は3.6ポイント高くなっており、一方、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は2.9ポイント低くなっている。

◆子どもを産み育てやすい環境にするために市が取り組むべきことは、「小児科医や産婦人科などの医療機関の充実」で6割以上

子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことについては、「小児科医や産婦人科などの医療機関の充実」が66.7%と6割を超え最も多く、次いで「医療費が無料化」が42.3%、「地震・津波など災害対策」が30.2%などとなっている。

公共施設の更新問題について

◆公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度は約3割

公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度については、「聞いたことがある」が37.1%と最も多く、次いで「知っている」が31.6%、「知らない」が30.4%となっている。

◆公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組みの認知度は1割未満

公共施設の更新問題（老朽化問題）に対する牧之原市の取り組みの認知度については、「知らない」が67.6%と約7割を占め最も多く、次いで「聞いたことがある」が21.0%となっており、「知っている」は8.1%で、認知度は1割を下回っている。

◆公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組み情報の入手経路トップは「広報まきのはら」で6割以上

公共施設の更新問題（老朽化問題）に対応するための取り組み情報の入手経路トップは、「広報まきのはら」が65.9%と最も多く、次いで「家族や知人」が32.8%、「議員の話」が14.4%などとなっている。

◆施設の統廃合により、施設が利用できなくなったり、使用料の値上がりを“容認できる”人は約8割

公共施設の更新問題（老朽化問題）への対応を進めることで起こる諸問題については、「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”が83.0%と、約8割を占めている。一方、「容認できない」は14.7%と、1割程度にとどまっている。

産業・雇用について

◆市の産業について、“活力（元気）があると思う”人は1割未満

市の産業に活力（元気）があると思うかについては、「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“活力（元気）があると思う”が5.8%と、1割未満にとどまっている。一方、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“活力（元気）があると思わない”は62.8%となっている。

◆もっとも活力（元気）のある産業は、「農業」で5割以上

もっとも活力（元気）があると思う産業については、「農業」が55.6%で最も多く、次いで「工業」が31.1%、「水産業」が22.2%などとなっている。

◆市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは、「企業誘致の促進」が約5割

市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みについては、「企業誘致の促進」が47.8%で最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が40.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が32.3%などとなっている。

地域活動について

◆一週間あたりの外出日数は、「毎日」が約5割

一週間あたりの外出日数については、「毎日」が48.8%と約5割を占めている。次いで「週に4～5日」が22.0%、「週に2～3日」が17.3%などとなっている。

◆外出目的のトップは、「買い物」で8割以上

外出の目的については、「買い物」が83.7%と最も多く、8割を超えている。次いで「仕事（農作業含む）」が63.9%、「趣味や娯楽」が37.5%などとなっている。

◆現在参加している地域活動のトップは、「自治会の行事」で3割以上

現在参加している地域活動については、「自治会の行事」が36.2%と最も多くなっている。次いで「防犯や防災」が21.7%、「文化芸術」が15.5%などとなっている。一方、「参加していない」は29.0%で、約3割となっている。

◆地域活動の活発・活性化に必要と思うことは、「住民の自治意識の向上」が約5割

地域活動の活発・活性化に必要と思うことについては、「住民の自治意識の向上」が51.2%と半数を超えて最も多く、次いで「住民との地域情報の共有」が37.9%、「行政からの財政支援」が28.2%などとなっている。

市からの情報発信について

◆市から得たい情報のトップは、「健康・医療・福祉」 6割以上

市から得たい情報については、「健康・医療・福祉」が 65.1%と最も多く、次いで「防災・防犯」が 50.6%、「観光・イベント」が 26.4%などとなっている。昨年度と比較すると、「健康・医療・福祉」が 9.5 ポイント、「防災・防犯」が 10.7 ポイント、「生活」が 10.2 ポイント低くなっている。

◆市からの情報の入手手段トップは、「広報まきのはら」 約 8 割

市からの情報の入手手段については、「広報まきのはら」が 81.1%と最も多く、他の項目と比べても突出して高くなっている。次いで「家族や知人」が 35.5%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 27.8%などとなっている。

◆広報まきのはらで読まれているのは、「全て」が半数以上

広報まきのはらの中で読んでいる箇所については、「全て」が 56.9%と半数を超え最も多く、次いで「特集・お知らせ」が 28.5%、「まちのわだい」が 17.6%などとなっている。

◆広報まきのはらの文字の大きさ・文字の量・ページ数は、「ちょうど良い」が 8割以上 見やすさは“見やすい”が約 7割、内容は“良い”が 6割以上

広報まきのはらの文字の大きさについては、「ちょうど良い」が 87.2%と約 9割を占めている。

文字の量については、「ちょうど良い」が 83.9%と約 8割を占めている。

ページ数については、「ちょうど良い」が 80.1%と約 8割を占めている

見やすさについては、「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は 71.1%と約 7割を占め、「どちらかといえば見にくい」と「見にくい」を合わせた“見にくい”は 11.8%と約 1割を占めている。

内容については、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は 65.0%と 6割を超えており、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”は 7.6%と 1割未満にとどまっている。

牧之原市の行政サービスについて

◆みんなが主役 想いが実現するまち◆

「行政改革の取り組み」の満足度が最も低い

『行政改革の取り組み』の満足度は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満である”が 61.0%と約 6 割を占め、評価点も -0.55 点と低くなっている。一方で、『行政改革の取り組み』の重要度は『市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』に次いで二番目となっている。

◆支えあい学びあう幸せのまち◆

「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」の満足度が最も低い

『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』の満足度は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満である”が 64.1%と 6 割を超え、評価点も -0.74 点と低くなっている。一方で、『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』の重要度は『学校や地域で子どもを守る取り組み』に次いで二番目となっている。

◆知恵や技術を活かした活力あるまちづくり◆

すべての項目で満足度がマイナス評価、重要度がプラス評価

すべての項目で満足度の評価点がマイナス値で、重要度の評価点はプラス値となっている。特に、満足度では『耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』の評価点が -1.04 点で最も低い。一方、重要度では『空港を活用するための取り組み』の評価点が 0.62 点で最も高くなっている。

◆うみ・そら・みどりと共生するまち◆

公共交通の充実・観光誘客促進のための取り組みの満足度が高く、 震災・防災のための取り組みの重要度が高い

満足度では『公共交通の充実』の評価点が -0.83 点と最も低く、次いで『観光誘客促進のための取り組み』も -0.62 点と低くなっている。重要度では『震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』の評価点が 1.02 点で最も高く、次いで『自主防災組織の強化のための取り組み』も 1.01 点と高くなっており、震災・防災に関する取り組みの重要度が高いことがわかる。

～ すべての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

■■■ 満足度 ■■■

■■■ 重要度 ■■■

順位	取り組み	分野	26年度 (A)	25年度 (B)	差 (A)-(B)
1	子ども医療費制度		0.46	0.43	0.03
2	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.35	0.48	-0.14
3	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.28	0.33	-0.05
4	幼稚園・保育園の整備		0.24	0.33	-0.08
5	健康相談などの日常的な保健活動		0.21	0.19	0.02
6	生活環境対策などへの取り組み		0.19	0.03	0.17
7	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.19	0.29	-0.10
8	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		0.19	0.13	0.06
9	健康づくりサービスの推進		0.15	0.14	0.01
10	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.11	-0.01	0.12
11	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		0.07	-0.05	0.12
12	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.06	-0.03	0.10
13	上水道施設整備の取り組み		0.06	0.05	0.02
14	子育て支援の取り組み		0.06	0.11	-0.05
15	小・中学校施設の整備		0.00	0.25	-0.25
16	自主防災組織の強化のための取り組み		-0.01	-0.20	0.19
17	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		-0.02	-0.12	0.10
18	高齢者への福祉サービスの取り組み		-0.03	0.01	-0.04
19	障がい者への福祉サービスの取り組み		-0.04	-0.09	0.05
20	子どもを通わせたいと思う学校づくりへの取り組み		-0.10	-	-
21	公害防止対策への取り組み		-0.10	-0.24	0.14
22	学校・家庭・地域での子どもたちへの学力向上への取り組み		-0.11	-0.04	-0.07
23	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		-0.15	-0.16	0.01
24	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		-0.15	-	-
25	公共スポーツ施設の整備		-0.17	-0.22	0.05
26	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		-0.17	-0.56	0.39
27	福祉施設などの整備		-0.18	-0.28	0.11
28	各種イベントの開催		-0.21	-0.19	-0.02
29	自然環境の保全への取り組み		-0.22	-0.25	0.03
30	茶業安定の取り組み		-0.25	-0.19	-0.07
31	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		-0.27	-0.37	0.09
32	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		-0.29	-0.36	0.06
33	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		-0.31	-0.60	0.28
34	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）		-0.32	-0.35	0.02
35	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		-0.35	-0.38	0.03
36	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		-0.37	-0.40	0.03
37	特産品の消費推進の取り組み		-0.40	-0.27	-0.13
38	公園・緑地の管理や整備の取り組み		-0.43	-0.43	0.00
39	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		-0.48	-0.60	0.13
40	道路や河川の補修や道路や河川の整備		-0.48	-0.50	0.02
41	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		-0.49	-0.67	0.18
42	道路交通の安全対策		-0.52	-0.59	0.08
43	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		-0.54	-0.74	0.20
44	行政改革の取り組み		-0.55	-0.54	-0.01
45	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		-0.55	-	-
46	商工業の振興の取り組み		-0.58	-0.66	0.08
47	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		-0.59	-0.46	-0.13
48	計画的な土地利用の推進		-0.62	-0.64	0.02
49	観光誘客促進のための取り組み		-0.62	-0.60	-0.03
50	起業家支援、産業雇用支援の取り組み		-0.71	-0.81	0.09
51	空港を活用するための取り組み		-0.71	-0.75	0.04
52	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		-0.74	-0.53	-0.21
53	農漁業の担い手への支援の取り組み		-0.78	-0.81	0.03
54	商店街の魅力向上の取り組み		-0.82	-0.85	0.03
55	公共交通の充実（バス交通など）		-0.83	-0.83	0.00
56	企業誘致の取り組み		-0.87	-0.93	0.05
57	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		-1.04	-1.03	-0.01
1	学校や地域で子どもを守る取り組み		1.12	1.01	0.11
2	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		1.07	1.16	-0.09
3	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み		1.02	1.16	-0.14
4	自主防災組織の強化のための取り組み		1.01	1.12	-0.11
5	子ども医療費制度		1.00	1.11	-0.11
6	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み		0.97	1.05	-0.09
7	生活環境対策などへの取り組み		0.96	1.07	-0.11
8	子どもを通わせたいと思う学校づくりへの取り組み		0.95	-	-
9	幼稚園・保育園の整備		0.93	1.00	-0.07
10	小・中学校施設の整備		0.90	0.99	-0.09
11	子育て支援の取り組み		0.89	0.93	-0.04
12	学校・家庭・地域での子どもたちへの学力向上への取り組み		0.87	0.75	0.11
13	福祉施設などの整備		0.85	0.87	-0.01
14	道路交通の安全対策		0.84	0.84	0.00
15	健康づくりサービスの推進		0.84	0.83	0.00
16	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み		0.81	0.81	0.00
17	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.79	0.82	-0.02
18	上水道施設整備の取り組み		0.76	0.71	0.05
19	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み		0.76	0.95	-0.20
20	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる充分な情報発信		0.75	0.79	-0.03
21	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.75	0.77	-0.02
22	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み		0.69	0.88	-0.19
23	健康相談などの日常的な保健活動		0.68	0.68	0.00
24	行政改革の取り組み		0.67	0.67	0.00
25	道路や河川の補修や道路や河川の整備		0.64	0.71	-0.07
26	公害防止対策への取り組み		0.63	0.82	-0.19
27	空港を活用するための取り組み		0.62	0.76	-0.14
28	公共交通の充実（バス交通など）		0.60	0.65	-0.04
29	企業誘致の取り組み		0.59	0.72	-0.13
30	特産品の消費推進の取り組み		0.57	0.70	-0.12
31	地区公民館などの活動拠点の施設整備		0.53	0.45	0.08
32	茶業安定の取り組み		0.51	0.75	-0.23
33	観光誘客促進のための取り組み		0.51	0.45	0.06
34	起業家支援、産業雇用支援の取り組み		0.51	0.54	-0.03
35	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み		0.49	0.58	-0.09
36	商工業の振興の取り組み		0.49	0.60	-0.11
37	計画的な土地利用の推進		0.48	0.55	-0.07
38	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）		0.45	0.40	0.05
39	地域福祉活動を行うボランティア等への支援		0.44	-	-
40	商店街の魅力向上の取り組み		0.44	0.59	-0.16
41	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供		0.43	0.44	-0.01
42	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み		0.42	0.52	-0.10
43	公園・緑地の管理や整備の取り組み		0.41	0.47	-0.07
44	農漁業の担い手への支援の取り組み		0.40	0.48	-0.08
45	公共スポーツ施設の整備		0.40	0.31	0.09
46	悩みごと相談など各種相談窓口の充実		0.40	0.45	-0.05
47	情報通信技術（ICT）の環境整備の取り組み		0.39	0.37	0.03
48	自然環境の保全への取り組み		0.39	0.68	-0.29
49	街並みや周辺の景観・美観への取り組み		0.39	0.44	-0.05
50	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み		0.38	0.33	0.05
51	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み		0.33	0.31	0.02
52	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み		0.24	0.02	0.22
53	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信		0.23	-	-
54	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み		0.22	0.15	0.07
55	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備		0.20	0.20	-0.01
56	各種イベントの開催		0.17	0.24	-0.07
57	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み		-0.03	0.12	-0.15

※「地域福祉活動を行うボランティア等への支援」、「子どもを通わせたいと思う学校づくりへの取り組み」、「住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信」は、今年度新たに追加された項目

* 分野の凡例



みんなが主役 想いが実現するまち



知恵や技術を活かした活力あるまちづくり



支えあい学びあう幸せのまち



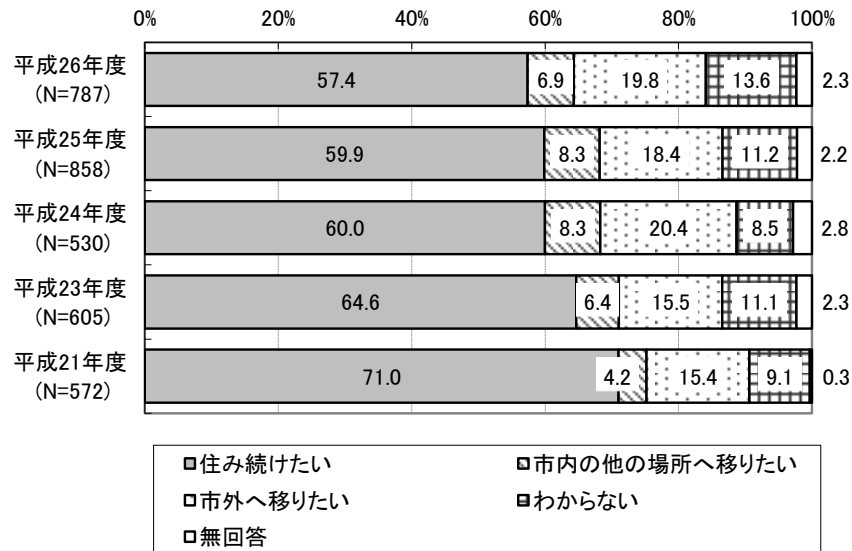
うみ・そら・みどりと共生するまち

2) 調査結果の詳細

<牧之原市での暮らしについて>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？

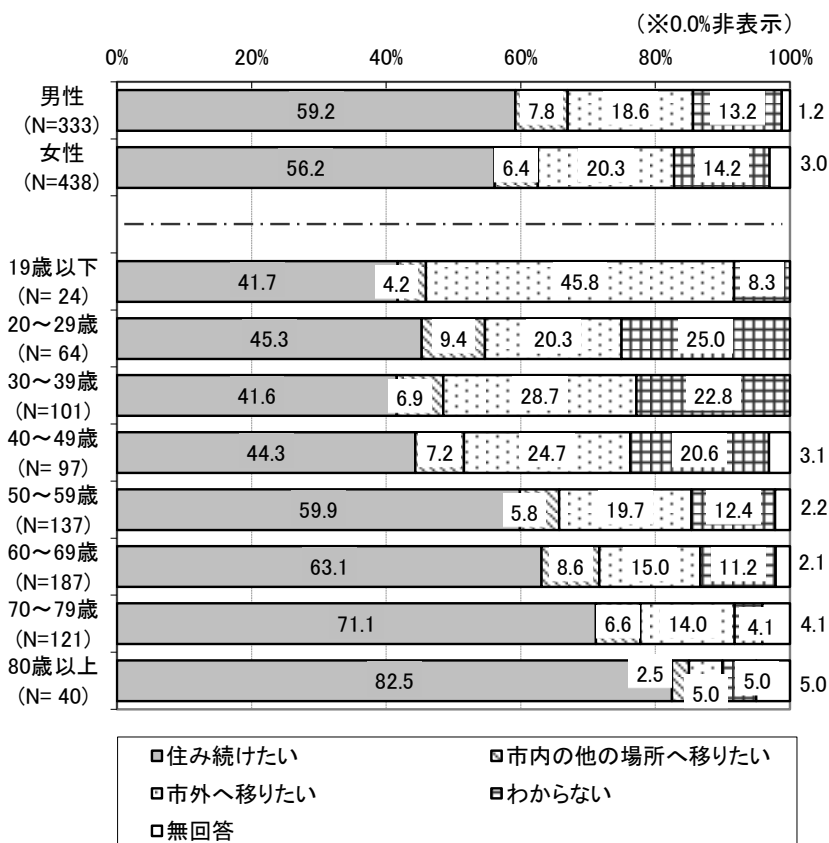
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



現在の住まいの場所での定住意向については、「住み続けたい」が57.4%で、最も多い。

昨年度と比較すると、「市外へ移りたい」は19.8%で約2割を占め、1.4ポイント高く、「住み続けたい」は2.5ポイント低くなっており、平成21年度以降、年々減少している。

クロス集計



【性別】

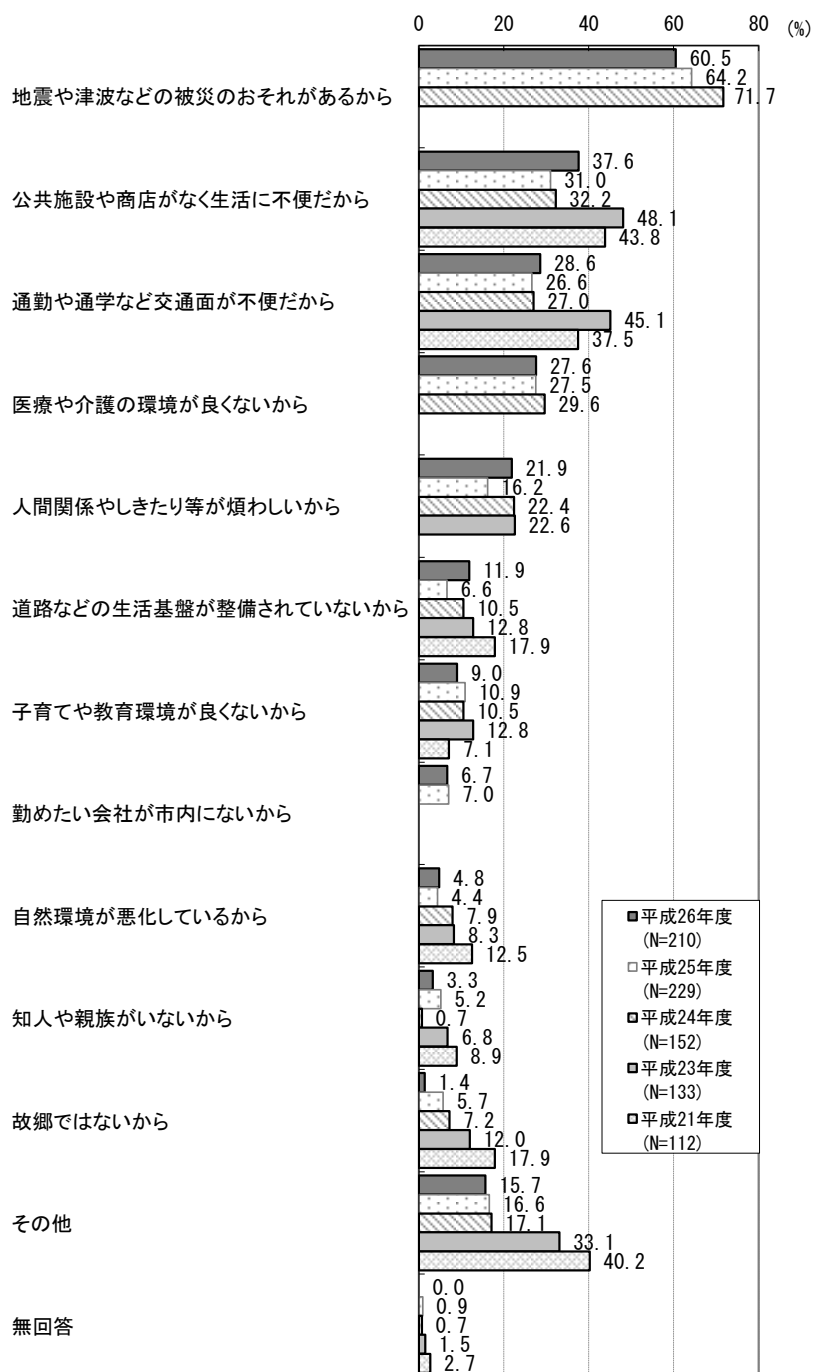
男性において「住み続けたい」が59.2%と、女性を3.0ポイント上回っている。一方、女性では「市外へ移りたい」が20.3%で、男性を1.7ポイント上回っている。

【年代別】

年代が上がるにつれて、「住み続けたい」が多くなる傾向にあり、特に80歳以上においては8割を超えている。一方、「50歳未満」では「市外へ移りたい」が2割以上を占め、特に19歳以下では45.8%と半数近くを占めている。

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

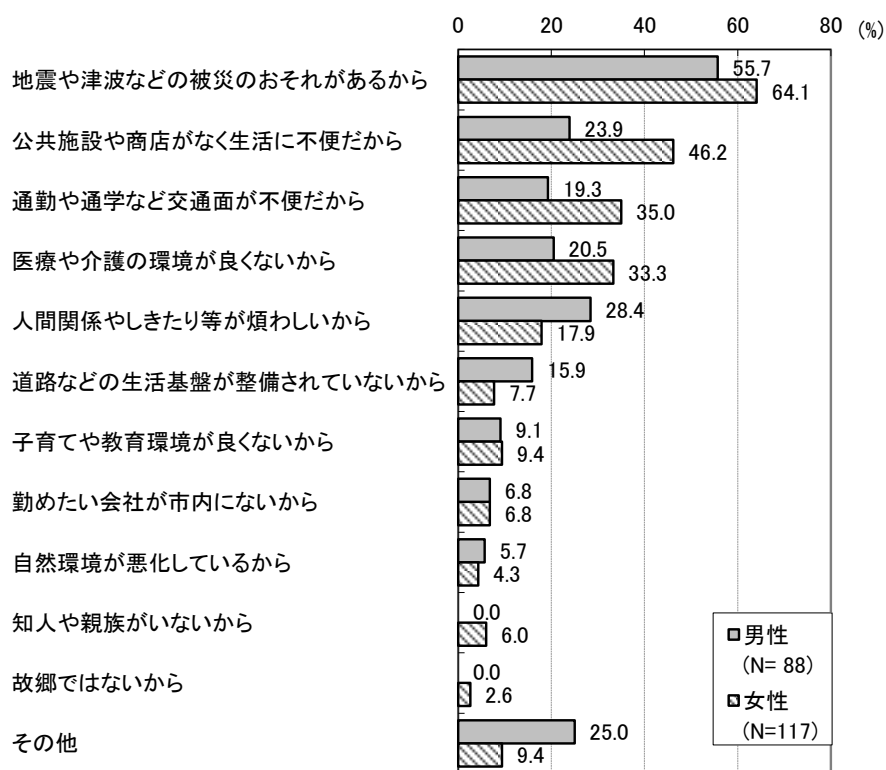


※「地震や津波などの被災のおそれがあるから」は、平成24年度より追加された項目

※「勤めたい会社が市内にないから」は、平成25年度より追加された項目

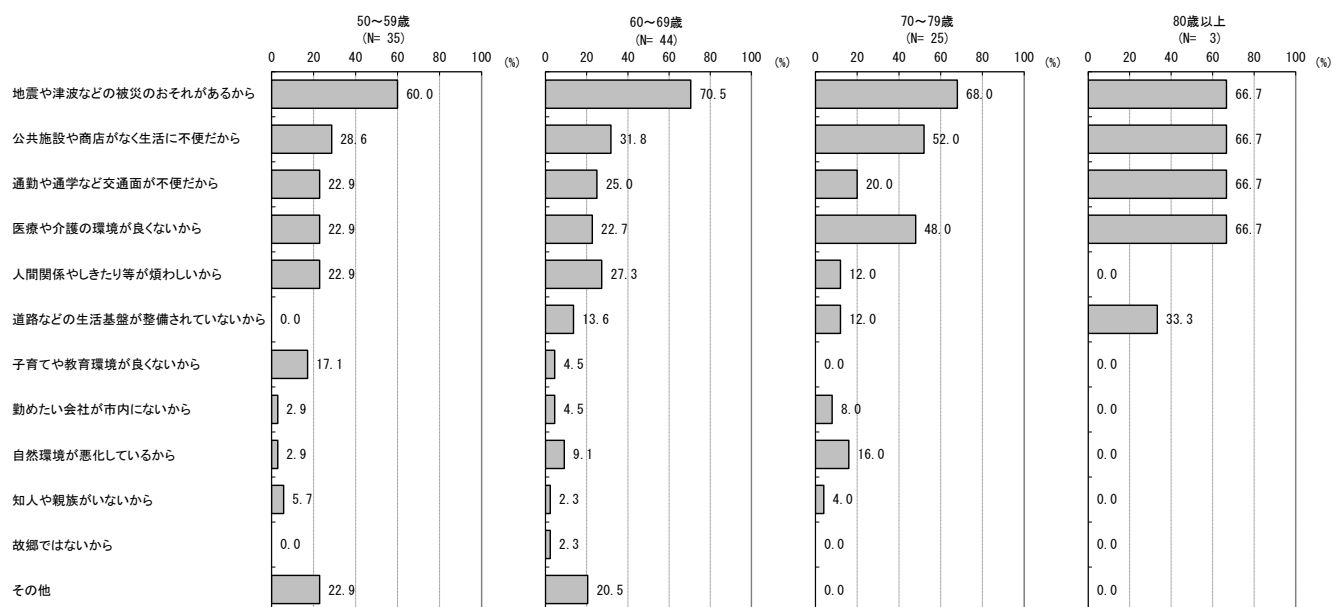
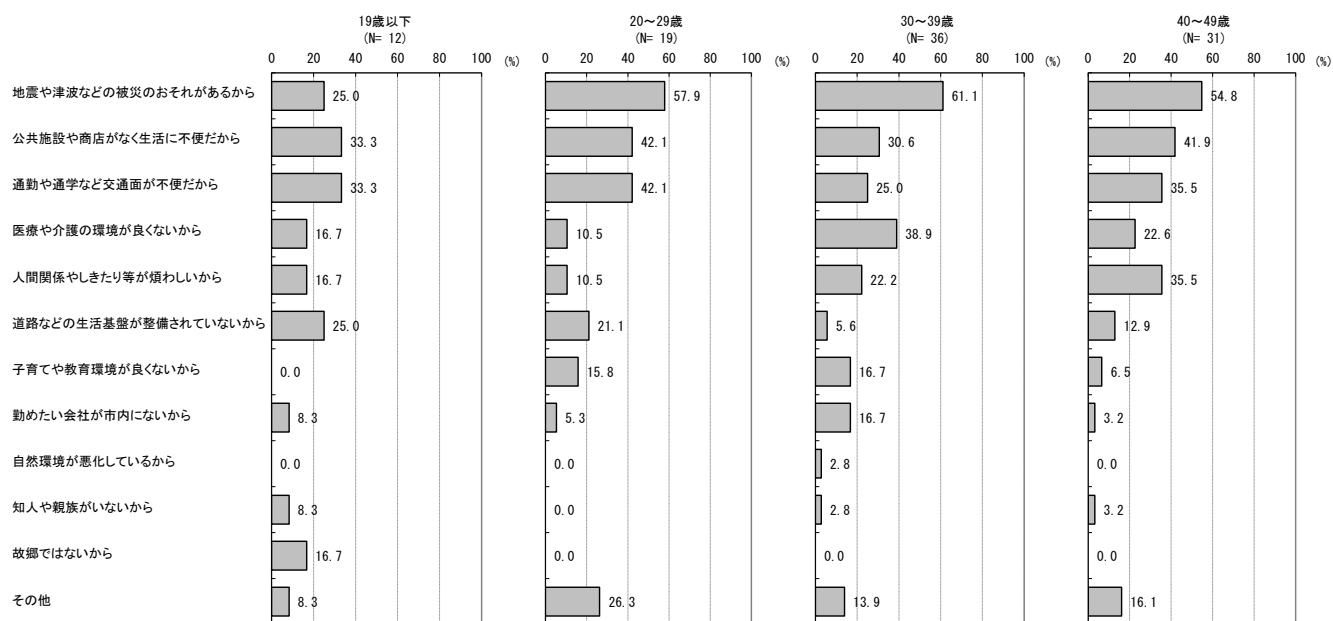
問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と回答した210人に他の地域へ移りたい理由についてうかがったところ、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が60.5%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が37.6%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が28.6%などとなっている。

昨年度と比較すると、「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が6.6ポイント高くなっている。一方、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」は平成24年度以降、年々減少している。



【性別】

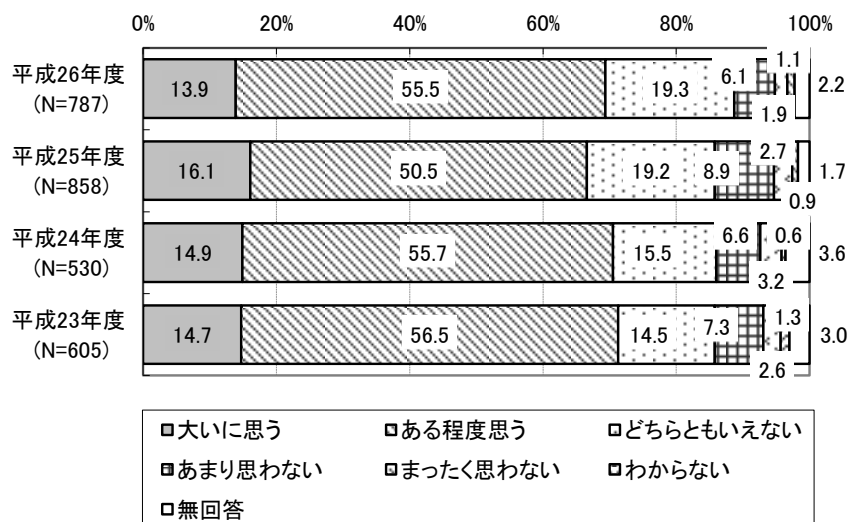
回答割合の高い項目では、男性に比べて女性の割合が上回っており、特に「公共施設や商店がなく生活に不便だから」では46.2%と、男性を22.3ポイント上回っている。一方、男性では「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が28.4%と約3割を占め、女性を10.5ポイント上回っている。



【年代別】

“20 歳以上”において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が最も多くなっており、特に 60～69 歳では7割を超えている。また、20～29 歳では「通勤や通学などに交通面が不便だから」が、30～39 歳では「勤めたい会社が市内にないから」が、70～79 歳では「医療や介護の環境が良くないから」が、他の年代に比べて多くなっている。

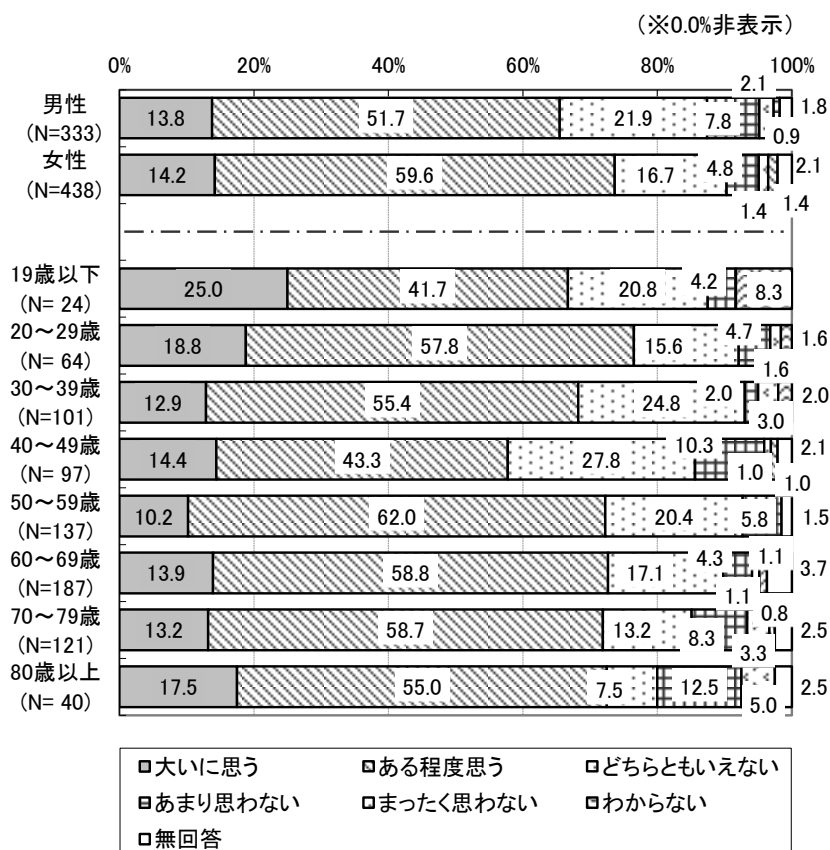
問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が 55.5%と5割以上を占めている。次いで「どちらともいえない」が 19.3%、「大いに思う」が 13.9%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた「幸せだと思う」は 69.4%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた「幸せだと思わない」は 8.0%となっている。

昨年度と比較すると、「幸せだと思う」が 2.8%高くなっている。

クロス集計



【性別】

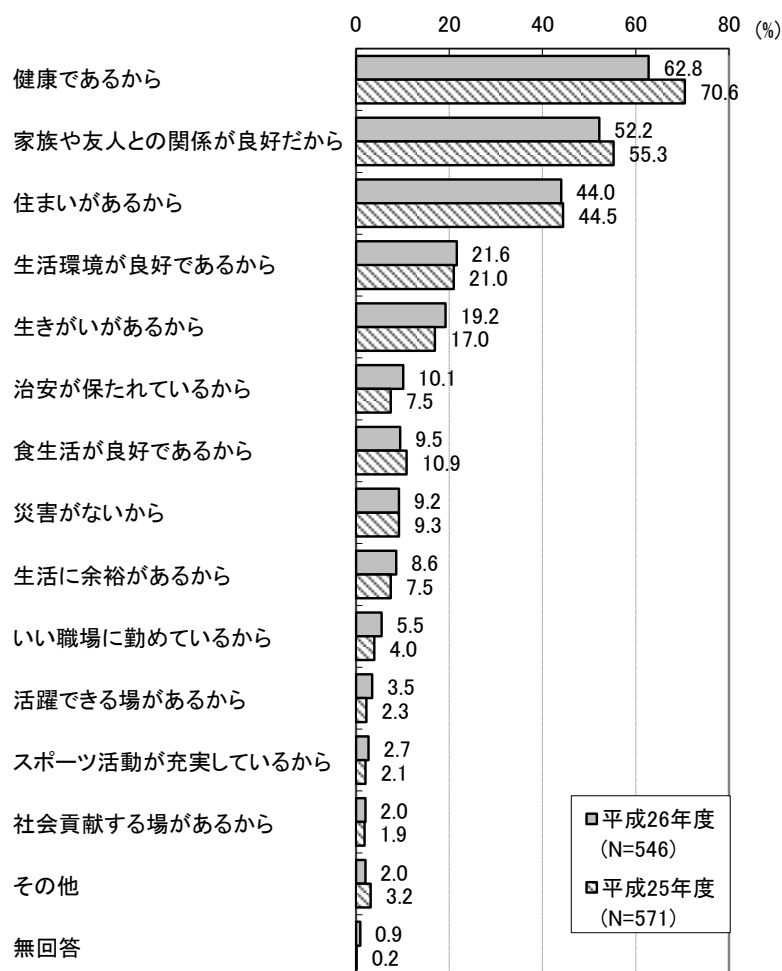
女性において「ある程度思う」が 59.6%と約6割を占め、「幸せだと思う」が 73.8%と男性を 8.3ポイント上回っている。一方、男性では“幸せだと思わない”が 9.9%と約1割を占め、女性を 3.7ポイント上回っている。

【年代別】

19歳以下において「大いに思う」が 25.0%と唯一2割を超えている。一方で、40～49歳では「幸せだと思う」が 57.7%と唯一6割を下回り、他の年代に比べて低くなっている。また、40～49歳と80歳以上で、「あまり思わない」が1割を超えている。

(問3で「1 大いに思う」または「2 ある程度思う」と答えた方にお聞きます。)

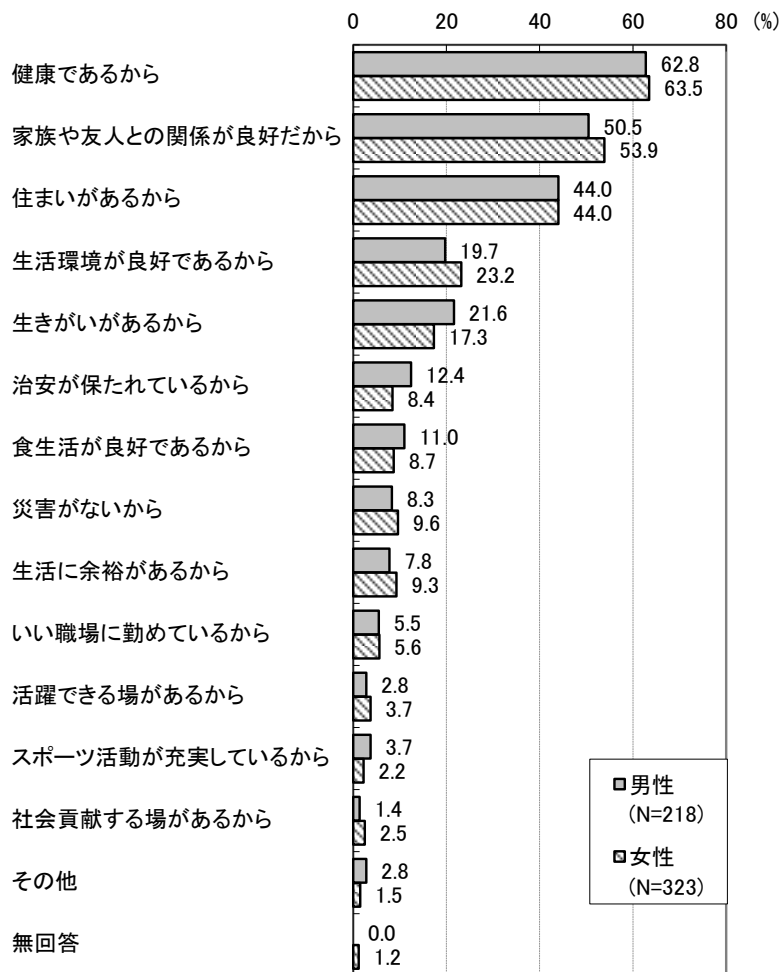
問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



問3で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した 546 人に幸せだと思う理由についてうかがったところ、「健康であるから」が 62.8%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が 52.2%、「住まいがあるから」が 44.0%などとなっている。

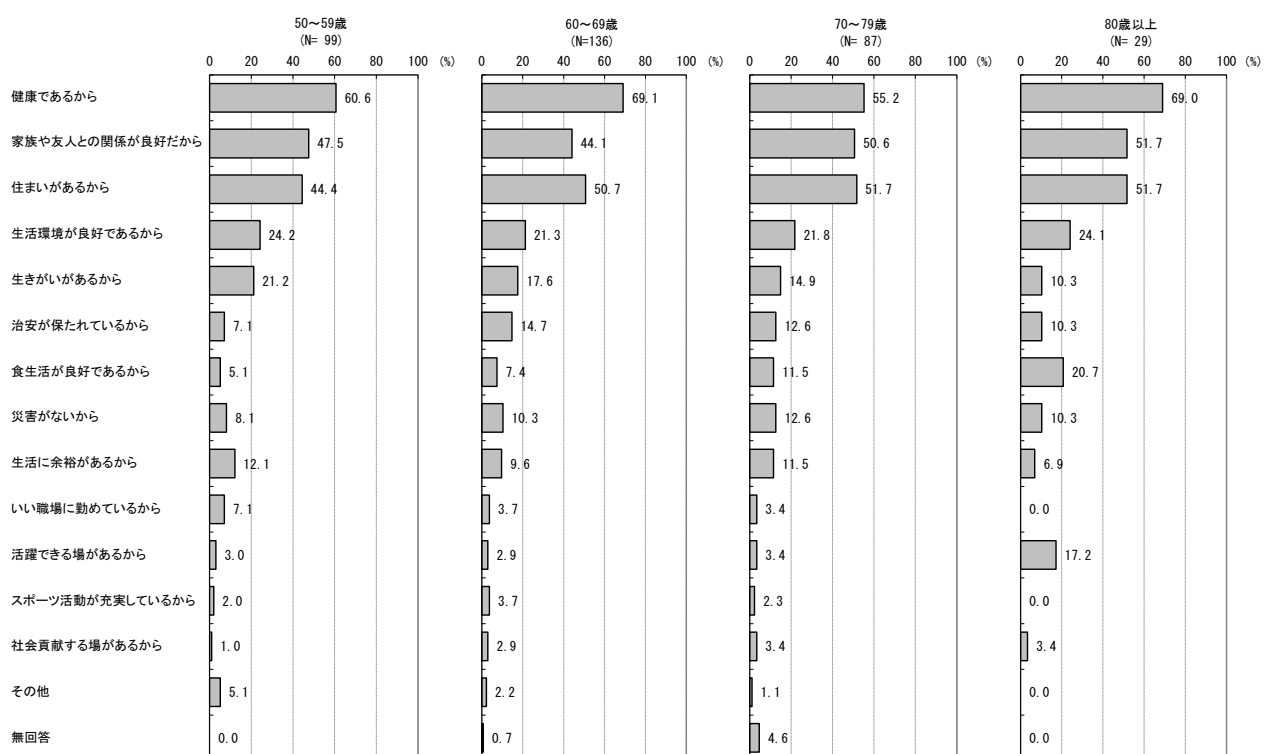
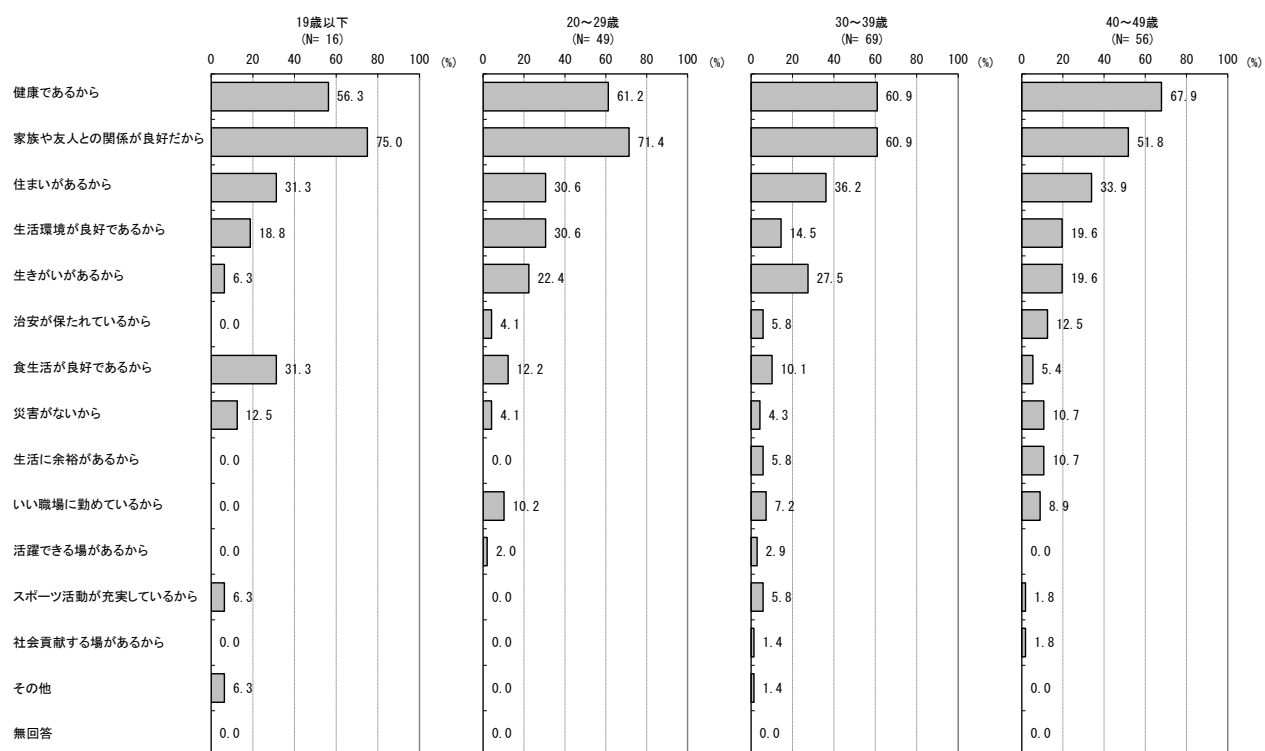
昨年度に比べ、上位3項目において割合がやや低くなっており、特に「健康であるから」は 7.8 ポイント低くなっている。

クロス集計



【性別】

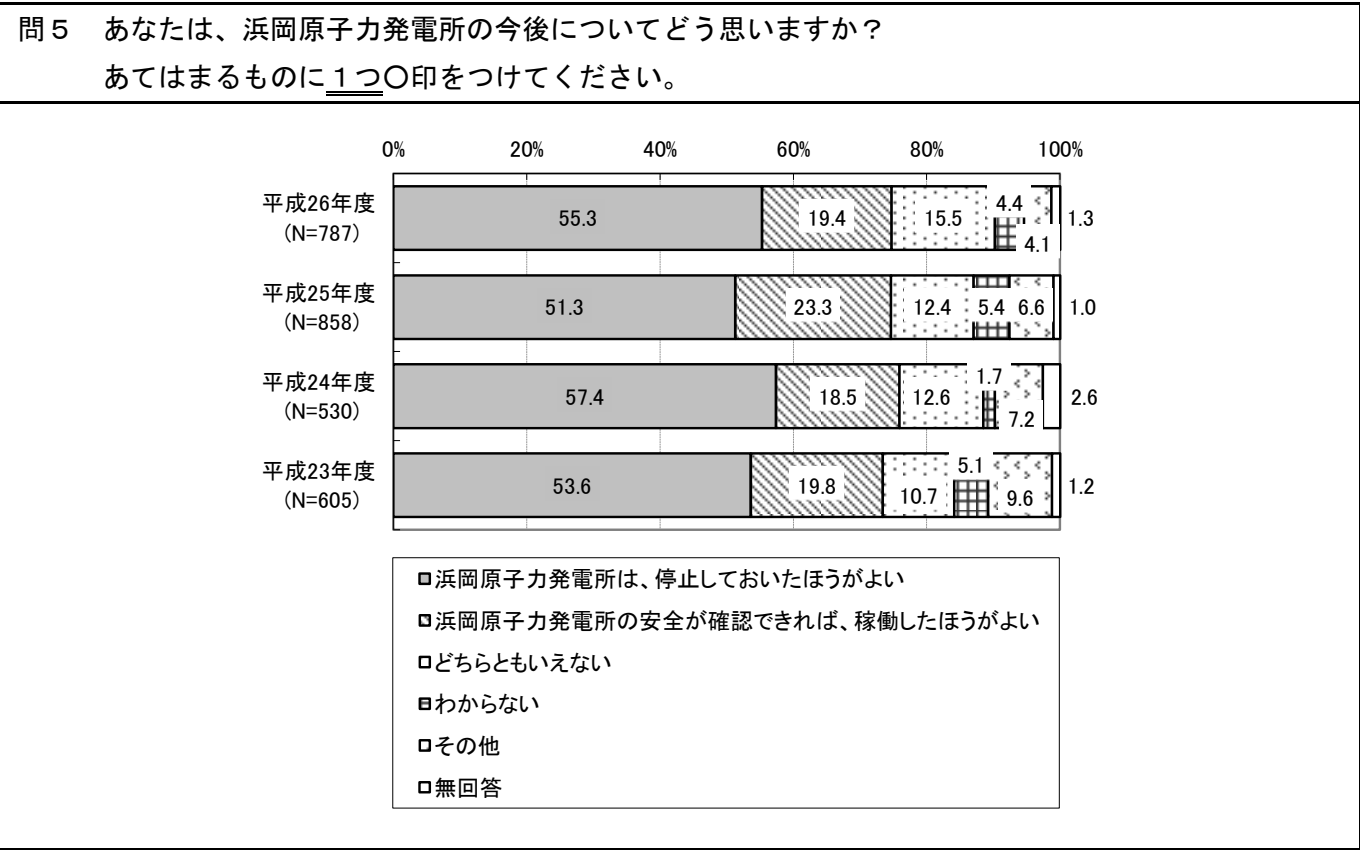
回答割合の高い項目では、男性に比べて女性の割合がやや上回っており、特に「家族や友人との関係が良好だから」では 53.9%と、男性を 3.4 ポイント上回っている。また、「生活環境が良好であるから」は 23.2%と、男性を 3.5 ポイント上回っている。一方で、「生きがいがあるから」では男性において 21.6%と、女性を 4.3 ポイント上回っている。



【年代別】

“40 歳以上” においては「健康であるから」が、30～39 歳では「健康であるから」と「家族や友人との関係が良好だから」が、“30 歳未満” では「家族や友人との関係が良好だから」が最も多くなっている。また、19 歳以下では「食生活が良好であるから」が、80 歳以上では「活躍できる場があるから」が他の年代に比べて多くなっている。

<原子力発電について>

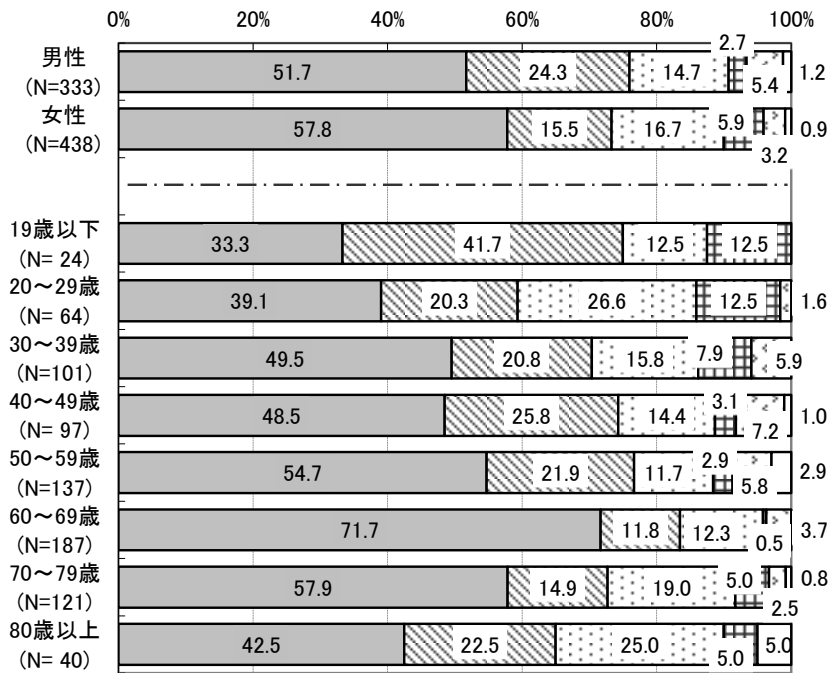


浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が55.3%と半数以上を占めている。一方、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は19.4%で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」の半分以下にとどまっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は4.0ポイント高くなっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



- ☐ 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- ☐ 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- ☐ どちらともいえない
- ☐ わからない
- ☐ その他
- ☐ 無回答

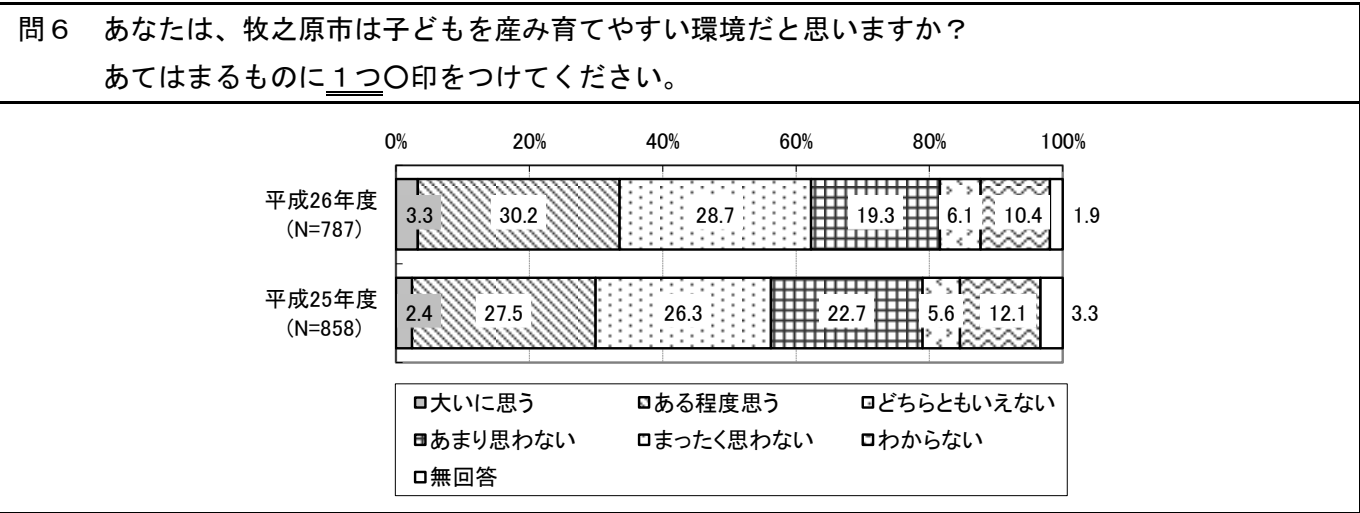
【性別】

女性において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 57.8%と、男性を 6.1 ポイント上回っている。一方、男性では「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 24.3%と、女性を 8.8 ポイント上回っている。

【年代別】

19 歳以下において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 41.7%と最も多くなっている。一方で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は、60～69 歳で 71.7%と、約 7 割を占めている。

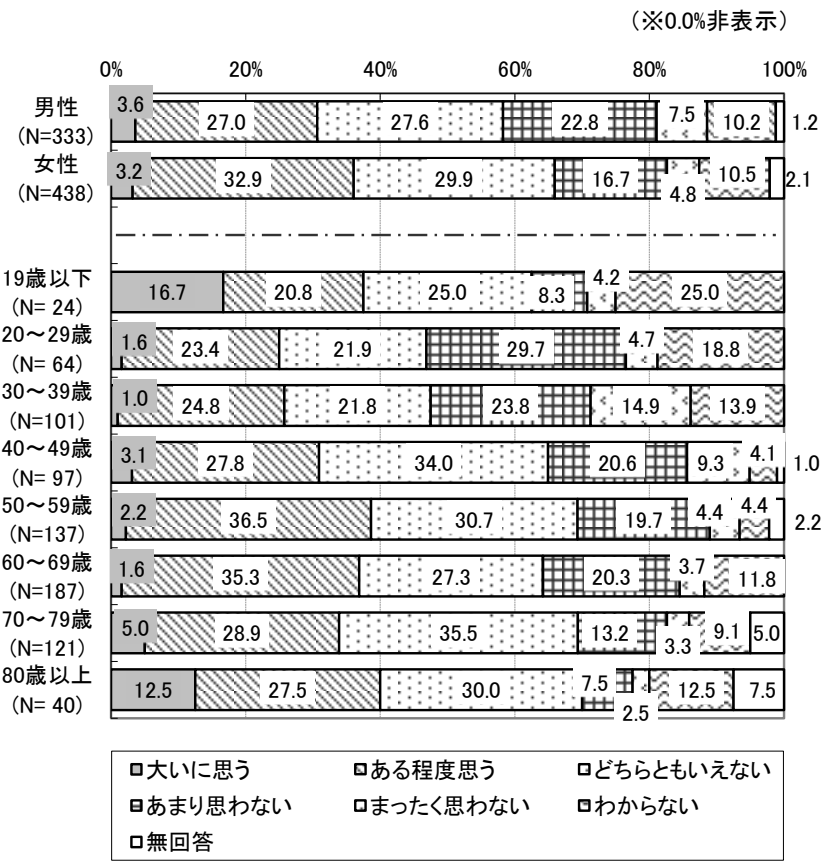
<子育て環境について>



子育て環境については、「(産み育てやすいと) ある程度思う」が 30.2%と約3割を占め最も多く、「大いに思う」と合わせた“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は 33.5%となっている。一方で、「あまり思わない」は 19.3%と約2割を占め、「まったく思わない」(6.1%) と合わせた“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は 25.4%となっている。

昨年度と比較すると、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”は 3.6 ポイント高くなっており、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”は 2.9 ポイント低くなっている。

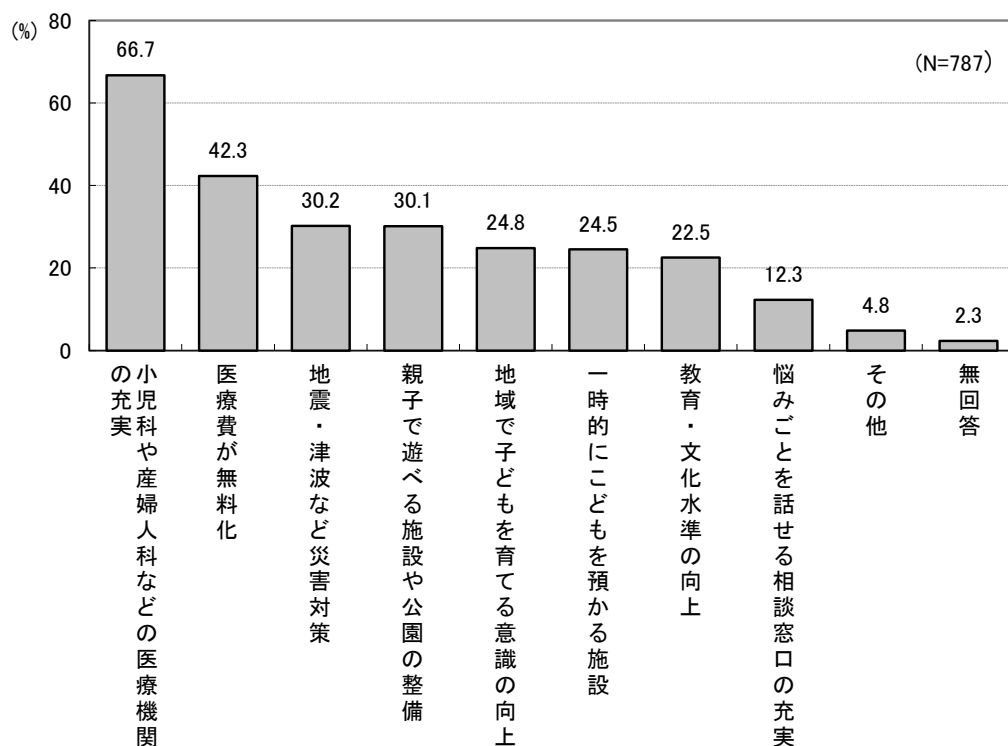
クロス集計



【性別】
 女性においては“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が 36.1%と、男性を 5.5 ポイント上回っている。一方、男性においては“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が 30.3%と、女性を 8.8 ポイント上回っている。

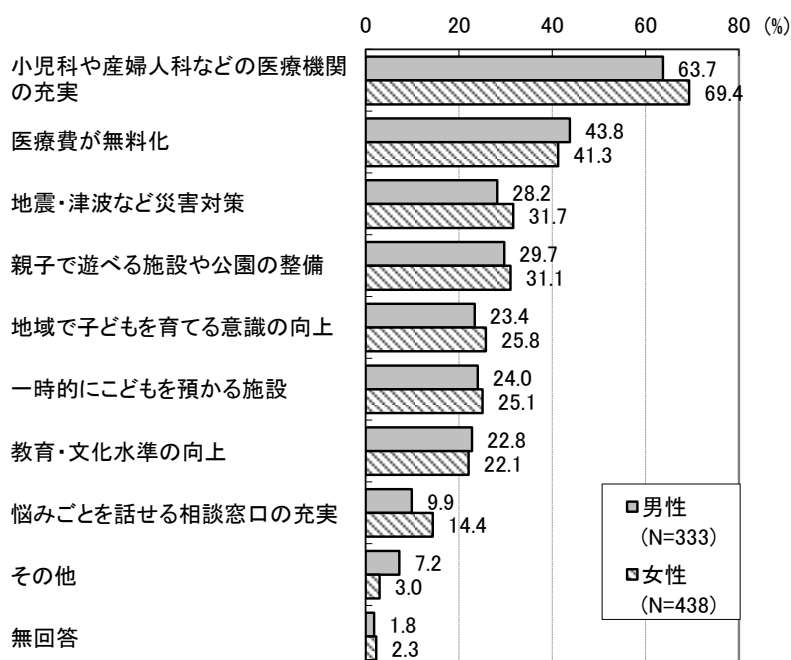
【年代別】
 30～39 歳において“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が 38.7%と、約4割を占めている。一方で、80 歳以上では“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が 40.0%と、4割を占めている。

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



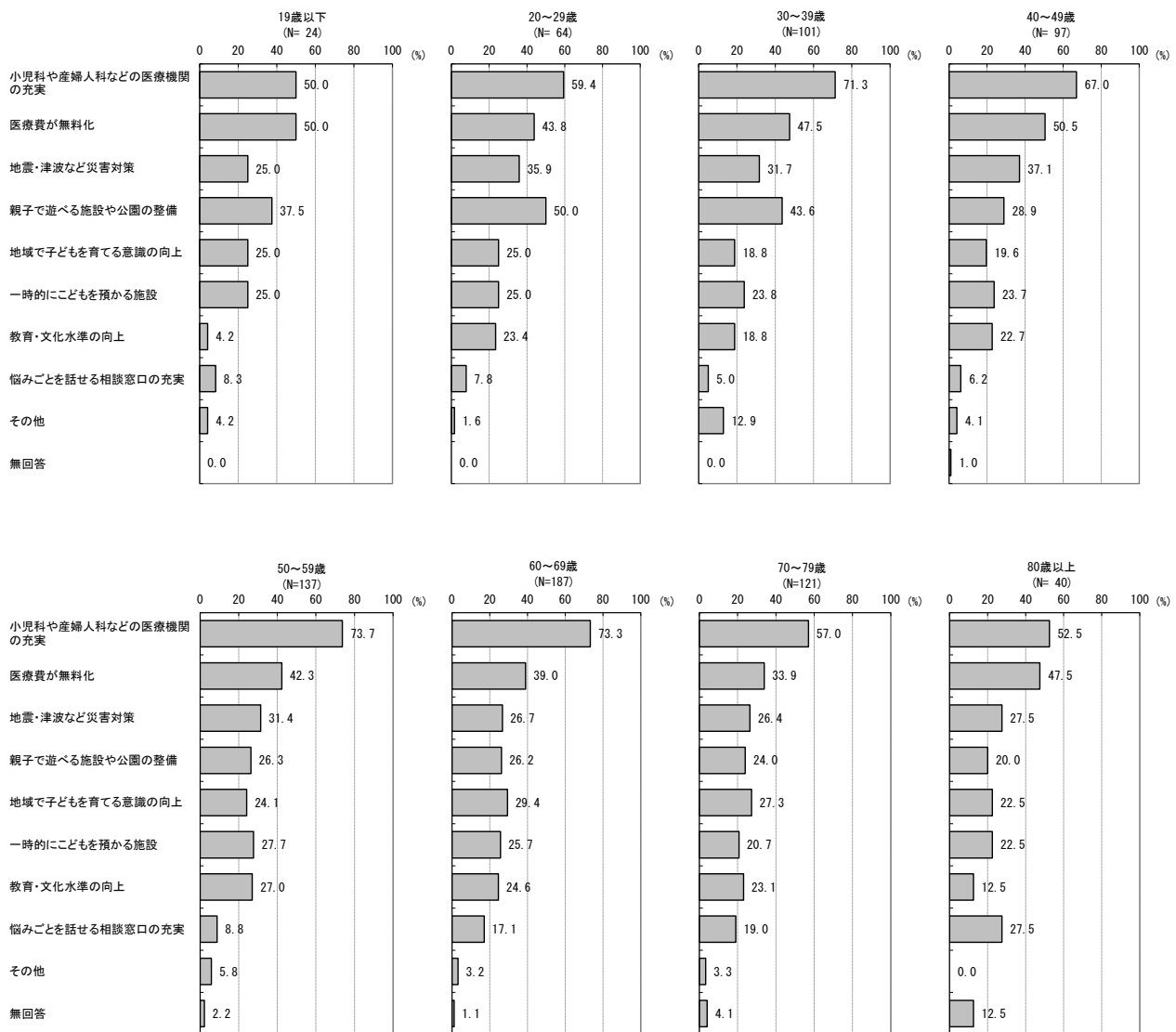
子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことについては、「小児科医や産婦人科などの医療機関の充実」が 66.7%と 6 割以上を占め最も多く、次いで「医療費が無料化」が 42.3%、「地震・津波など災害対策」が 30.2%などとなっている。

クロス集計



【性別】

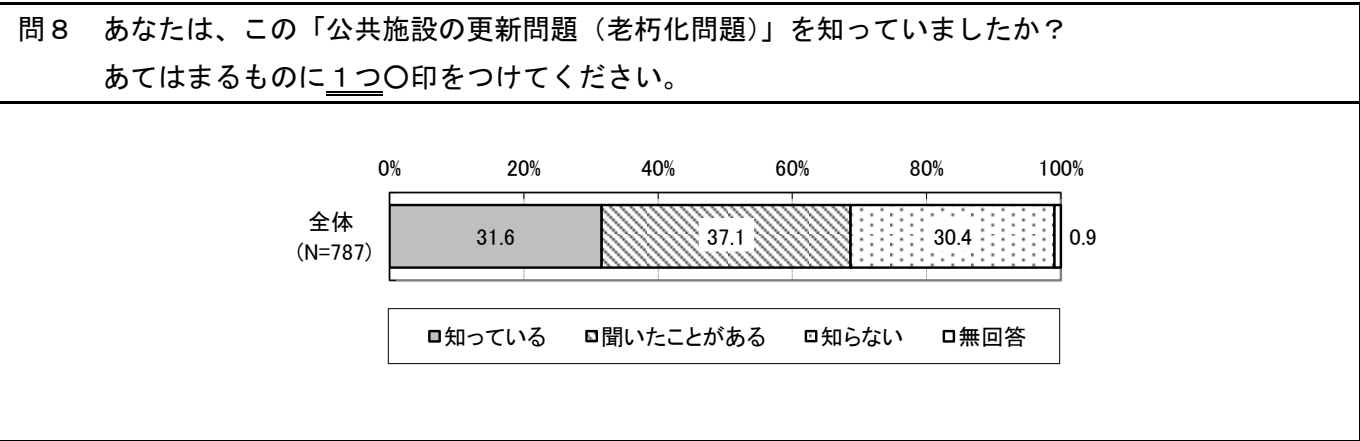
ほとんどの項目で男性に比べて女性の割合がやや上回っており、特に「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」では男性を 5.7 ポイント上回っている。一方、男性においては、「医療費が無料化」で女性を 2.5 ポイント上回っている。



【年代別】

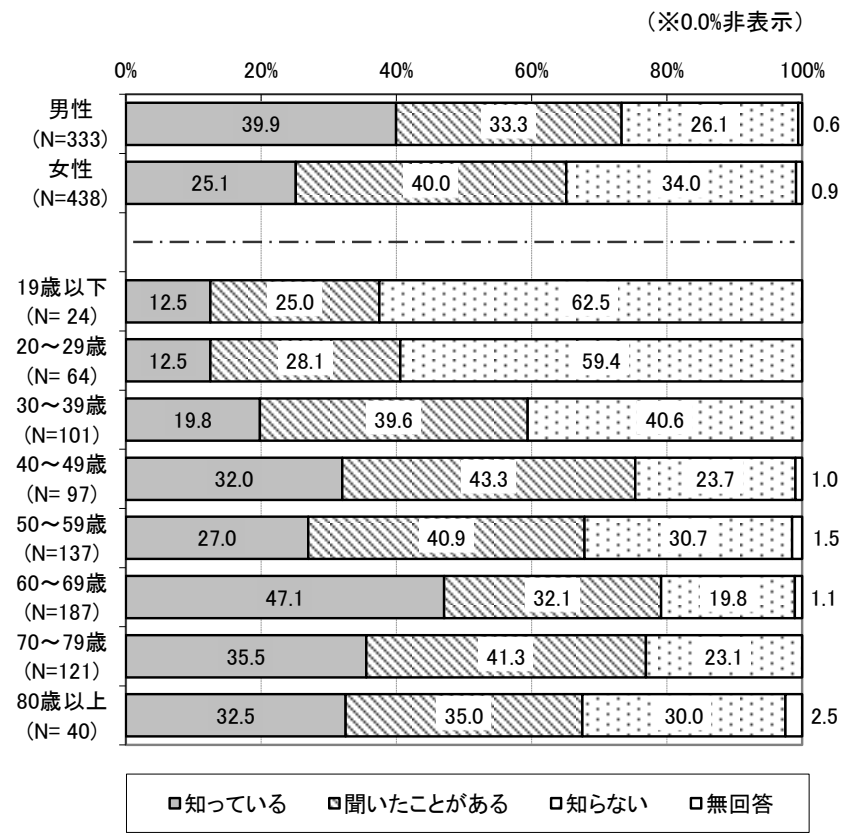
すべての年代において「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が最も多くなっており、特に30～39歳と“50～69歳”では7割を超えている。また、20～29歳で「親子で遊べる施設や公園の整備」が50.0%、80歳以上では「悩みごとを話せる相談窓口の充実」が27.5%と、他の年代に比べて多くなっている。

<公共施設の更新問題について>



公共施設の更新問題（老朽化問題）の認知度については、「聞いたことがある」が 37.1%と最も多く、次いで「知っている」が 31.6%、「知らない」が 30.4%となっている。

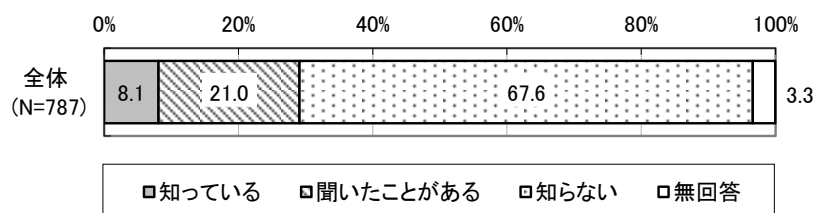
クロス集計



【性別】
男性において「知っている」が 39.9%と約4割を占め、女性を 14.8ポイント上回っている。一方、女性では「知らない」が 34.0%と、男性を 7.9ポイント上回っている。

【年代別】
60～69 歳において「知っている」が 47.1%と、唯一4割を超えている。一方で、“30 歳未満”では「知らない」が約6割を占めている。

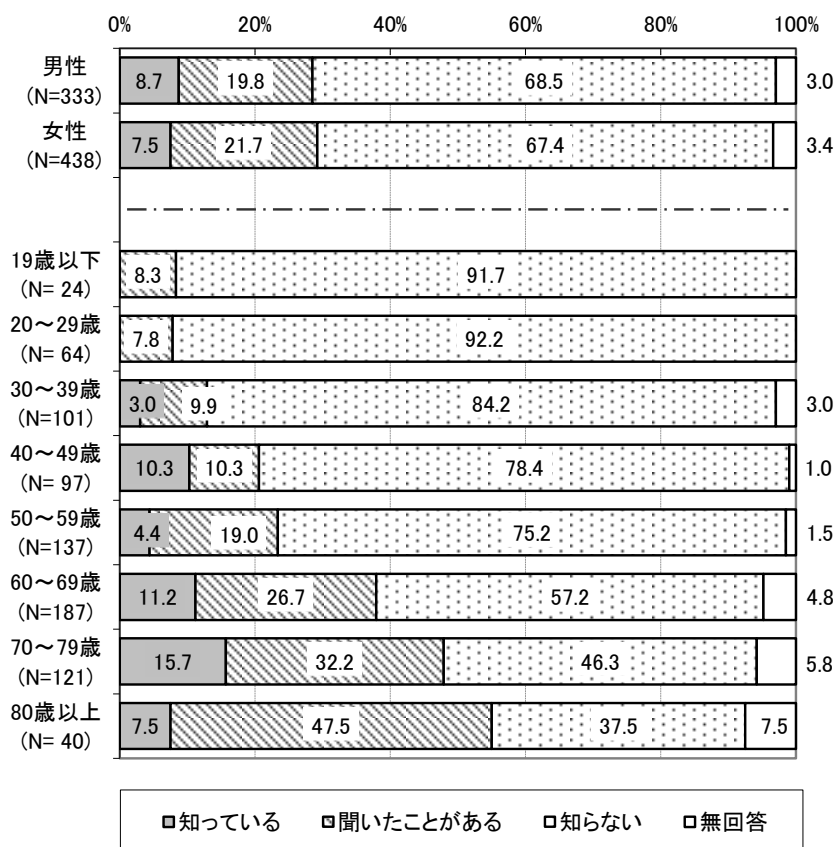
問9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを始めました。
あなたは、この取り組みを知っていましたか？
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）に対する牧之原市の取り組みの認知状況については、「知らない」が 67.6%と約 7 割を占め最も多く、次いで「聞いたことがある」が 21.0%となっており、「知っている」は 8.1%で 1 割未満となっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



【性別】

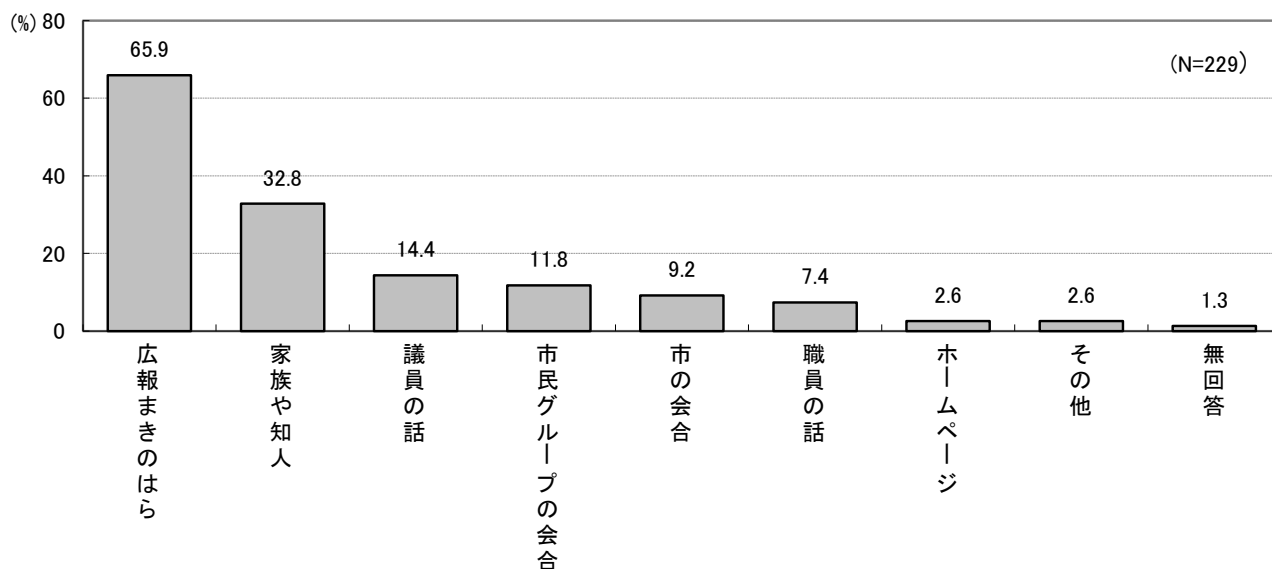
性別による大きな差異はみられない。

【年代別】

“30 歳未満”において「知っている」の割合は 0.0%となっており、「知らない」が 9 割以上を占めている。一方で、「聞いたことがある」の割合は年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、特に 80 歳以上では 47.5%と、約半数を占めている。

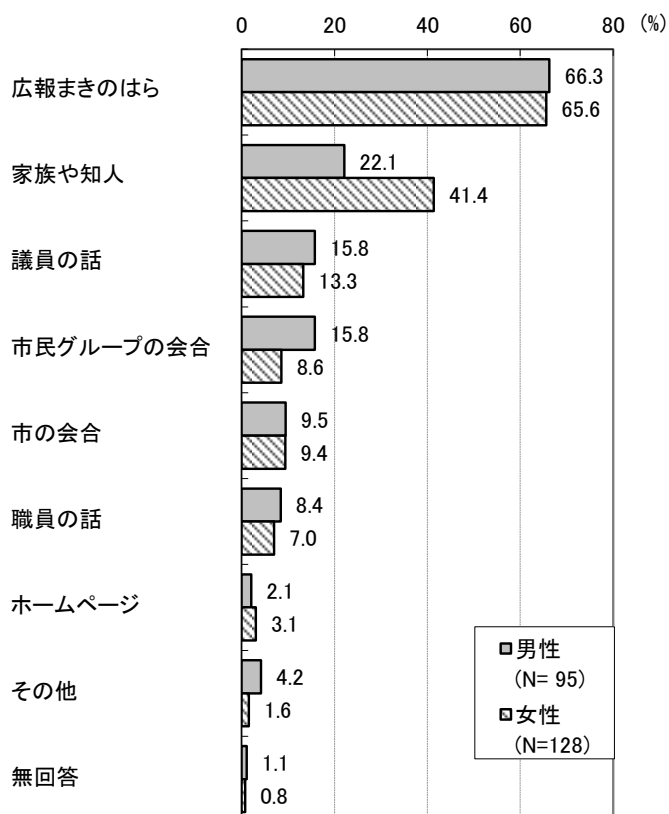
(問9で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

問10 その情報をなにで見聞きましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



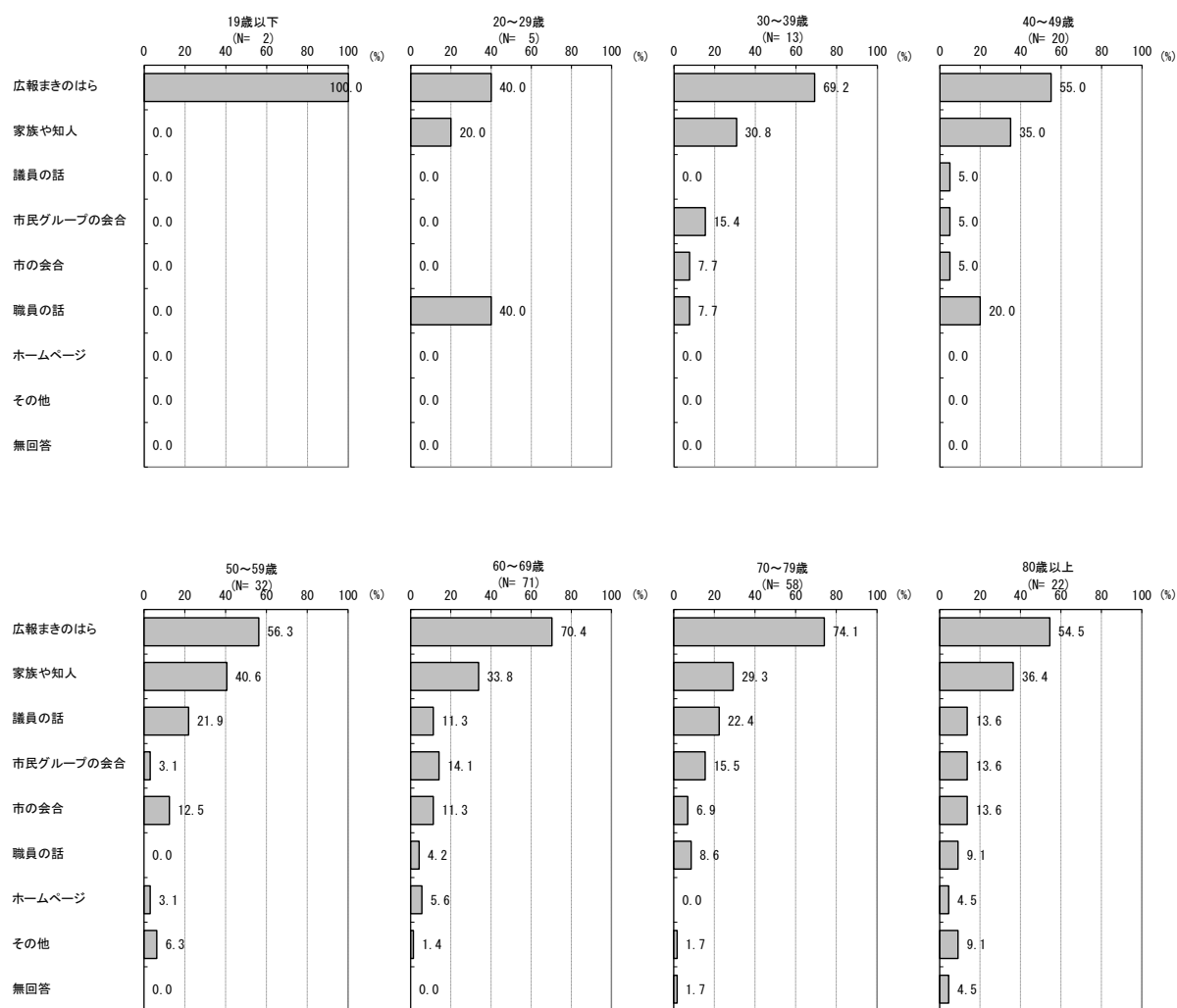
問9で「知っている」または「聞いたことがある」と回答した 229 人に情報の入手経路についてうかがったところ、「広報まきのはら」が 65.9%と最も多く、次いで「家族や知人」が 32.8%、「議員の話」が 14.4%などとなっている。

クロス集計



【性別】

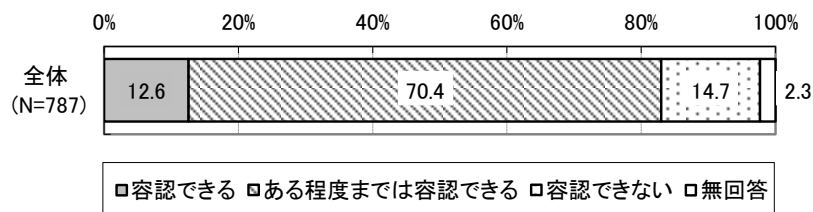
ほとんどの項目において、女性に比べて男性の割合がやや上回っており、特に「市民グループの会合」では 15.8%と、女性を 7.2 ポイント上回っている。一方で、「家族や知人」では女性において 41.4%と、男性を 19.3 ポイント上回っている。



【年代別】

いずれの年代においても、「広報まきのほら」が最も多くなっており、特に“60～79歳”では7割を超えている。また、50～59歳と70～79歳では「議員の話」が、40～49歳では「職員の話」が、他の年代に比べ高くなっている。

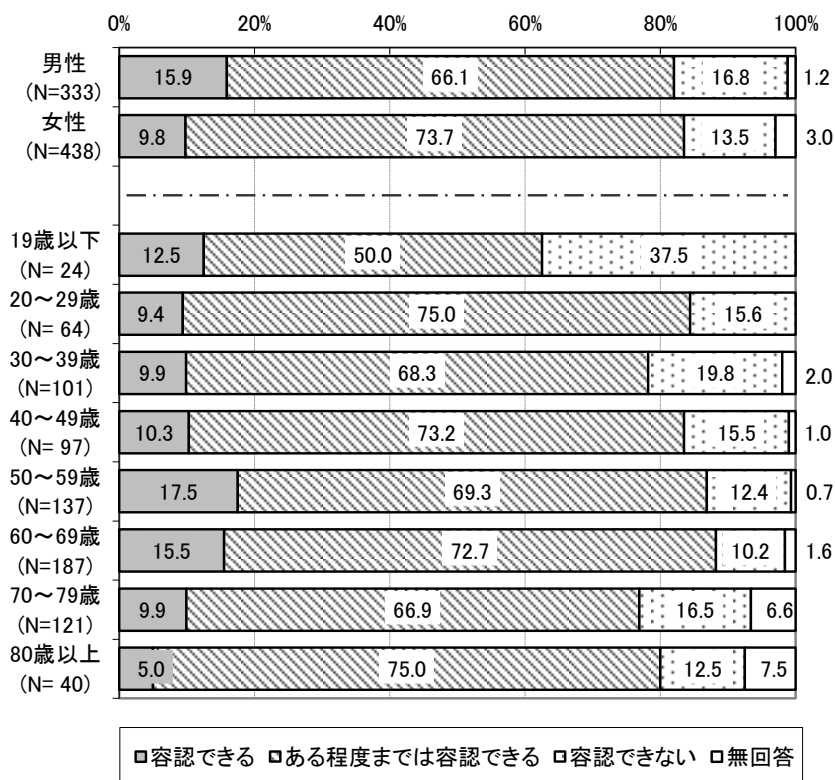
問11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。
このことに対して、あなたはどのように思いますか？
あてはまるものに1つ○印をつけてください。



公共施設の更新問題（老朽化問題）への対応を進めることで起こる諸問題についてどう思うかをうかがったところ、「ある程度までは容認できる」が 70.4%で約7割を占め最も多く、次いで「容認できない」が 14.7%、「容認できる」が 12.6%となっている。「容認できる」と「ある程度までは容認できる」を合わせた“容認できる”は 83.0%と、8割以上を占めている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



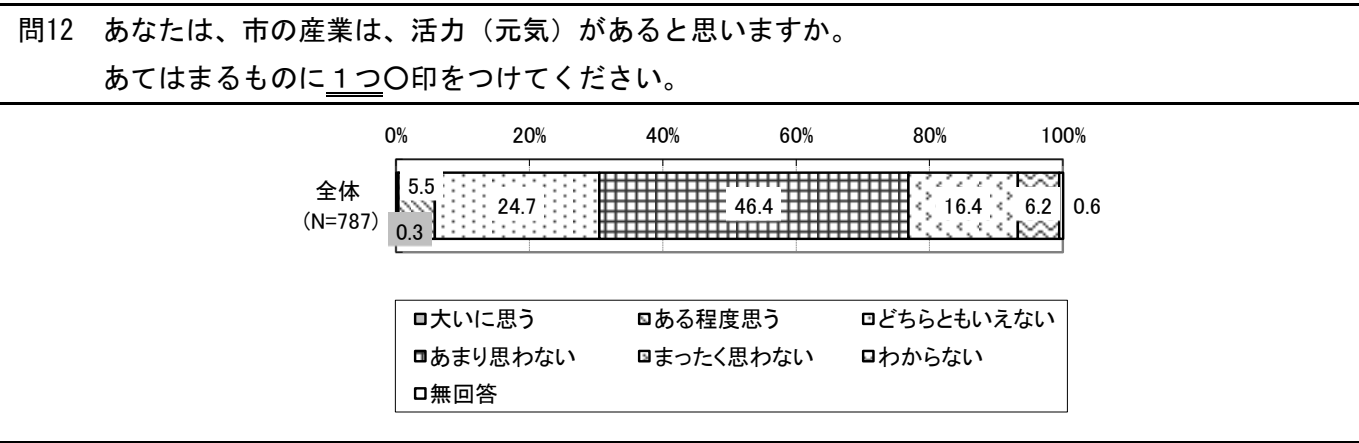
【性別】

男性において「容認できる」が 15.9%と、女性を 6.1 ポイント上回っている。一方、女性では「ある程度までは容認できる」が 73.7%と、男性を 7.6 ポイント上回っており、“容認できる”は女性が男性を 1.5 ポイント上回っている。

【年代別】

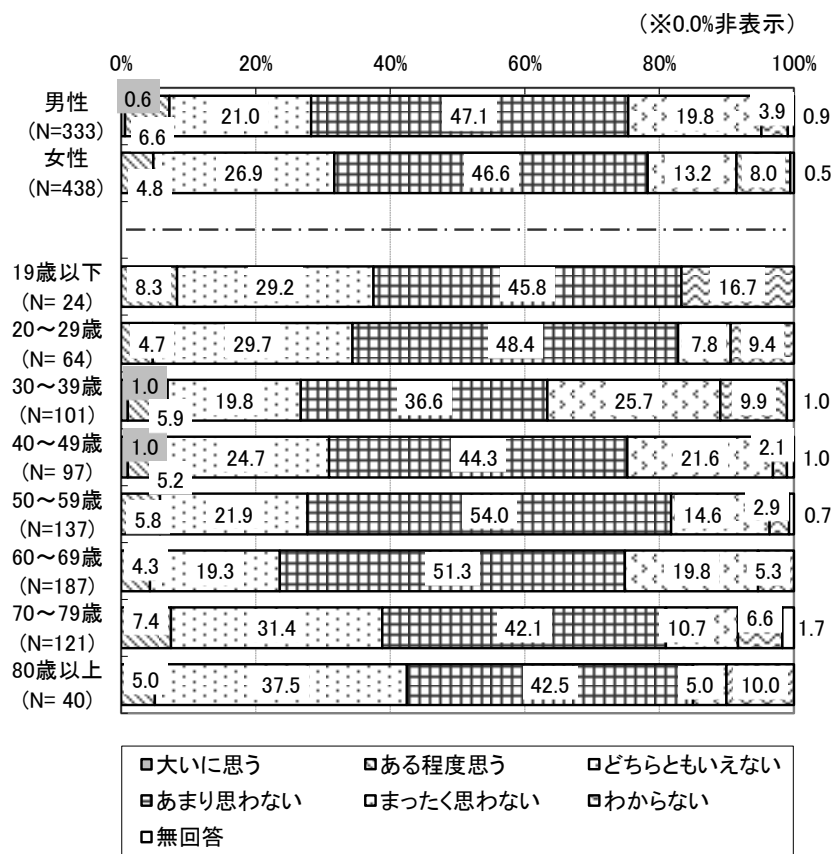
19歳以下において、「容認できない」が 37.5%と、他の年代に比べて高くなっている。一方、19歳以下を除くすべての年代で、“容認できる”は7割を超えている。

<産業・雇用について>



市の産業に活力（元気）があると思うかについては、「あまり思わない」が 46.4%と半数近くを占めている。次いで「どちらともいえない」が 24.7%、「まったく思わない」が 16.4%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“活力（元気）があると思う”は 5.8%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“活力（元気）があると思わない”は 62.8%となっている。

クロス集計



【性別】

男性において「まったく思わない」が 19.8%と約2割を占め、女性を 6.6 ポイント上回っている。一方、女性では「どちらともいえない」が 26.9%と、男性を 5.9 ポイント上回っている。

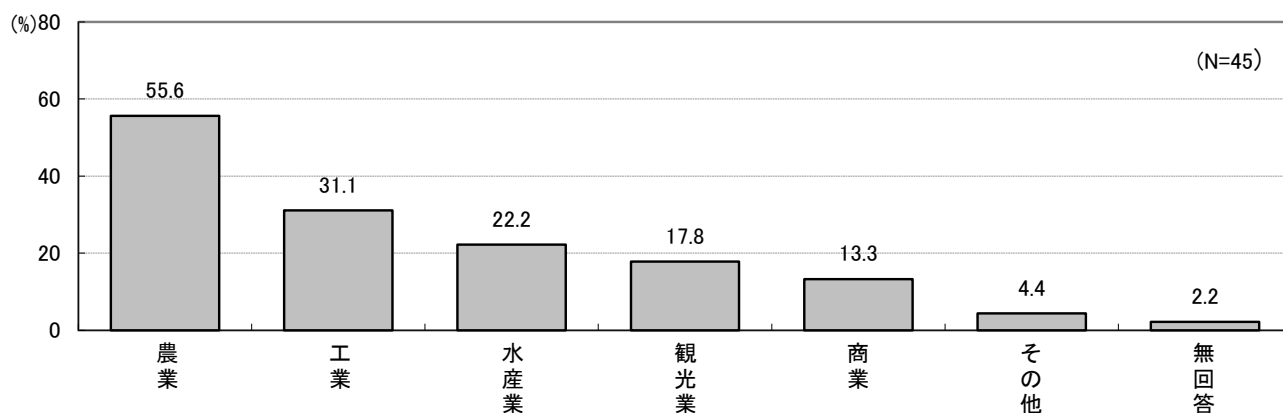
【年代別】

“50～69 歳”において「あまり思わない」が半数以上を占めており、また、“30～49 歳”において「まったく思わない」が2割以上を占めている。“活力（元気）があると思う”は、いずれの年代においても1割未満となっており、特に「大いに思う」は“30～49 歳”を除くすべての年代で 0.0%となっている。

(問 12 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きます。)

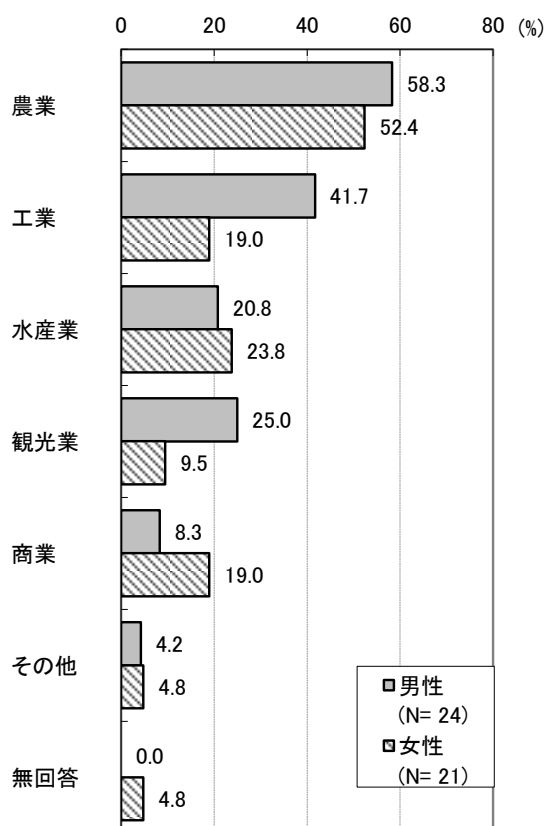
問13 あなたは、どの産業がもっとも活力(元気)があると思いますか。

あてはまるものに全てに○印をつけてください。



問 12 で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した 45 人に、どの産業がもっとも活力(元気)があると思うかについてうかがったところ、「農業」が 55.6%と半数以上を占め最も多く、次いで「工業」が 31.1%、「水産業」が 22.2%などとなっている。

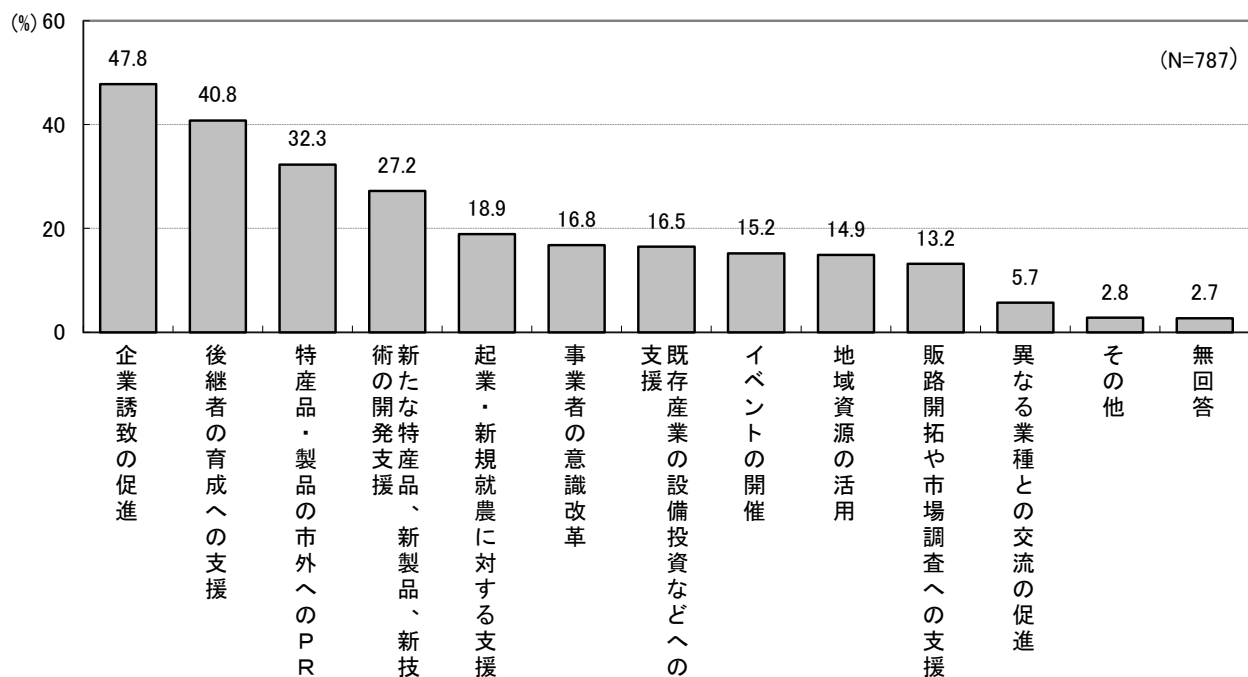
クロス集計



【性別】

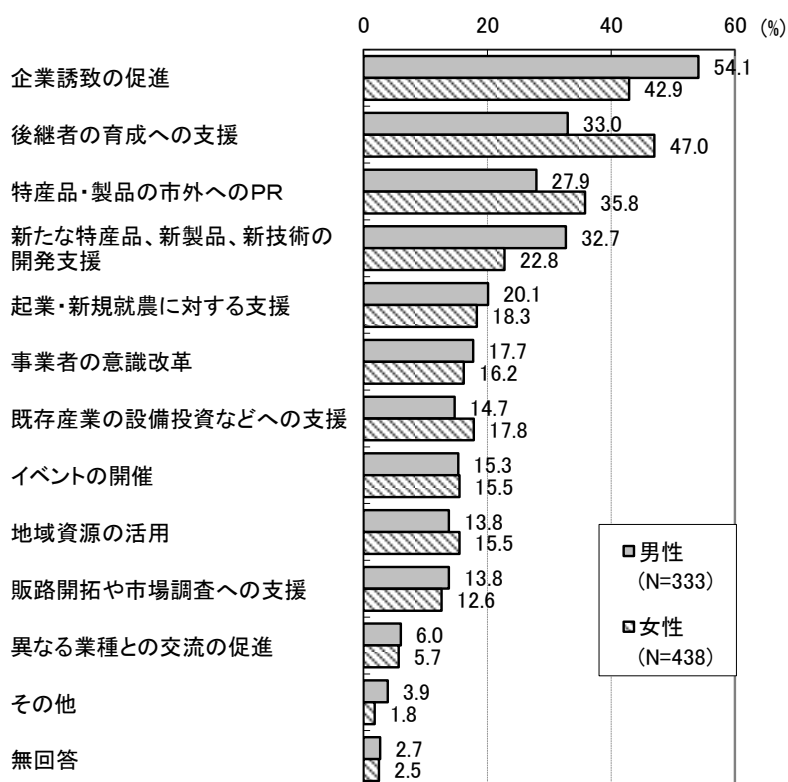
男性において「工業」が 41.7%と、女性を 22.7 ポイント上回っている。また、「観光業」は 25.0%と、女性を 15.5 ポイント上回っている。一方、女性では「商業」が 19.0%と、男性を 10.7 ポイント上回っている。

問14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



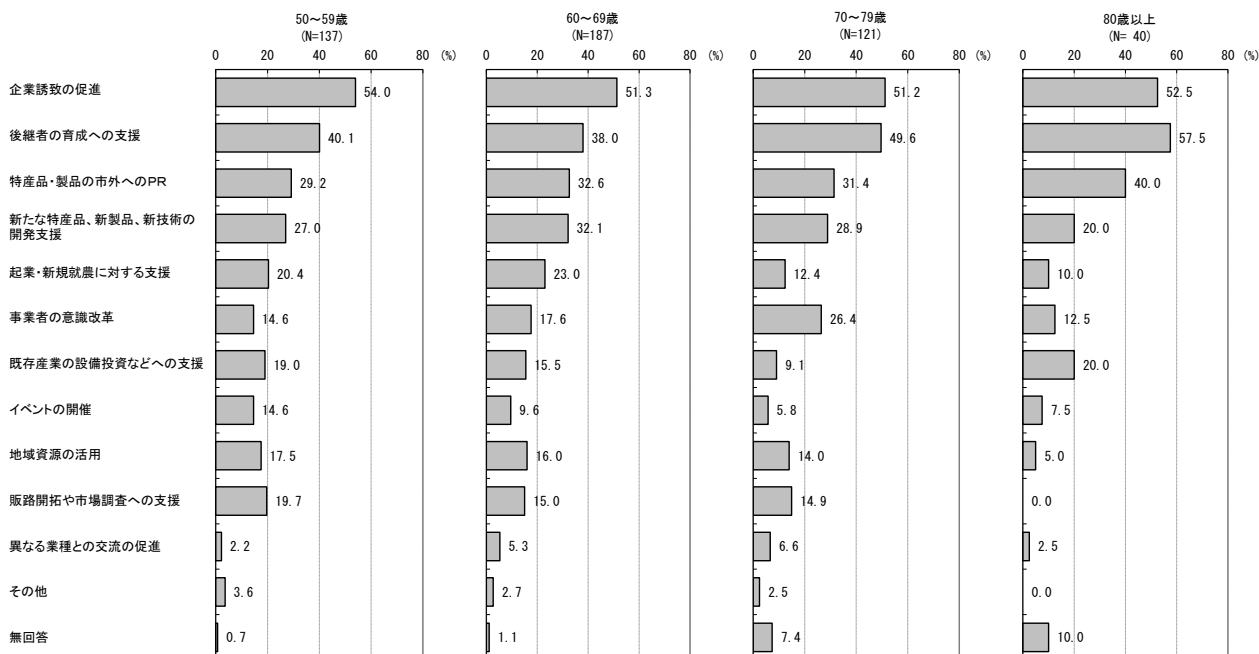
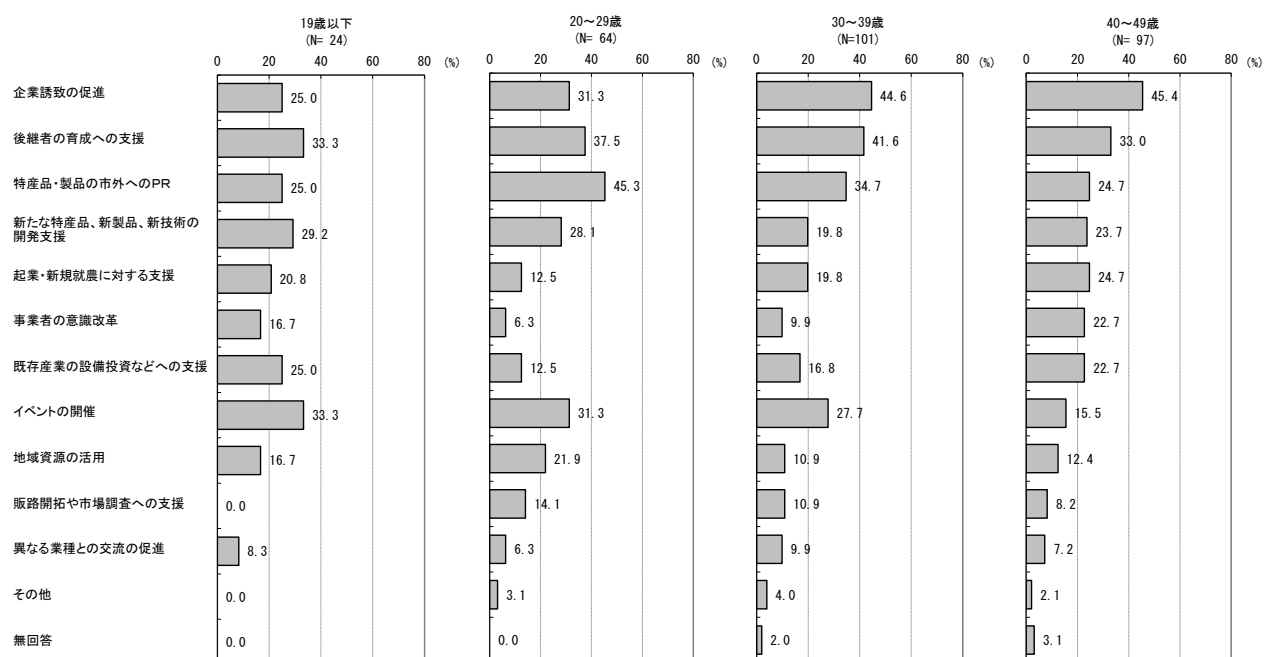
市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みについては、「企業誘致の促進」が 47.8% と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が 40.8%、「特産品・製品の市外へのPR」が 32.3% などとなっている。

クロス集計



【性別】

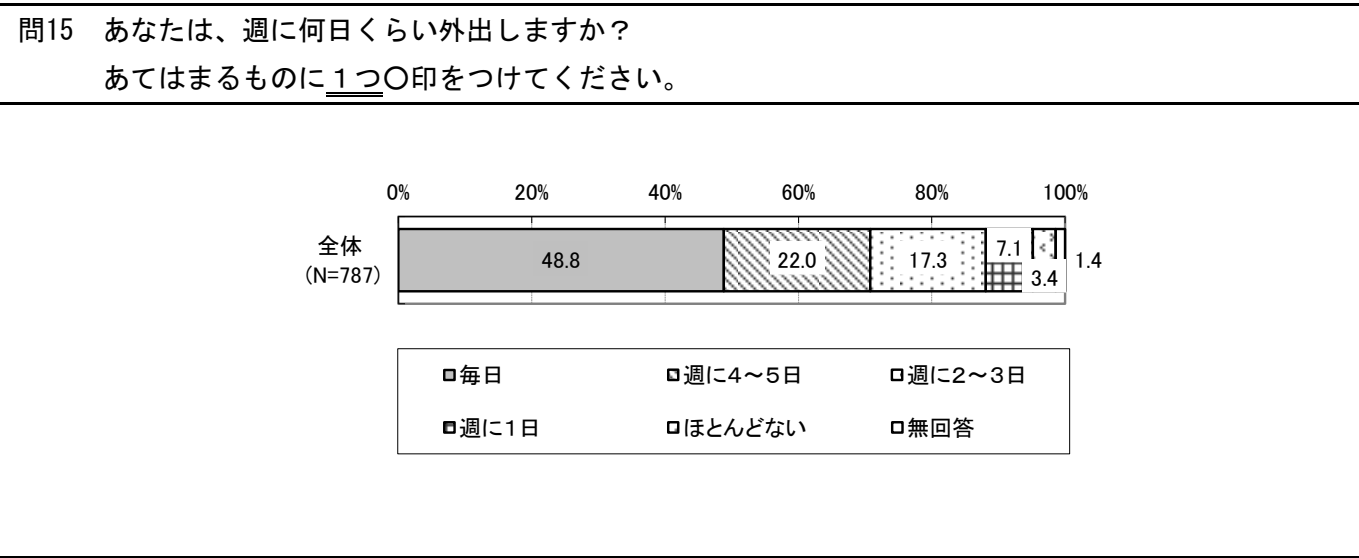
男性において「企業誘致の促進」が 54.1%と、女性を 11.2 ポイント上回っている。また、「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が 32.7%と、女性を 9.9 ポイント上回っている。一方、女性では「後継者の育成への支援」が 47.0%と、男性を 14.0 ポイント上回っている。また、「特産品・製品の市外へのPR」が 35.8%と、男性を 7.9 ポイント上回っている。



【年代別】

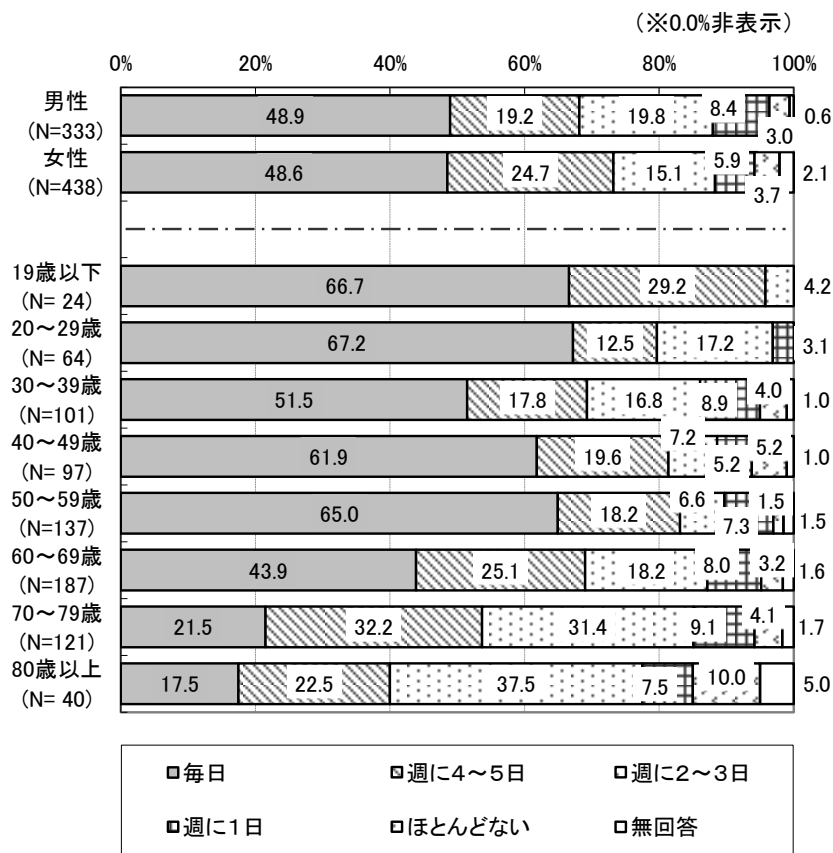
“30～79 歳”では「企業誘致の促進」が最も多く、19 歳以下では「後継者の育成への支援」と「イベントの開催」が、20～29 歳では「特産品・製品の市外へのPR」が、80 歳以上では「後継者の育成への支援」が、最も多くなっている。また、“40 歳未満”では「イベントの開催」が約 3 割を占め、他の年代に比べて多くなっている。

<地域活動について>



一週間あたりの外出日数については、「毎日」が 48.8%と約半数を占めている。次いで「週に4～5日」が 22.0%、「週に2～3日」が 17.3%などとなっている。一方、「ほとんどない」は 3.4%となっている。

クロス集計



【性別】

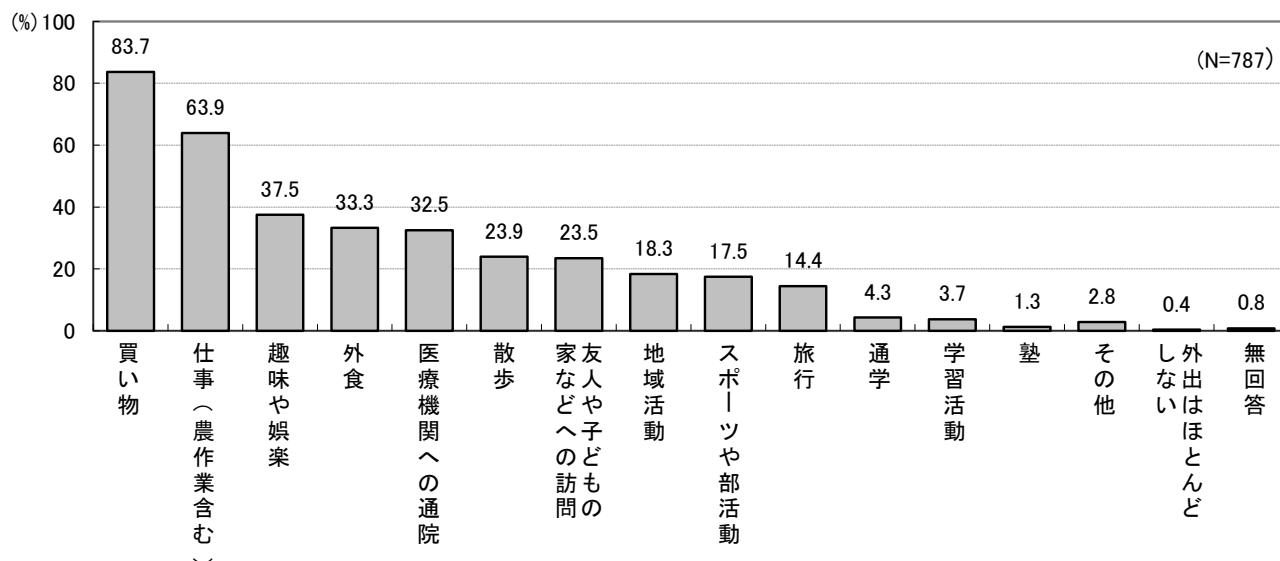
女性において「週に4～5日」が 24.7%と、男性を 5.5 ポイント上回っている。一方、男性では「週に2～3日」が 19.8%と、女性を 4.7 ポイント上回っている。

【年代別】

“70 歳以上”において「週に2～3日」が 3 割以上を占め、他の年代に比べて高くなっている。また、80 歳以上では「ほとんどない」が 10.0%と、1 割を占めている。一方で、“30 歳未満”と“40～59 歳”において、「毎日」が 6 割を超えている。

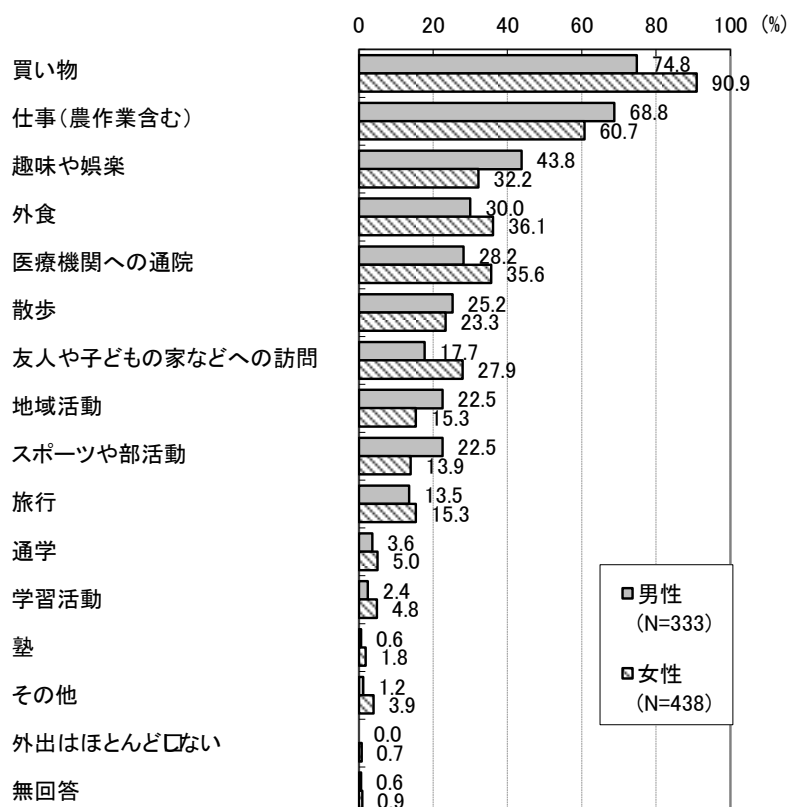
問16 あなたは何のために外出しますか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。



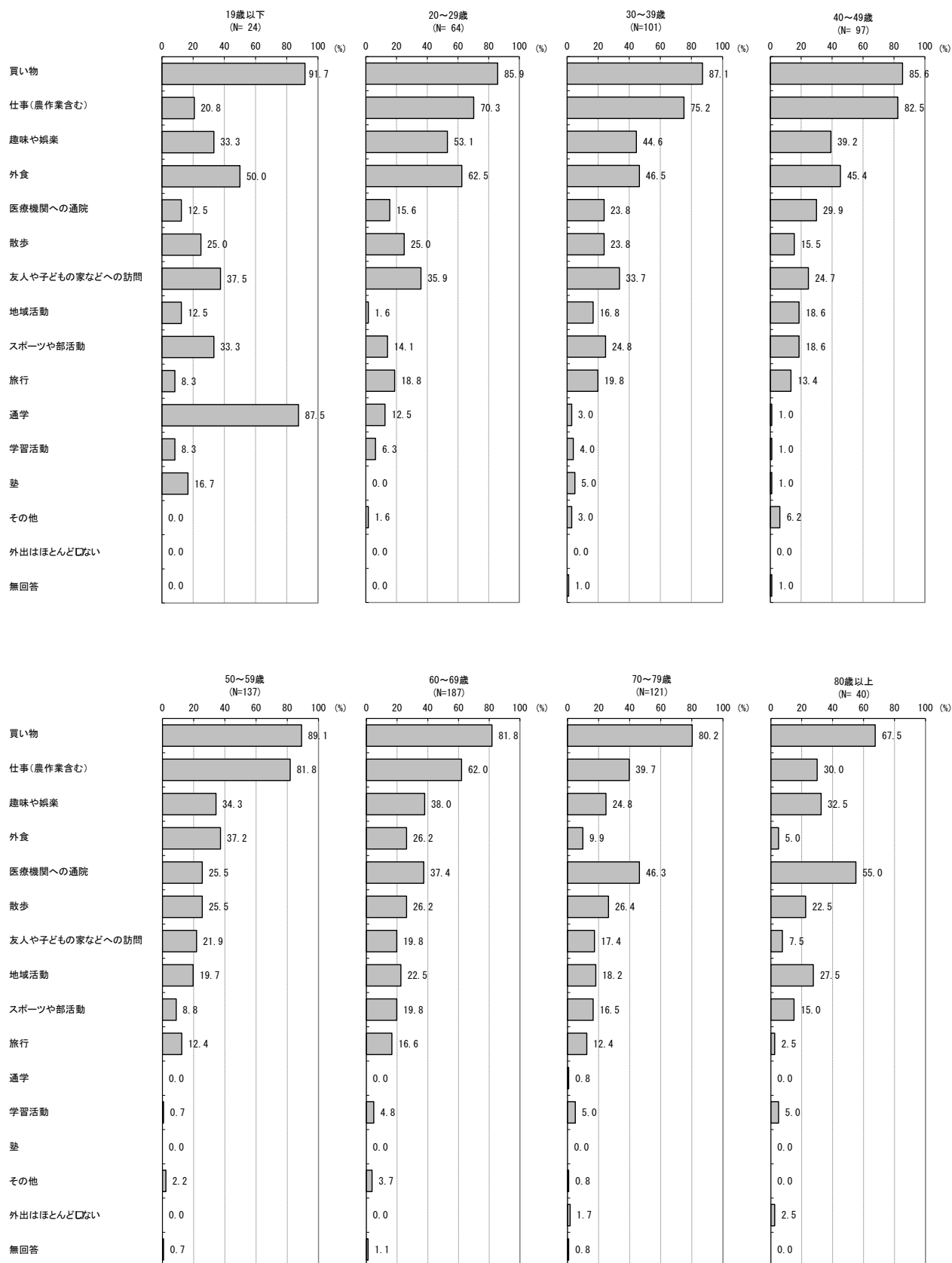
外出の目的については、「買い物」が 83.7%と最も多く、8割を超えている。次いで「仕事（農作業含む）」が 63.9%、「趣味や娯楽」が 37.5%、「外食」が 33.3%、「医療機関への通院」が 32.5%などとなっている。

クロス集計



【性別】

女性において「買い物」が 90.9%と、男性を 16.1 ポイント上回っている。また、「友人や子どもの家への訪問」が 27.9%と、男性を 10.2 ポイント上回っている。一方、男性では「趣味や娯楽」が 43.8%と、女性を 11.6 ポイント上回っている。また、「仕事（農作業含む）」が 68.8%と、女性を 8.1 ポイント上回っている。

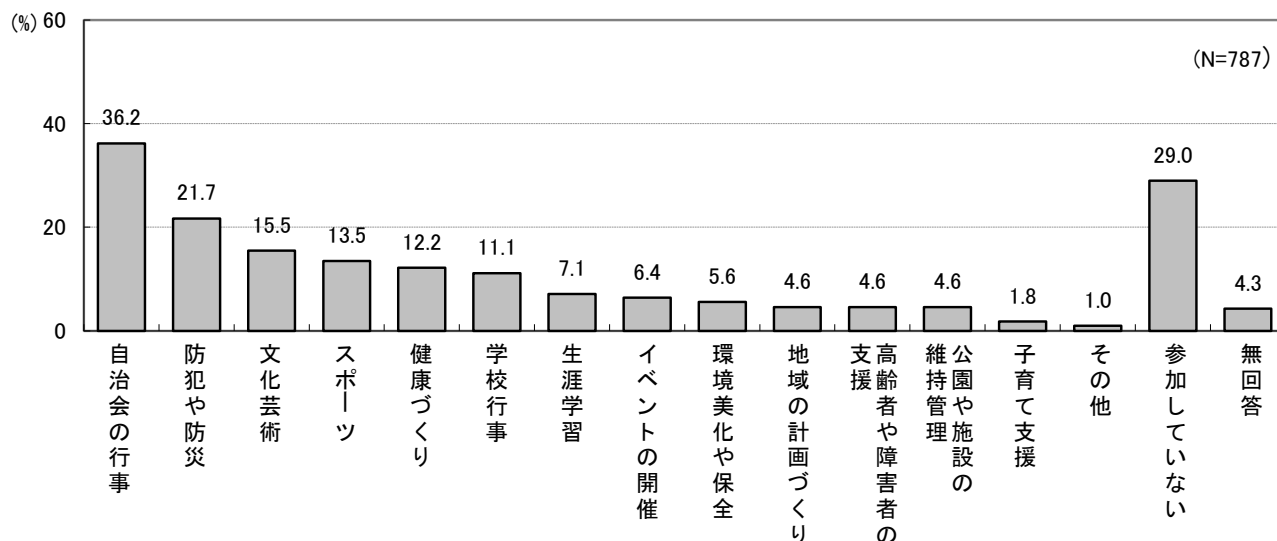


【年代別】

すべての年代で「買い物」が最も多くなっており、80歳以上を除いて8割を超えている。19歳以下では「通学」が、20~29歳では「外食」が、80歳以上では「医療機関への通院」が、他の年代に比べて多くなっている。

問17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？

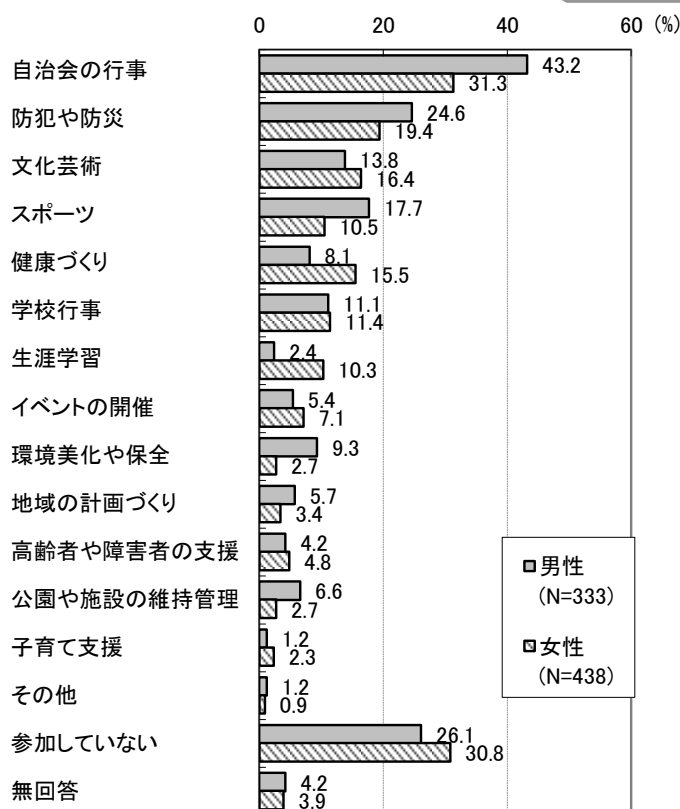
あてはまるもの全てに○印をつけてください。



現在参加している地域活動については、「自治会の行事」が 36.2%と最も多くなっている。次いで「防犯や防災」が 21.7%、「文化芸術」が 15.5%、「スポーツ」が 13.5%、「健康づくり」が 12.2%などとなっている。

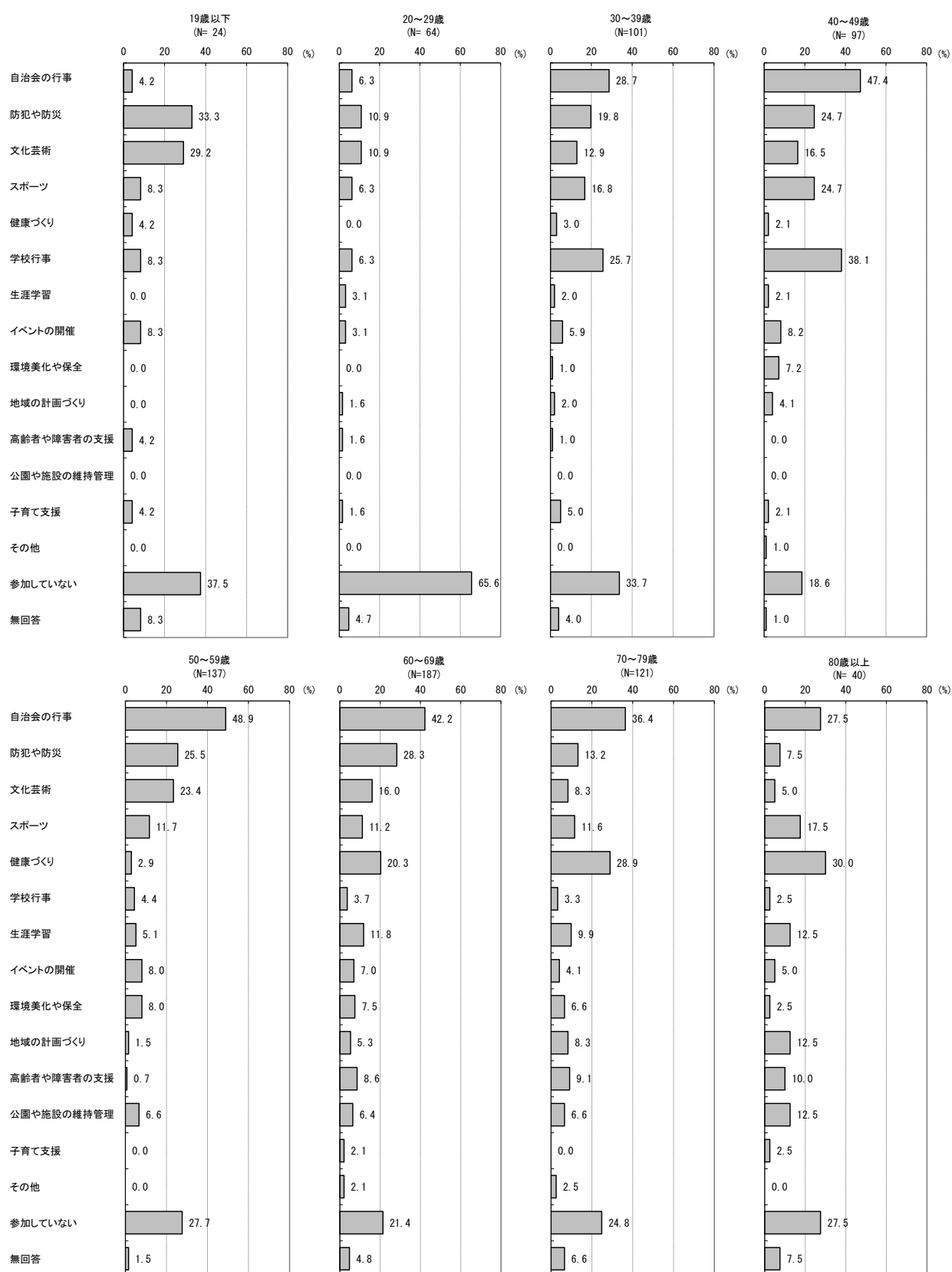
一方、「参加していない」は 29.0%で、約 3 割となっている。

クロス集計



【性別】

男性において「自治会の行事」が 43.2%と、女性を 11.9 ポイント上回っている。また、「スポーツ」が 17.7%と、女性を 7.2 ポイント上回っている。一方、女性では「健康づくり」が 15.5%と、男性を 7.4 ポイント上回っている。また、「生涯学習」が 10.3%と、男性を 7.9 ポイント上回っている。

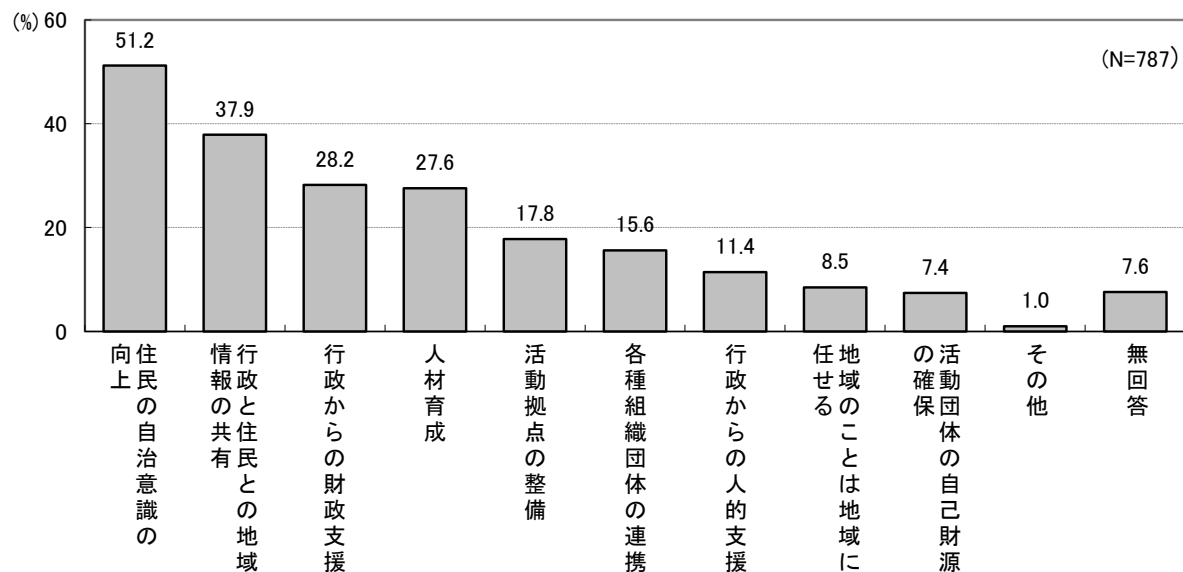


【年代別】

“40～79 歳”で「自治会の行事」が最も多くなっている。“40 歳未満”では「参加していない」が最も多く、特に 20～29 歳では 65.6%と 6 割を超えている。80 歳以上では「健康づくり」が 3 割と、最も多くなっている。また、19 歳以下では「文化芸術」が、“30～49 歳”では「学校行事」が、他の年代に比べて多くなっている。

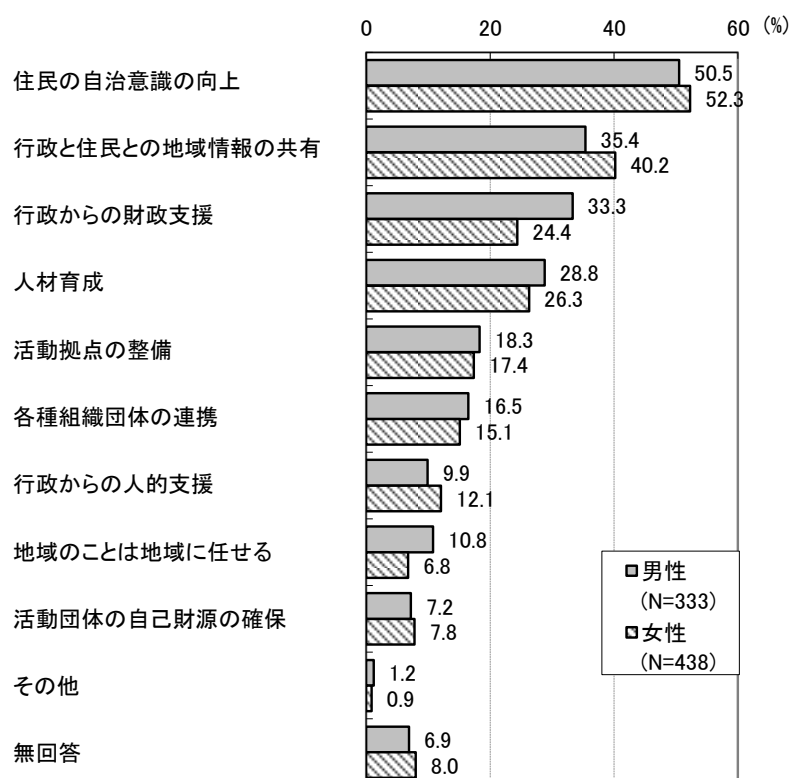
問18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要と思うことは何ですか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



地域活動の活発・活性化に必要と思うことについては、「住民の自治意識の向上」が 51.2%と半数を超えて最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が 37.9%、「行政からの財政支援」が 28.2%などとなっている。

クロス集計

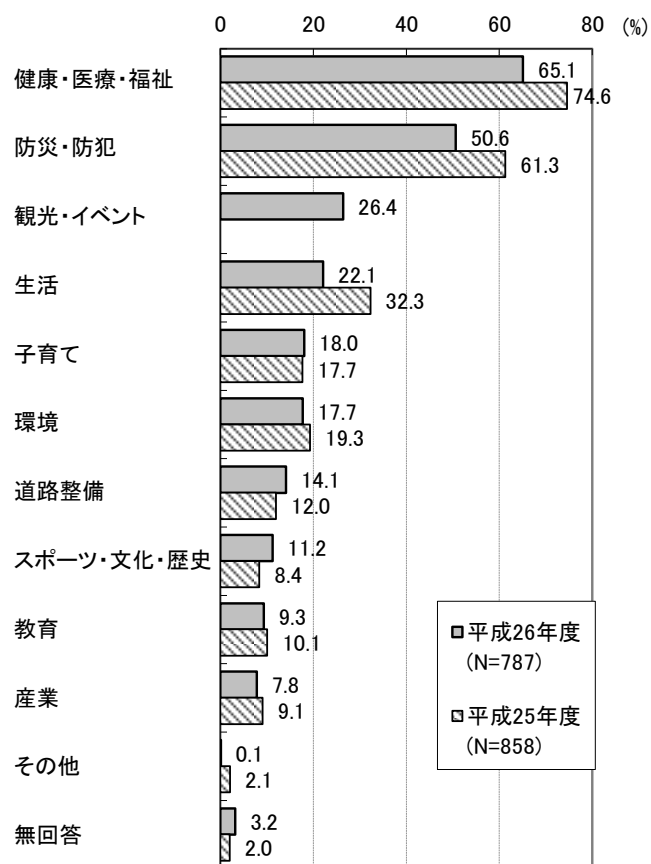


【性別】

女性において「行政と住民との地域情報の共有」が 40.2%と、男性を 4.8 ポイント上回っている。一方、男性では「行政からの財政支援」が 33.3%と、女性を 8.9 ポイント上回っている。

<市からの情報発信について>

問19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

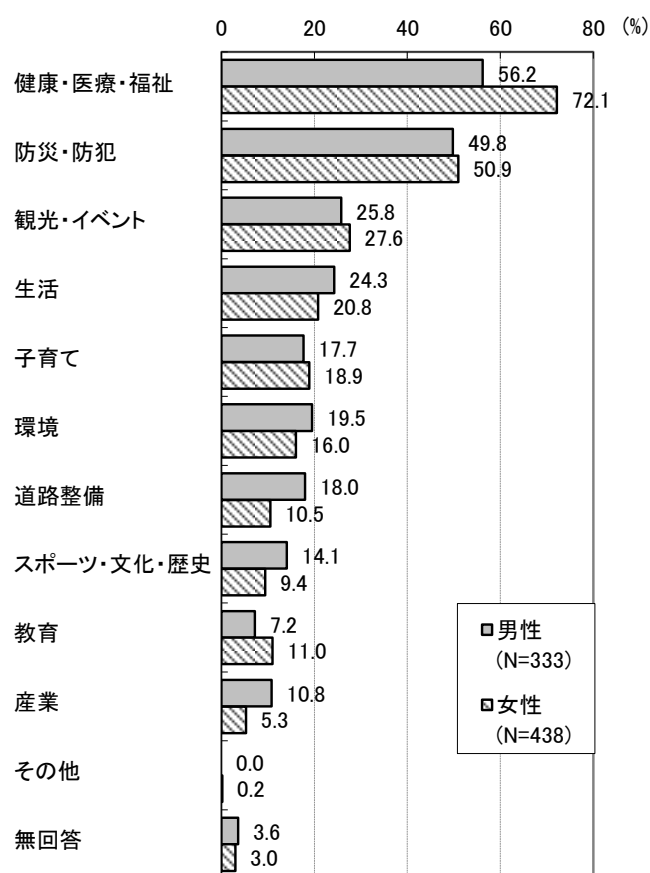


※「観光・イベント」は、平成26年度より追加された項目

※「スポーツ・文化・歴史」は、平成25年度では「文化・歴史」

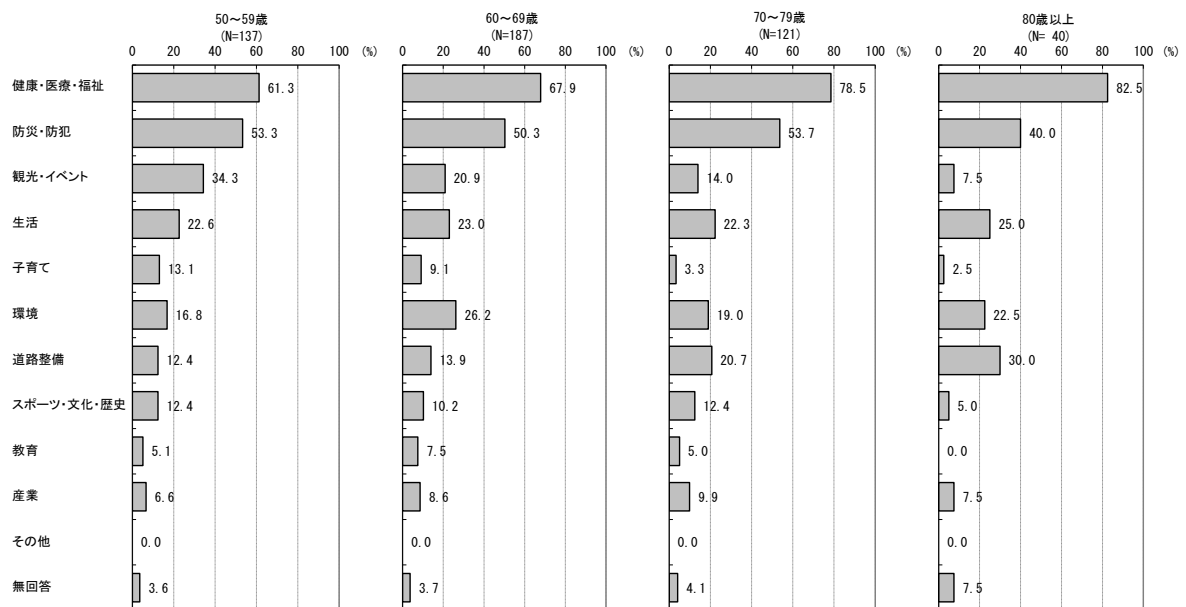
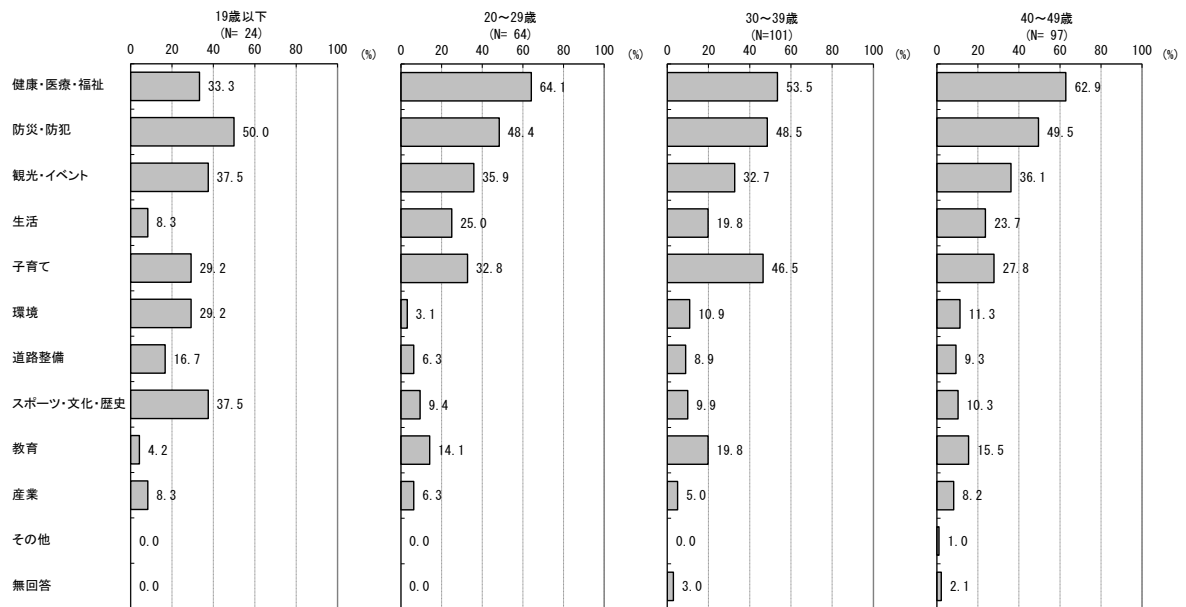
市から得たい情報については、「健康・医療・福祉」が65.1%と最も多く、次いで「防災・防犯」が50.6%、「観光・イベント」が26.4%などとなっている。

昨年度と比較すると、「健康・医療・福祉」が9.5ポイント、「防災・防犯」が10.7ポイント、「生活」が10.2ポイント低くなっている。



【性別】

女性において「健康・医療・福祉」が72.1%と、男性を15.9ポイント上回っている。一方、男性では「道路整備」が18.0%と、女性を7.5ポイント上回っている。

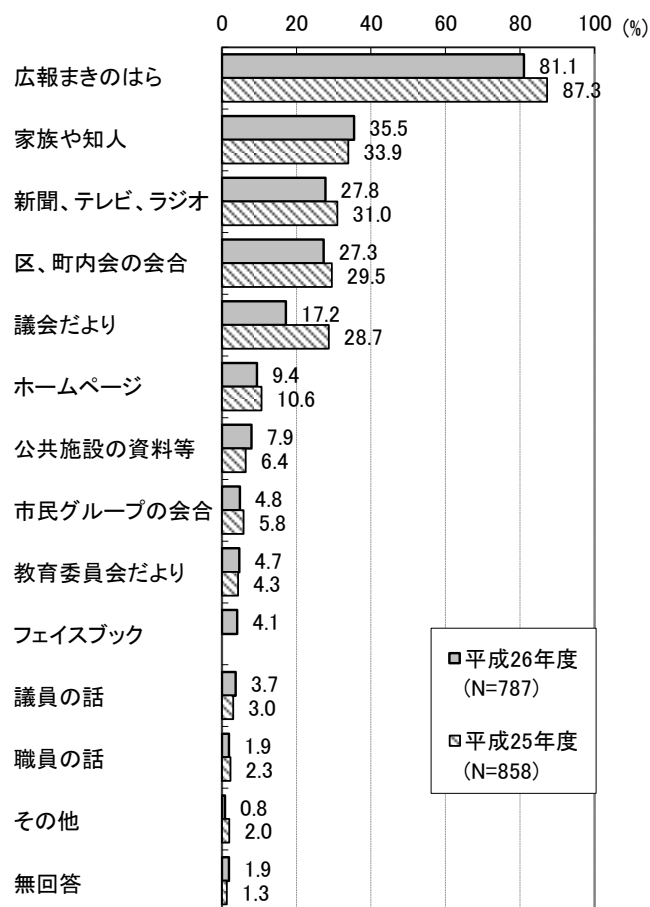


【年代別】

19歳以下では「防災・防犯」が最も多く、「20歳以上」では「健康・医療・福祉」が最も多くなっている。また、19歳以下では「スポーツ・文化・歴史」が、30～39歳では「子育て」が、80歳以上では「道路整備」が、他の年代に比べて多くなっている。

問20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。

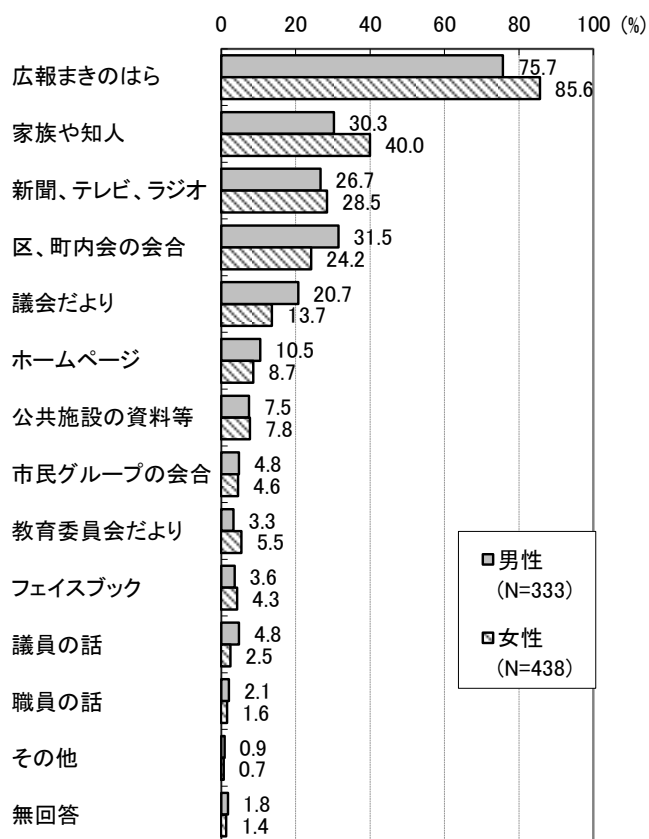


※「フェイスブック」は、平成 26 年度より追加された項目

市からの情報の入手手段については、「広報まきのほら」が 81.1%と最も多く、他の項目と比べても突出して高くなっている。次いで「家族や知人」が 35.5%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 27.8%、「区、町内会の会合」が 27.3%、「議会だより」が 17.2%などとなっている。

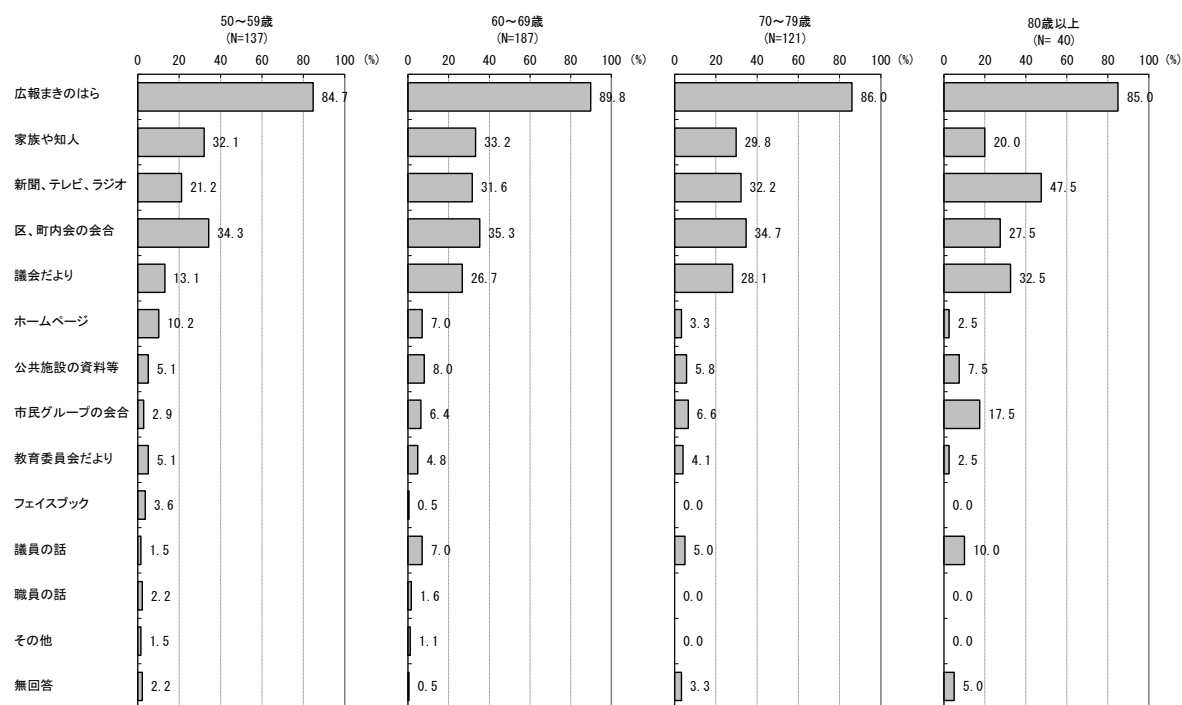
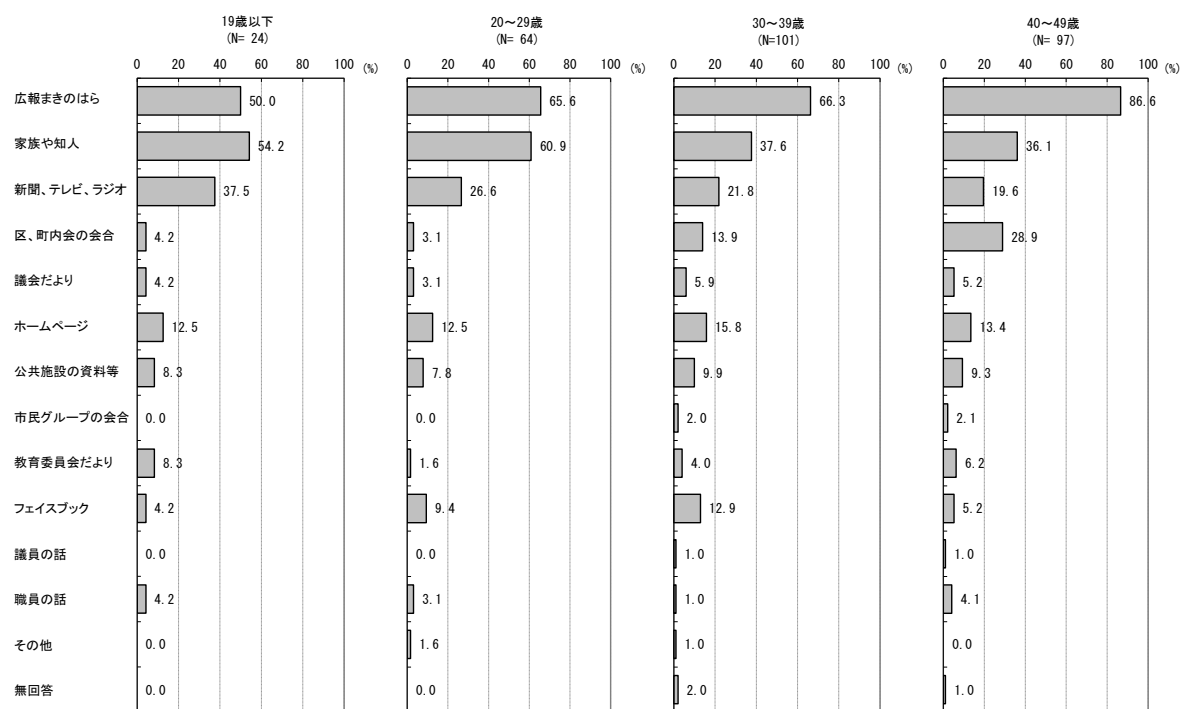
昨年度と比較すると、回答割合の高い項目ではほとんどの割合が低くなっており、特に「議会だより」は 11.5 ポイント低くなっている。一方、「家族や知人」は 1.6 ポイント高くなっている。

クロス集計



【性別】

女性において「広報まきのほら」が85.6%と、男性を9.9ポイント上回っている。また、「家族や知人」が40.0%と、男性を9.7ポイント上回っている。一方、男性では「区、町内会の会合」が31.5%と、女性を7.3ポイント上回っている。また、「議会だより」が20.7%と、女性を7.0ポイント上回っている。



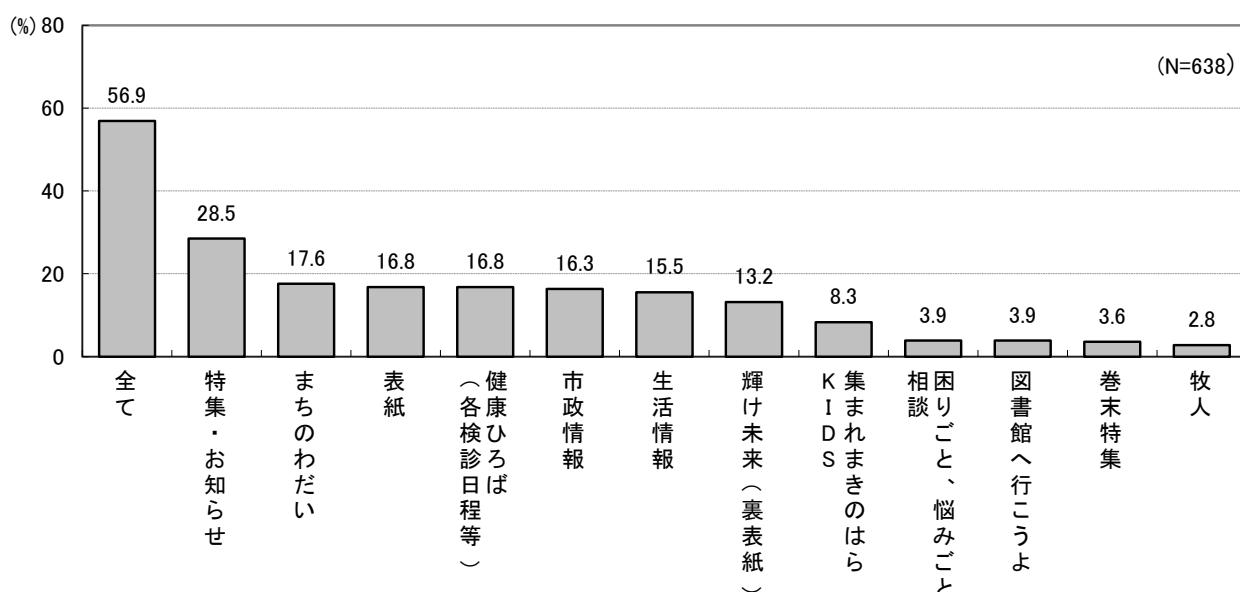
【年代別】

“20 歳以上” で「広報まきのほら」が最も多くなっており、特に“40 歳以上”では8割を超えている。19 歳以下では「家族や知人」が54.2%で最も多くなっている。また、“30 歳未満”では「家族や知人」、30~39 歳では「フェイスブック」、「50~79 歳」では「区、町内会の会合」、「60~79 歳」では「議会だより」、80 歳以上では「新聞、テレビ、ラジオ」と「市民グループの会合」が、他の年代に比べて多くなっている。

(問 20 で「1. 広報まきのほら」と答えた方にお聞きます。)

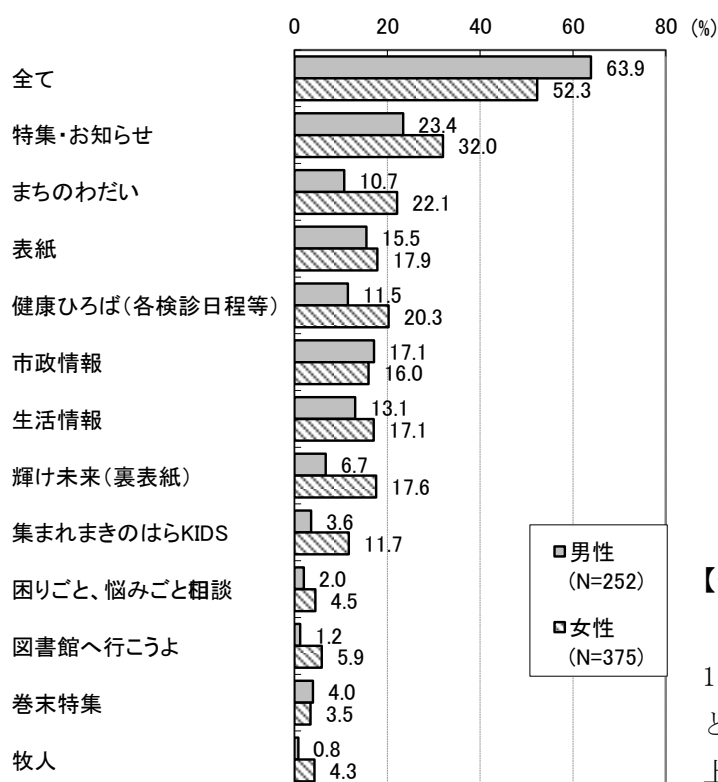
問21 広報まきのほらのどこを読みますか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。



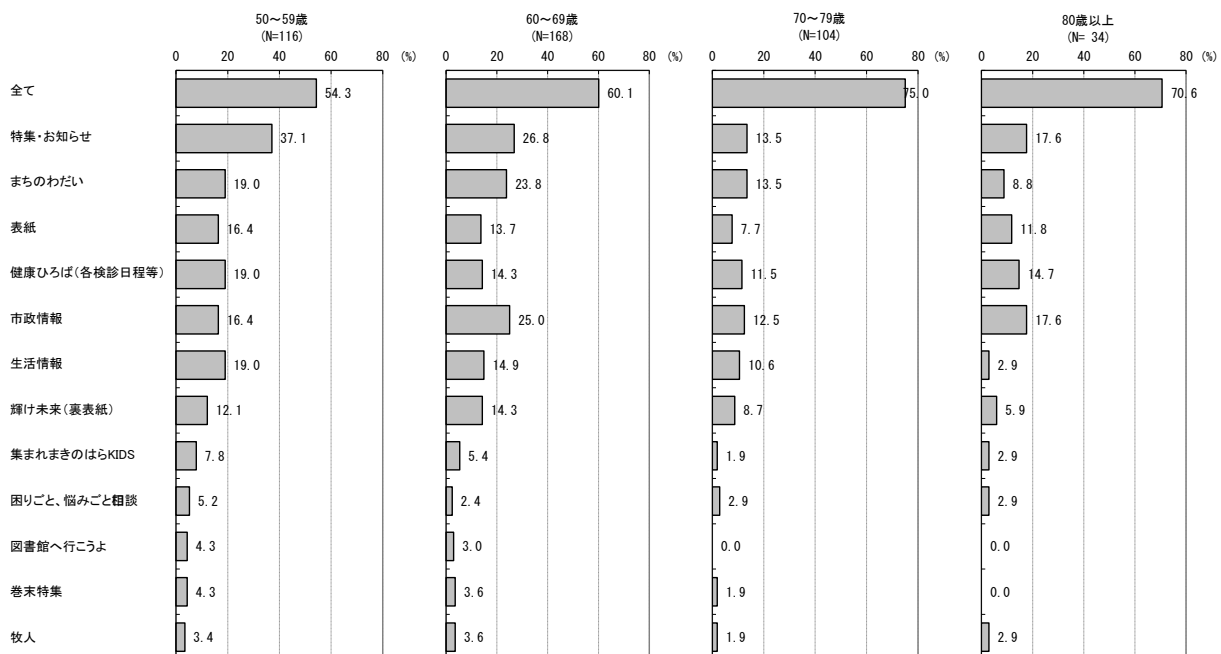
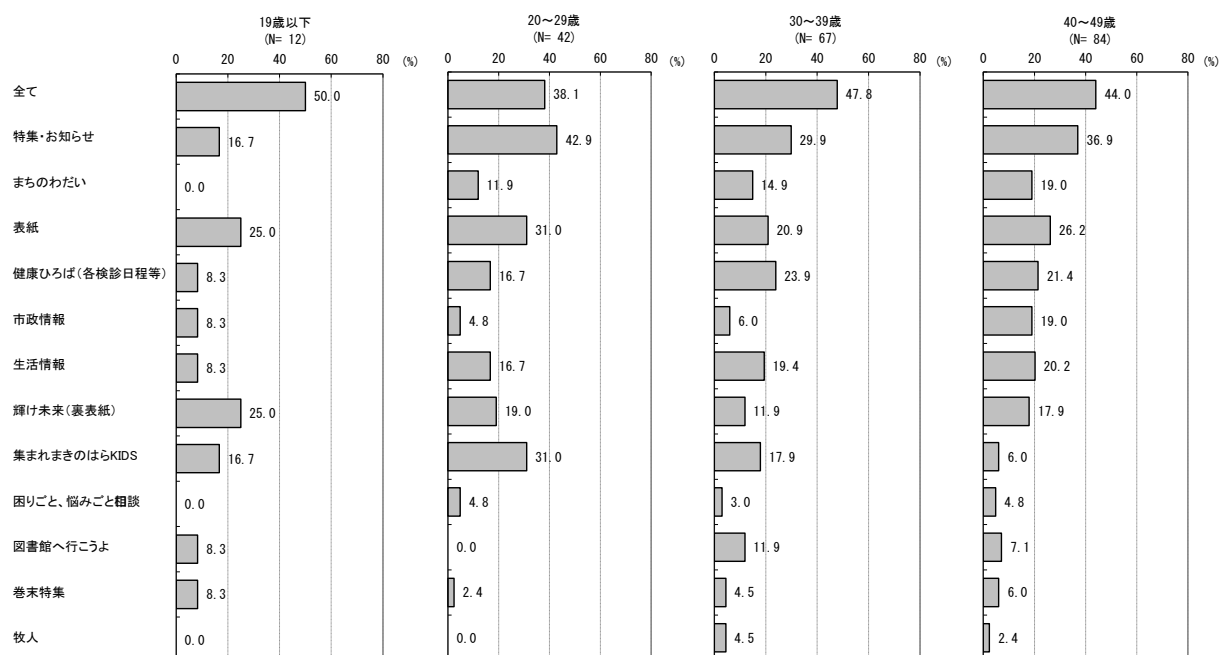
問 20 で「広報まきのほら」と回答した 638 人に読んでいる箇所についてうかがったところ、「全て」が 56.9%と半数を超え最も多く、次いで「特集・お知らせ」が 28.5%、「まちのわだい」が 17.6%などとなっている。

クロス集計



【性別】

男性において「全て」が 63.9%と、女性を 11.6 ポイント上回っている。一方、その他のほとんどの項目においては、女性の割合が男性を上回っている。

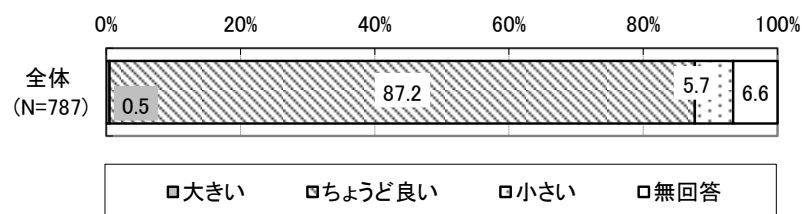


【年代別】

19歳以下と“30歳以上”では「全て」が最も多くなっており、特に“70歳以上”では7割を超えている。20~29歳では「特集・お知らせ」が42.9%と、最も多くなっている。また、20~29歳では「集まれまきのはらKIDS」が、60~69歳では「市政情報」が、他の年代に比べて多くなっている。

問22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？
それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

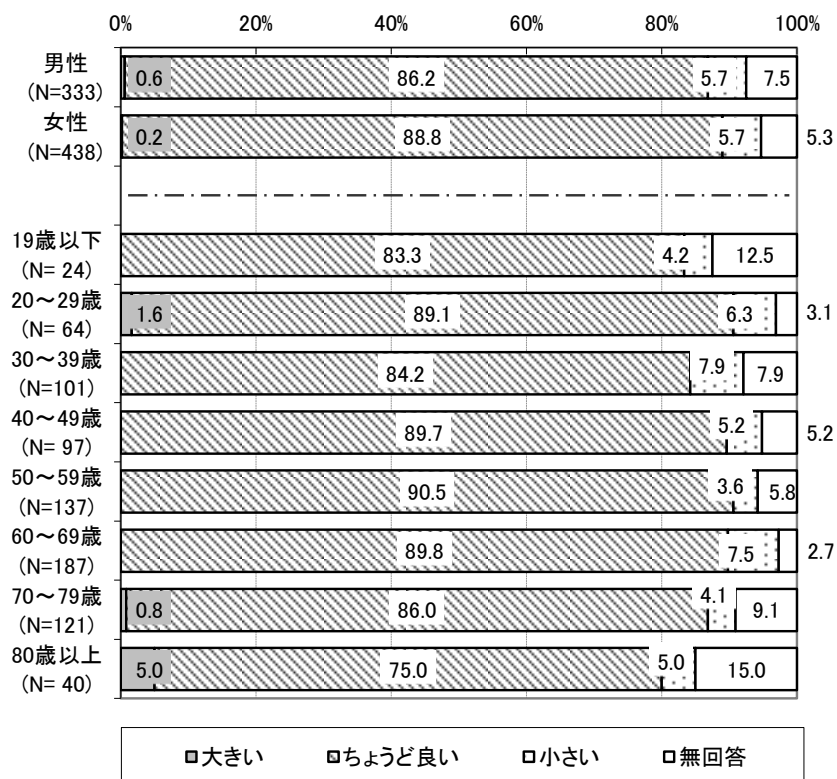
《文字の大きさ》



広報まきのはらの文字の大きさについては、「ちょうど良い」が 87.2%と約9割を占めている。次いで「小さい」が 5.7%、「大きい」が 0.5%となっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



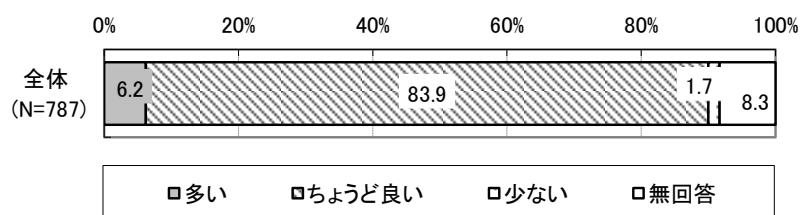
【性別】

女性において「ちょうど良い」が 88.8%と、男性を 2.6 ポイント上回っている。

【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が唯一8割を下回っているものの、「大きい」と「小さい」はともに5.0%にとどまっている。

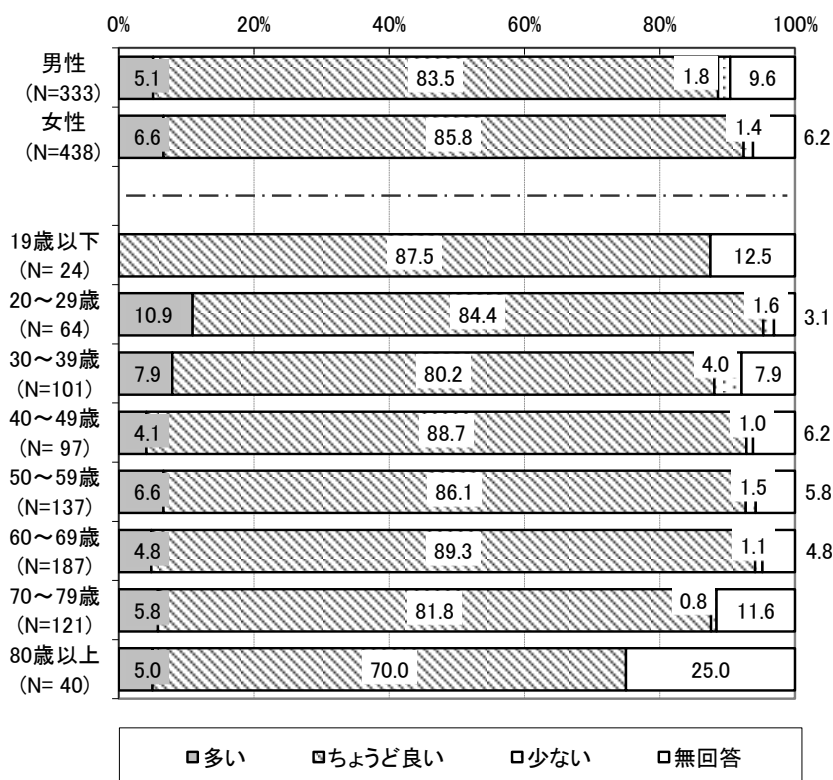
《文字の量》



広報まきのはらの文字の量については、「ちょうど良い」が 83.9%と約8割を占めている。次いで「多い」が 6.2%、「少ない」が 1.7%となっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



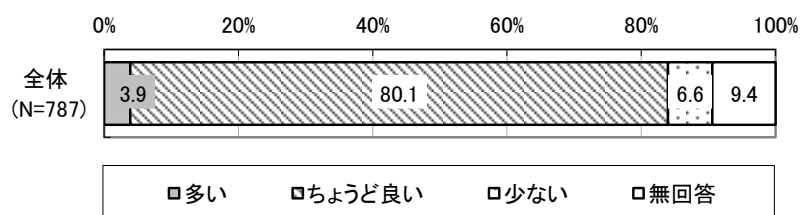
【性別】

女性において「ちょうど良い」が 85.8%と、男性を 2.3 ポイント上回っている。

【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が 70.0%と唯一8割を下回っているものの、「多い」は 5.0%に、「少ない」は 0.0%にとどまっている。また、20～29歳において、「多い」が 10.9%と、唯一1割を超えている。

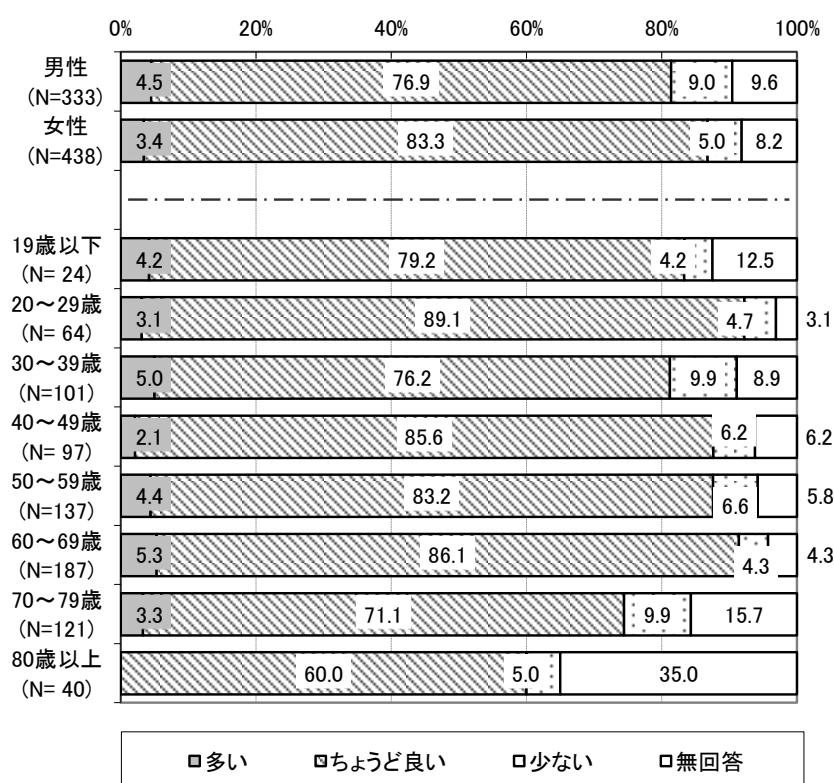
《ページ数》



広報まきのはらのページ数については、「ちょうど良い」が 80.1%と約8割を占めている。次いで「少ない」が 6.6%、「多い」が 3.9%となっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



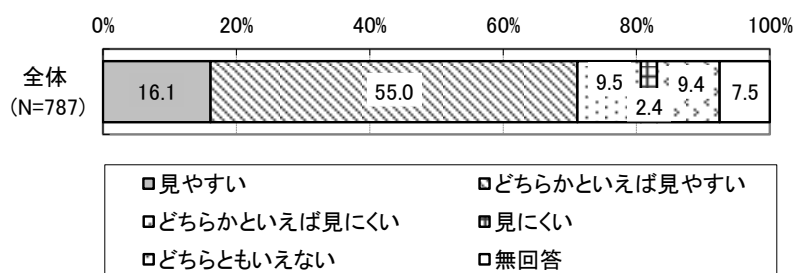
【性別】

女性において「ちょうど良い」が 83.3%と、男性を 6.4 ポイント上回っている。一方、男性では「少ない」が 9.0%と、女性を 4.0 ポイント上回っている。

【年代別】

80歳以上において「ちょうど良い」が 60.0%と唯一7割を下回っているものの、「多い」は 0.0%に、「少ない」は 5.0%にとどまっている。

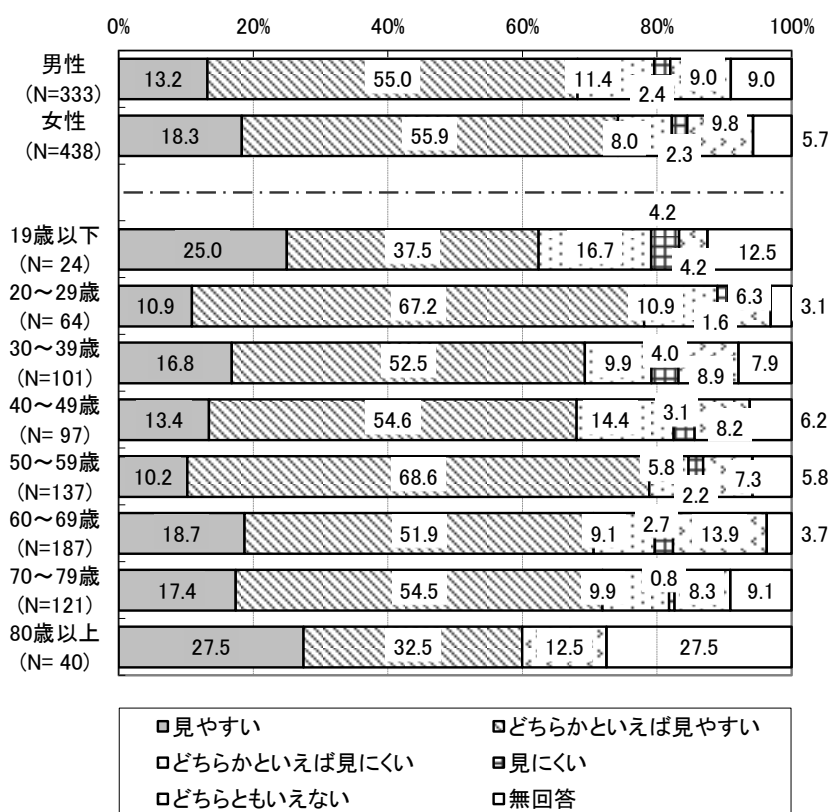
《見やすさ》



広報まきのはらの見やすさについては、「どちらかといえば見やすい」が 55.0%と約半数を占めている。次いで「見やすい」が 16.1%、「どちらかといえば見にくい」が 9.5%となっている。「見やすい」と「どちらかといえば見やすい」を合わせた“見やすい”は 71.1%と約 7 割を占め、「どちらかといえば見にくい」と「見にくい」を合わせた“見にくい”は 11.8%と約 1 割を占めている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



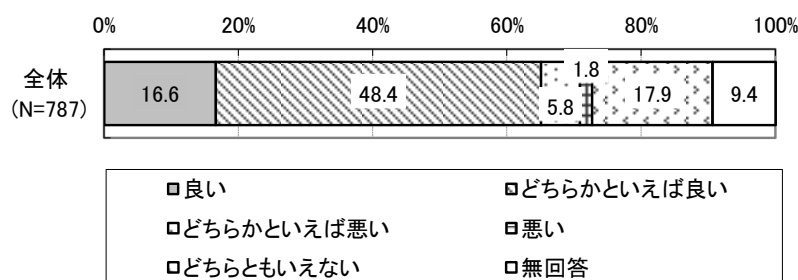
【性別】

女性において「見やすい」が 18.3%と、男性を 5.1 ポイント上回っている。一方、男性では「どちらかといえば見にくい」が 11.4%と、女性を 3.4 ポイント上回っている。

【年代別】

20～29 歳と 50～59 歳において、“見やすい”が約 8 割を占め、他の年代に比べて高くなっている。19 歳以下において“見にくい”が 20.9%と約 2 割を占めている一方、80 歳以上では“見にくい”は 0.0%となっている。

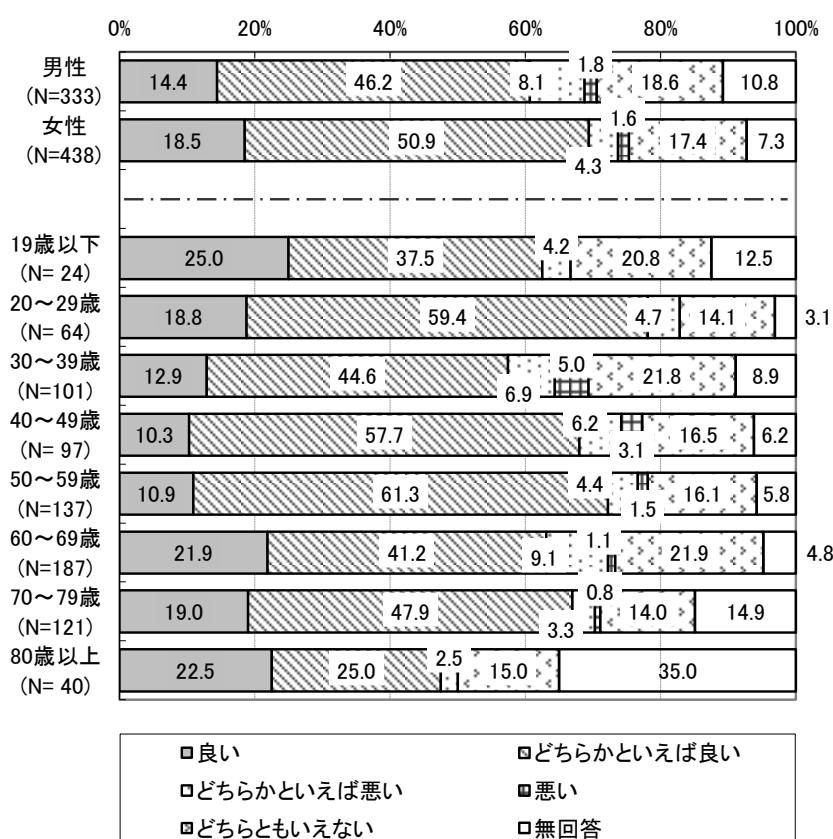
《内容》



広報まきのはらの内容については、「どちらかといえば良い」が 48.4%と約半数を占めている。次いで「どちらともいえない」が 17.9%、「良い」が 16.6%となっている。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“良い”は 65.0%と 6 割を超えており、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた“悪い”は 7.6%と 1 割未満にとどまっている。

クロス集計

(※0.0%非表示)



【性別】

女性において“良い”が 69.4%と、男性を 8.8 ポイント上回っている。一方、男性では“悪い”が 9.9%と約 1 割を占め、女性を 4.0 ポイント上回っている。

【年代別】

20～29 歳において“良い”が 78.2%と約 8 割を占め、他の年代に比べて多くなっている。一方、30～39 歳と 60～69 歳では“悪い”が 1 割を超えている。

＜牧之原市の行政サービスについて＞

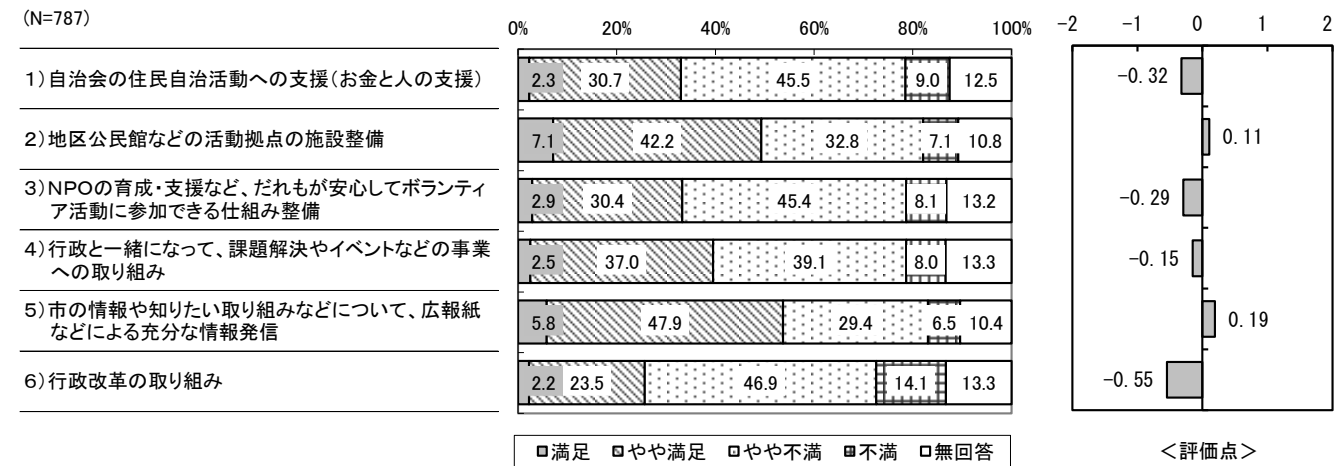
問23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？
また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に○印をお付けください。
※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

評価点の算出方法

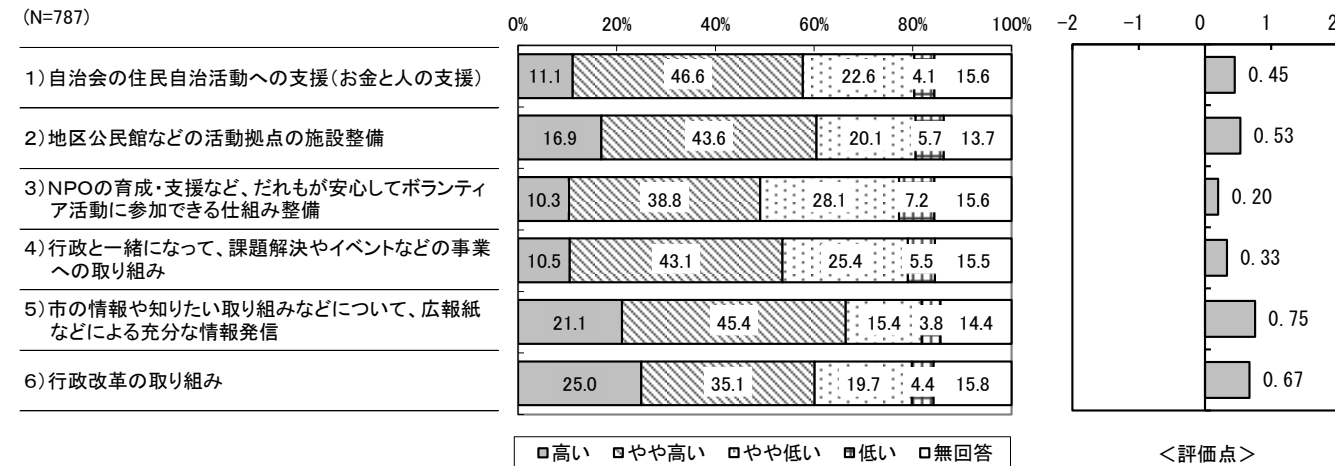
「満足」「重要度高い」と回答した人を＋２点、「やや満足」「重要度やや高い」は＋１点、「やや不満」「重要度やや低い」は－１点、「不満」「重要度低い」を－２点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。

《 みんなが主役 想いが実現するまち 》

満足度

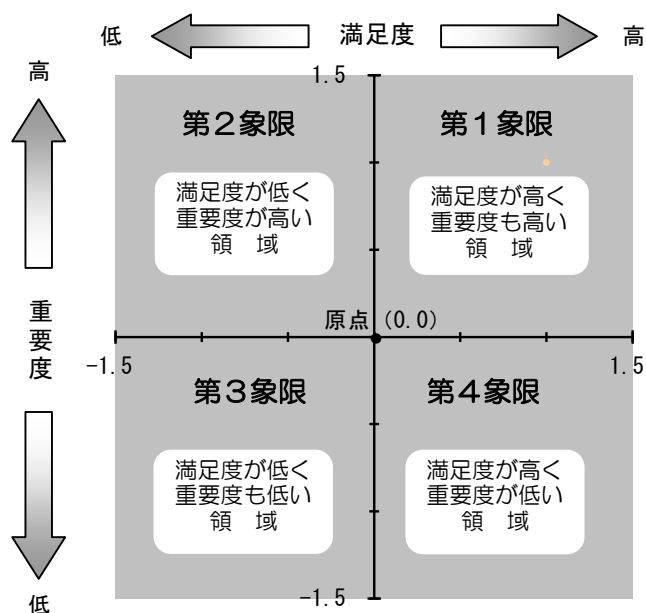


重要度



《みんなが主役 想いが実現するまち》で満足度が高いのは、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の 0.19 点、また、『2 地区公民館などの活動拠点の施設整備』の 0.11 点である。一方、『6 行政改革の取り組み』は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満である”が 61.0%と約 6 割を占め、評価点も-0.55 点と低くなっている。

《みんなが主役 想いが実現するまち》で重要度が高いのは、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の 0.75 点であり、満足度、重要度ともに高い取り組みとなっている。次いで『6 行政改革の取り組み』が 0.67 点、『2 地区公民館などの活動拠点の施設整備』が 0.53 点などとなっている。

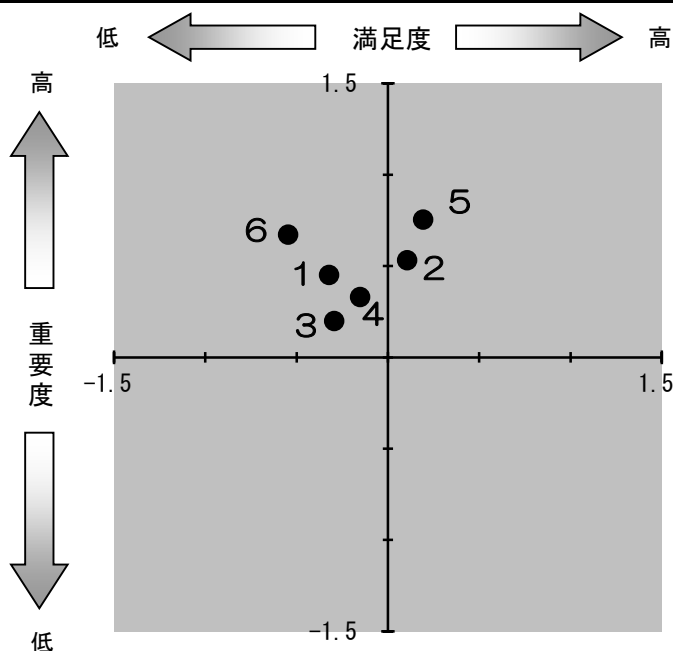


参 考

各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

*散布図中の番号は、各取り組みの通し番号であるため、各散布図上記表を参照

《みんなが主役 想いが実現するまち》		満足度	重要度
1	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	-0.32	0.45
2	地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.11	0.53
3	NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	-0.29	0.20
4	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	-0.15	0.33
5	市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.19	0.75
6	行政改革の取り組み	-0.55	0.67
平均		-0.17	0.49

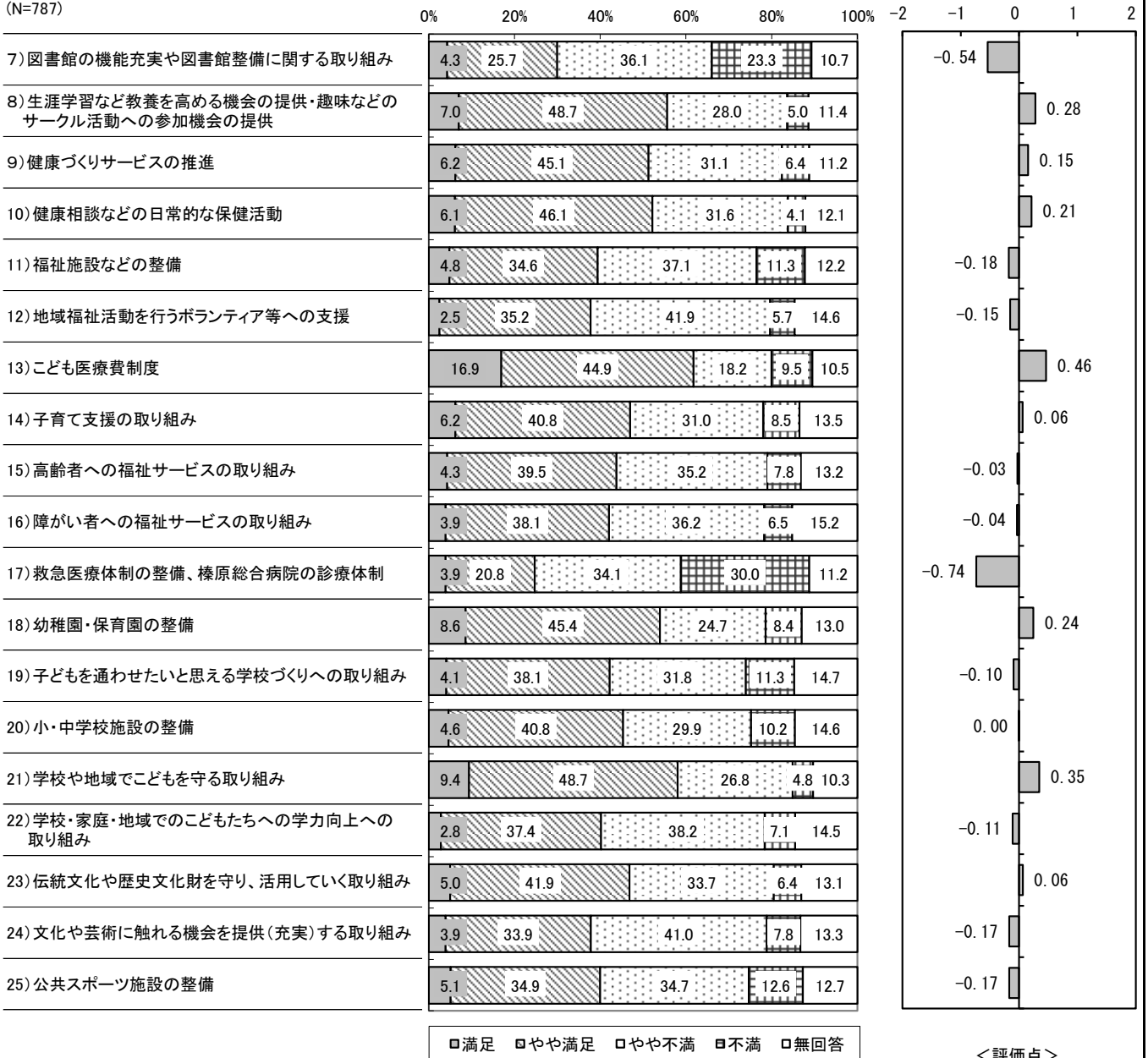


散布図でみると、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』と『2 地区公民館などの活動拠点の施設整備』が、満足度、重要度ともに高い第1象限の領域にある。それ以外の項目については、いずれも満足度がマイナスで重要度がプラスの第2象限の領域に位置している。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

満足度

(N=787)



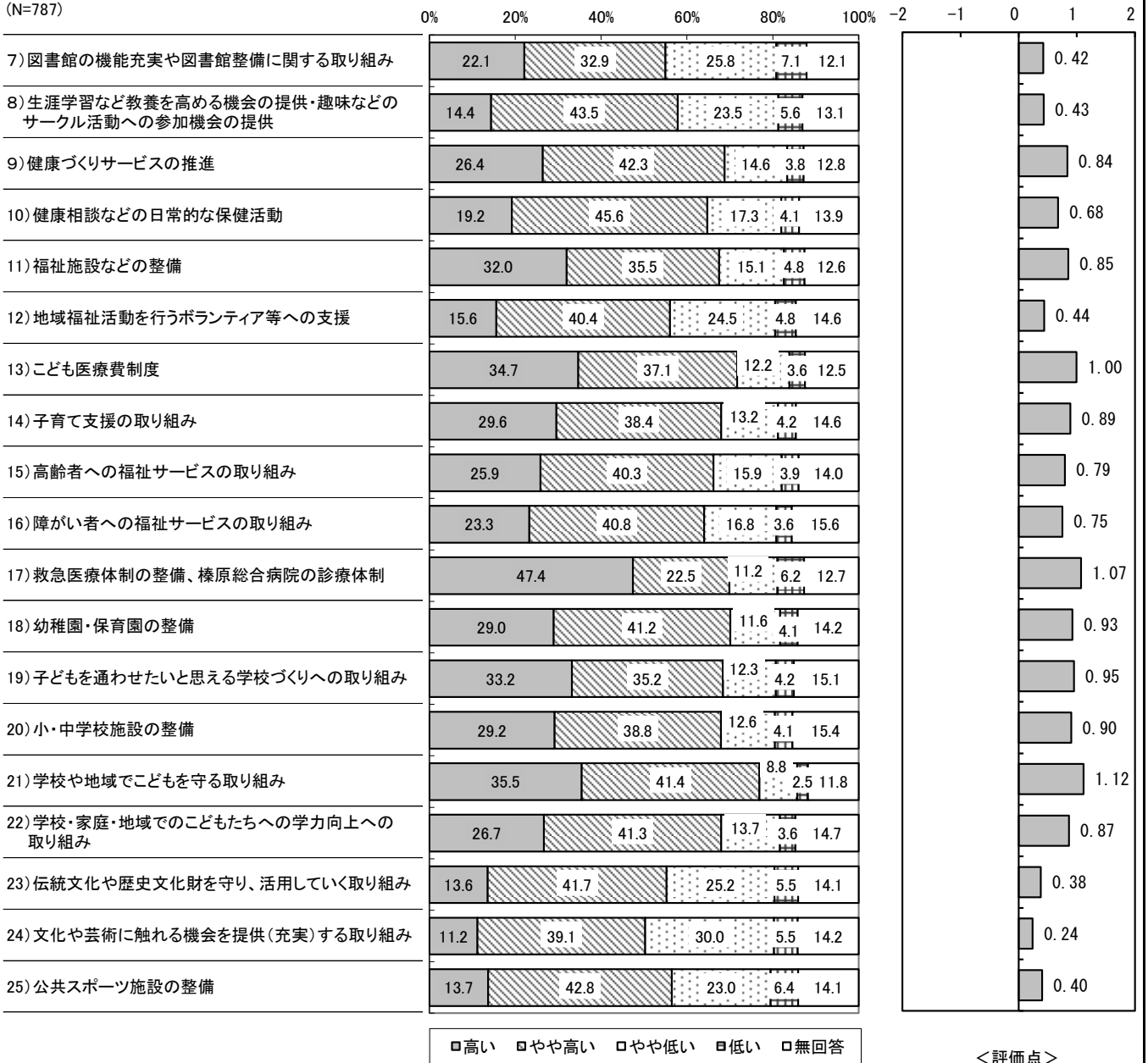
《支えあい学びあう幸せのまち》で満足度が高いのは、『13 こども医療費制度』で、「満足」が唯一1割を超えており、評価点が0.46点となっている。次いで高いのが『21 学校や地域で子どもを守る取り組み』で、評価点が0.35点となっている。

一方、『17 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は、「不満」が30.0%と3割を占め多く、評価点も-0.74点と低い。次いで『7 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』が「不満」が23.3%と約2割を占め、評価点が-0.54点となっている。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

重要度

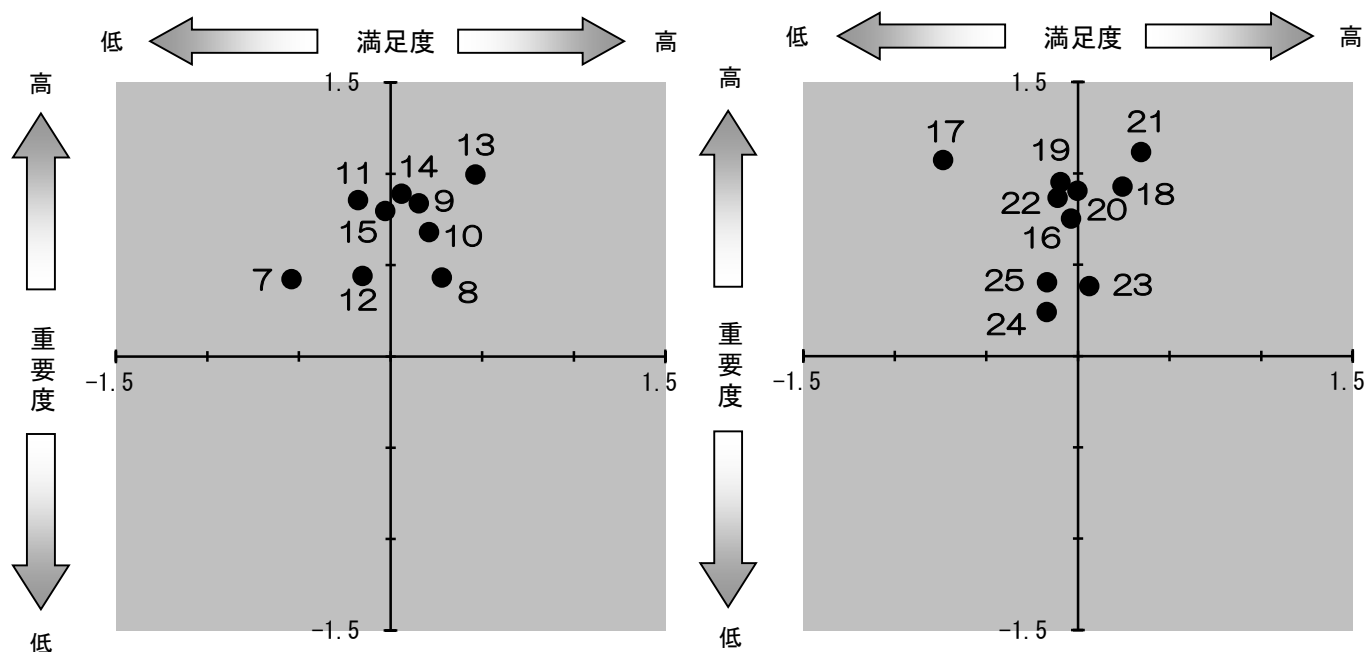
(N=787)



《支えあい学びあう幸せのまち》で重要度が高いのは、『21 学校や地域で子どもを守る取り組み』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”が76.9%となっており、評価点は1.12点で、全項目の中で最も高い評価点となっている。次いで『17 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』が1.07点、『13 こども医療費制度』が1.00点となっており、この3項目において1.00点を超えている。

《支えあい学びあう幸せのまち》		満足度	重要度
7	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.54	0.42
8	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.28	0.43
9	健康づくりサービスの推進	0.15	0.84
10	健康相談などの日常的な保健活動	0.21	0.68
11	福祉施設などの整備	-0.18	0.85
12	地域福祉活動を行うボランティア等への支援	-0.15	0.44
13	こども医療費制度	0.46	1.00
14	子育て支援の取り組み	0.06	0.89
15	高齢者への福祉サービスの取り組み	-0.03	0.79
16	障がい者への福祉サービスの取り組み	-0.04	0.75
17	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.74	1.07
18	幼稚園・保育園の整備	0.24	0.93
19	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	-0.10	0.95
20	小・中学校施設の整備	0.00	0.90
21	学校や地域で子どもを守る取り組み	0.35	1.12
22	学校・家庭・地域でのこどもたちへの学力向上への取り組み	-0.11	0.87
23	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	0.06	0.38
24	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み	-0.17	0.24
25	公共スポーツ施設の整備	-0.17	0.40
平均		-0.02	0.73

* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している

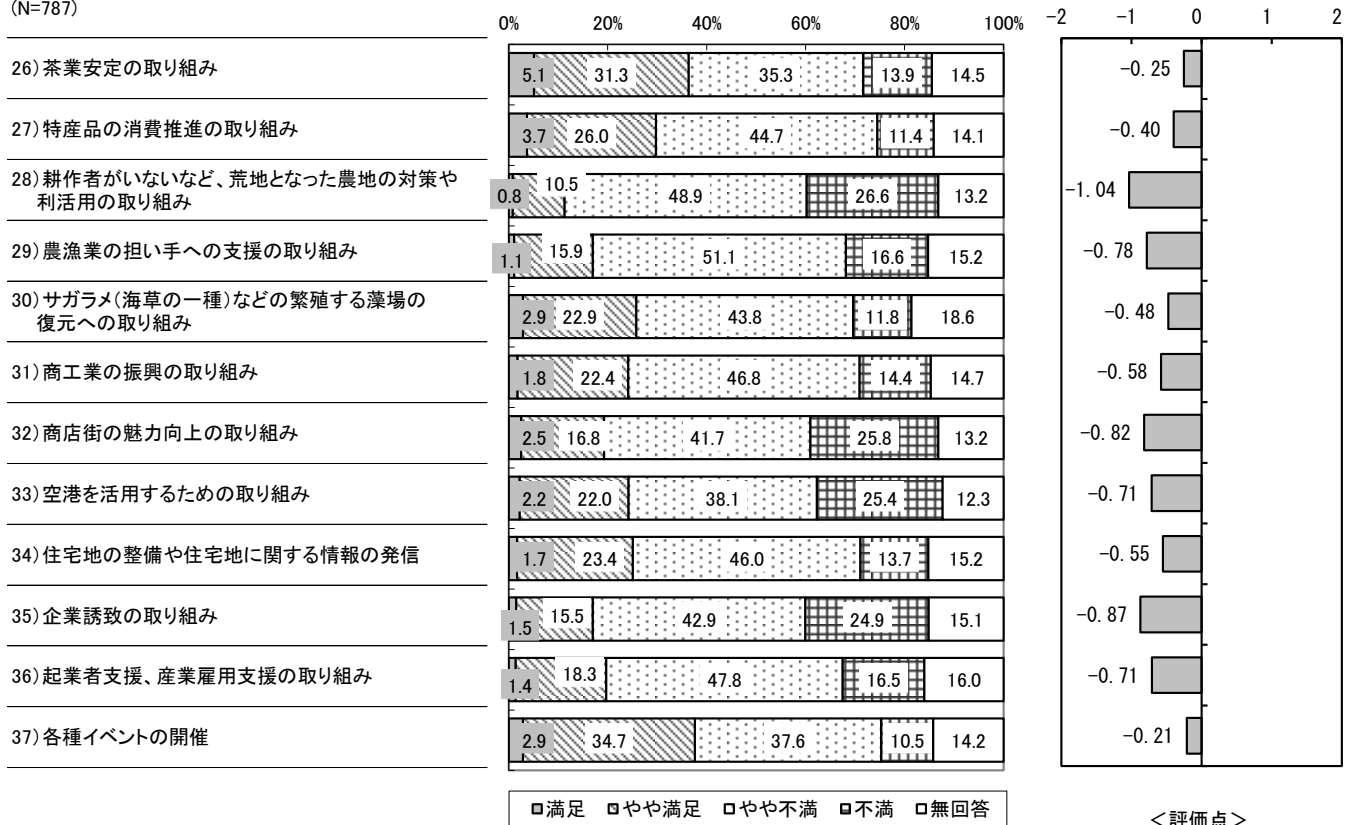


散布図でみると、『21 学校や地域で子どもを守る取り組み』が、第1象限の上方に位置しており、特に重要度が高くなっていることが分かる。一方、『17 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は第2象限の上方に位置しており、重要度が高いものの、満足度は低くなっていることが分かる。また、すべての項目で重要度は高くなっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

満足度

(N=787)



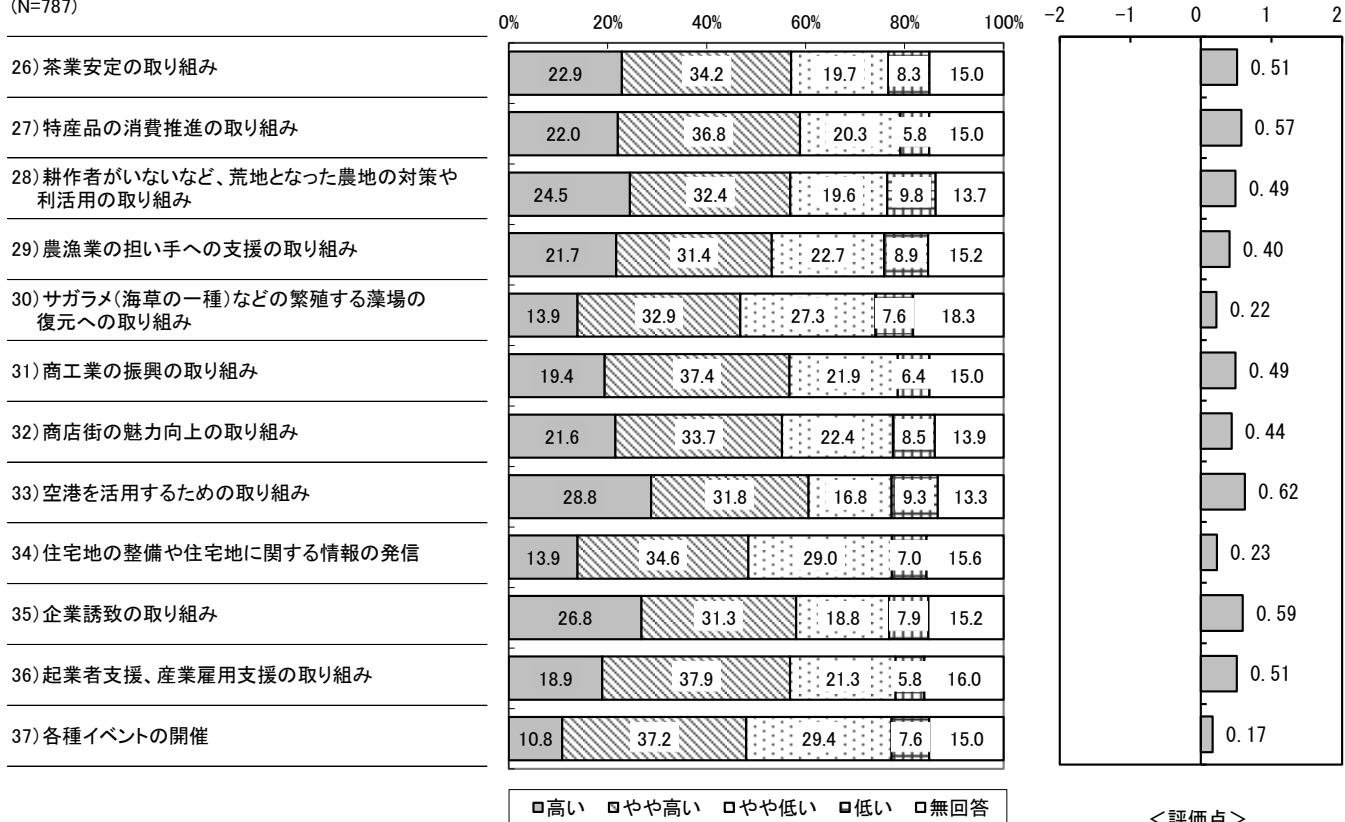
《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で満足度が高いのは、『37 各種イベントの開催』で、評価点が-0.21点となっており、最も満足度が高い項目でもマイナスの評価点となっている。

最も満足度が低い項目である『28 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』では、「不満」が26.6%で、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”は75.5%と8割近くとなっており、評価点が-1.04点となっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

重要度

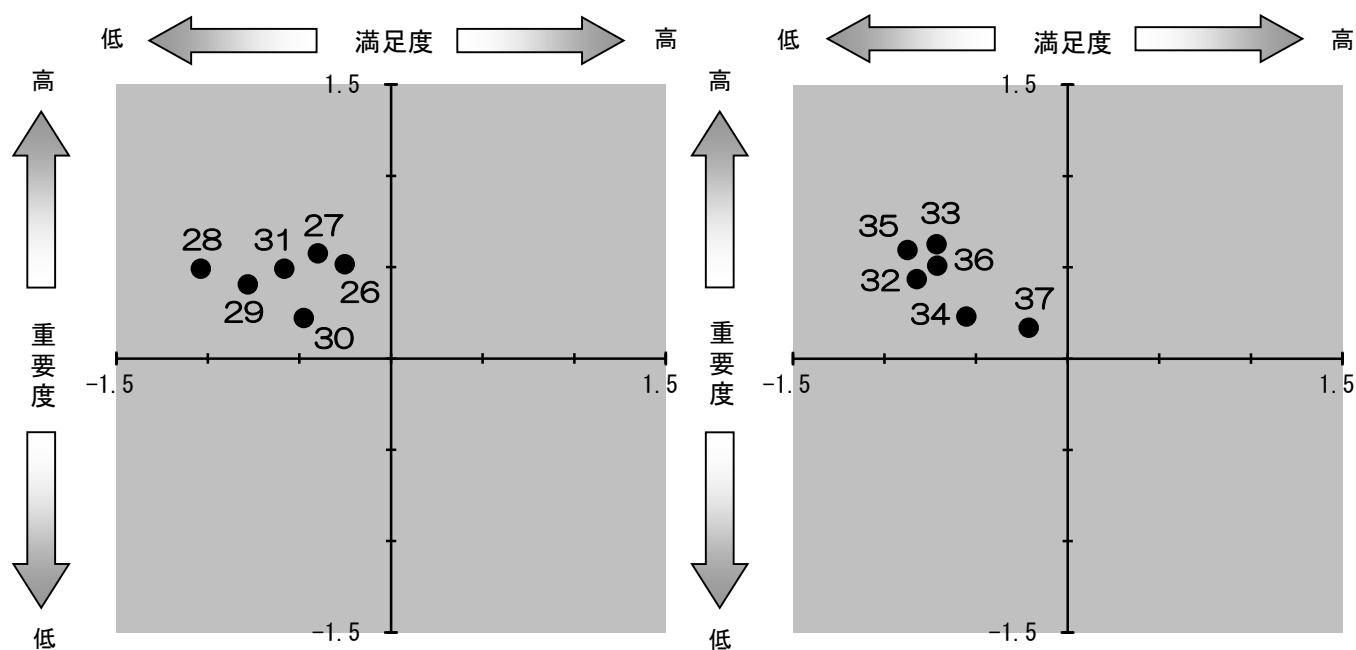
(N=787)



《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で重要度が高いのは、『33 空港を活用するための取り組み』で「高い」が28.8%、『35 企業誘致の取り組み』で26.8%と、この2項目で3割近くになっており、評価点はそれぞれ0.62点、0.59点となっている。その他、『27 特産品の消費推進の取り組み』が0.57点、『26 茶業安定の取り組み』と『36 企業者支援、産業雇用支援の取り組み』が0.51点となっており、この5項目で0.50点を超えている。

《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》		満足度	重要度
26	茶業安定の取り組み	-0.25	0.51
27	特産品の消費推進の取り組み	-0.40	0.57
28	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.04	0.49
29	農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.78	0.40
30	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.48	0.22
31	商工業の振興の取り組み	-0.58	0.49
32	商店街の魅力向上の取り組み	-0.82	0.44
33	空港を活用するための取り組み	-0.71	0.62
34	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.55	0.23
35	企業誘致の取り組み	-0.87	0.59
36	起業者支援、産業雇用支援の取り組み	-0.71	0.51
37	各種イベントの開催	-0.21	0.17

* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している



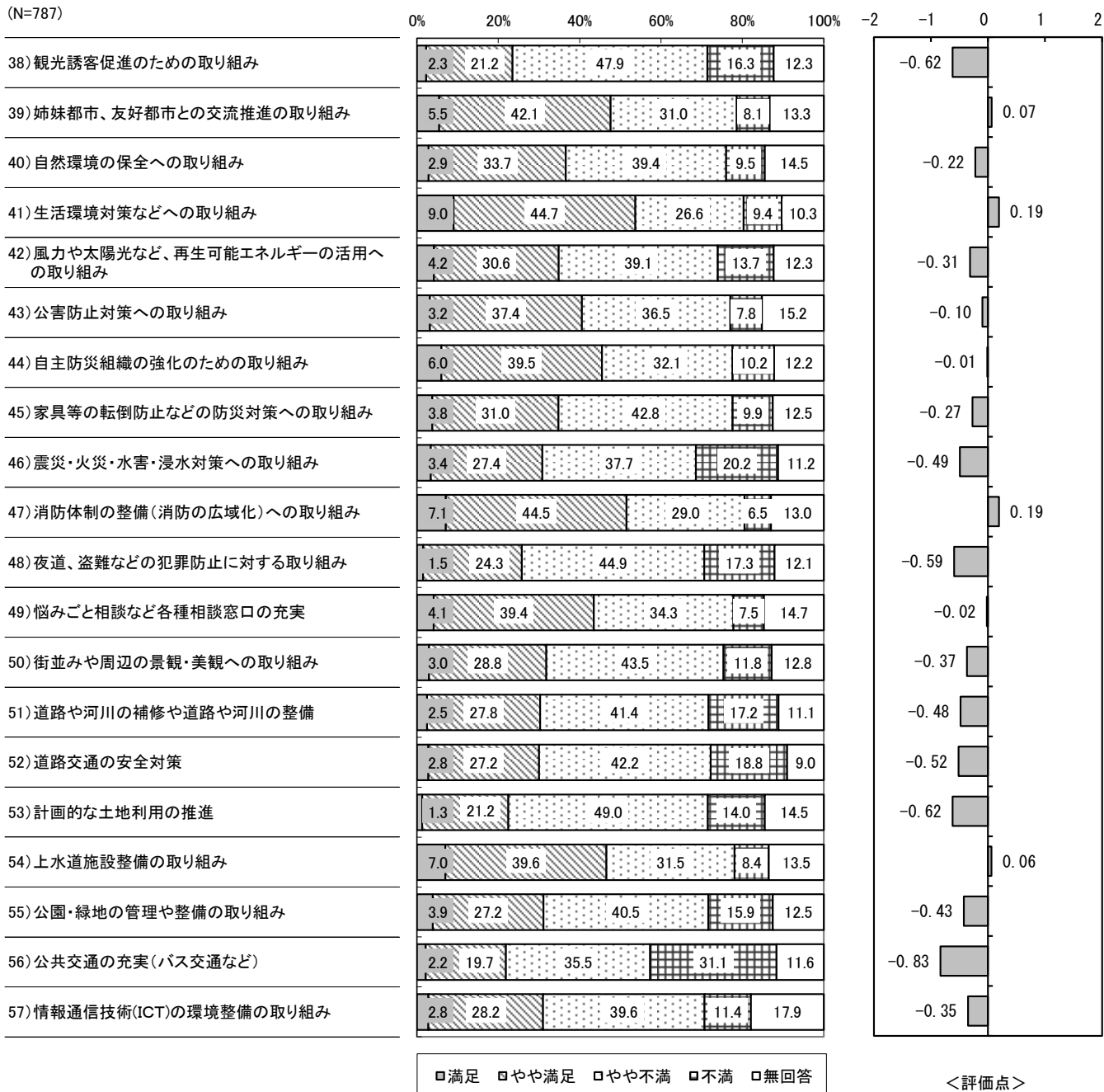
散布図でみると、いずれの項目も重要度の評価点はプラスで、満足度の評価点はマイナスの第2象限に位置している。

その中で、『28 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』は、全項目において最も満足度が低くなっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

満足度

(N=787)



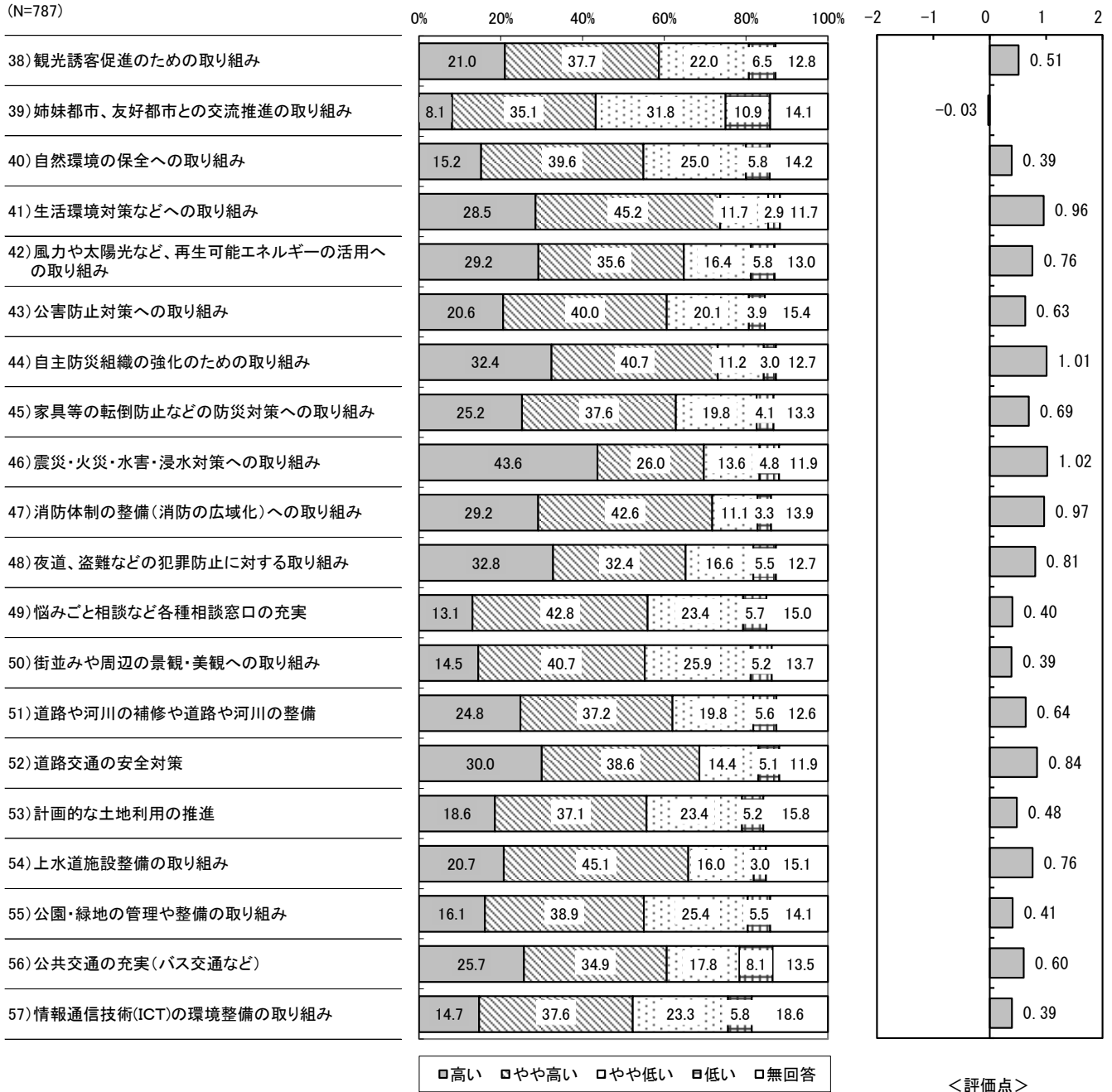
《うみ・そら・みどりと共生するまち》で満足度が高いのは、『41 生活環境対策などへの取り組み』と『47 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み』で、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が、それぞれ53.7%、51.6%と半数を超え、評価点はともに0.19点となっている。その他、『39 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』が0.07点、『54 上水道施設整備の取り組み』が0.06点となっており、この4項目で満足度がプラスの評価点となっている。

一方、『56 公共交通の充実』では、「不満」が31.1%と3割を超えて最も高く、評価点も-0.83点と低い。次いで『38 観光誘客促進のための取り組み』で、-0.62点となっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

重要度

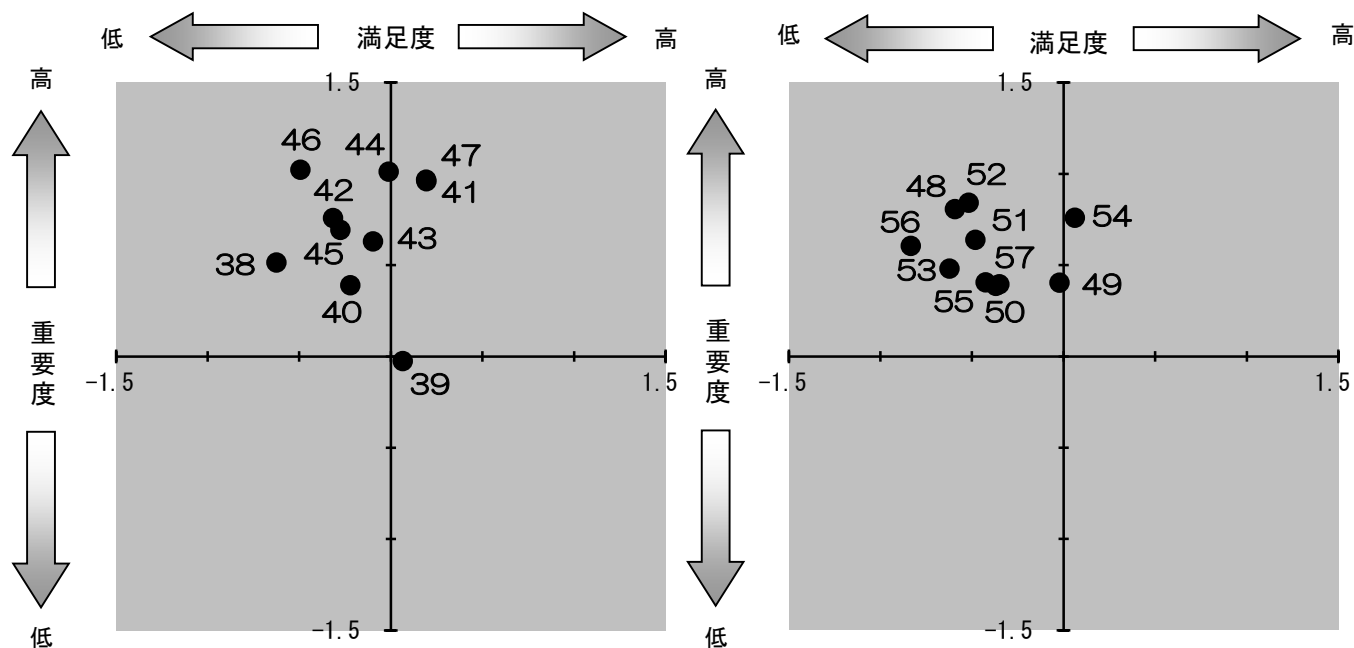
(N=787)



《うみ・そら・みどりと共生するまち》で重要度が高いのは、『46 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が43.6%と4割以上を占め、評価点は1.02点と最も高くなっている。次いで『44 自主防災組織の強化のための取り組み』が1.01点となっており、この2項目において1.00点以上となっている。一方、『39 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』は「やや低い」が31.8%と約3割を占め、評価点は-0.03点と、唯一マイナスになっている。

《うみ・そら・みどりと共生するまち》		満足度	重要度
38	観光誘客促進のための取り組み	-0.62	0.51
39	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	0.07	-0.03
40	自然環境の保全への取り組み	-0.22	0.39
41	生活環境対策などへの取り組み	0.19	0.96
42	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	-0.31	0.76
43	公害防止対策への取り組み	-0.10	0.63
44	自主防災組織の強化のための取り組み	-0.01	1.01
45	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.27	0.69
46	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.49	1.02
47	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.19	0.97
48	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.59	0.81
49	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	-0.02	0.40
50	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.37	0.39
51	道路や河川の補修や道路や河川の整備	-0.48	0.64
52	道路交通の安全対策	-0.52	0.84
53	計画的な土地利用の推進	-0.62	0.48
54	上水道施設整備の取り組み	0.06	0.76
55	公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.43	0.41
56	公共交通の充実（バス交通など）	-0.83	0.60
57	情報通信技術（ＩＣＴ）の環境整備の取り組み	-0.35	0.39
平均		-0.29	0.63

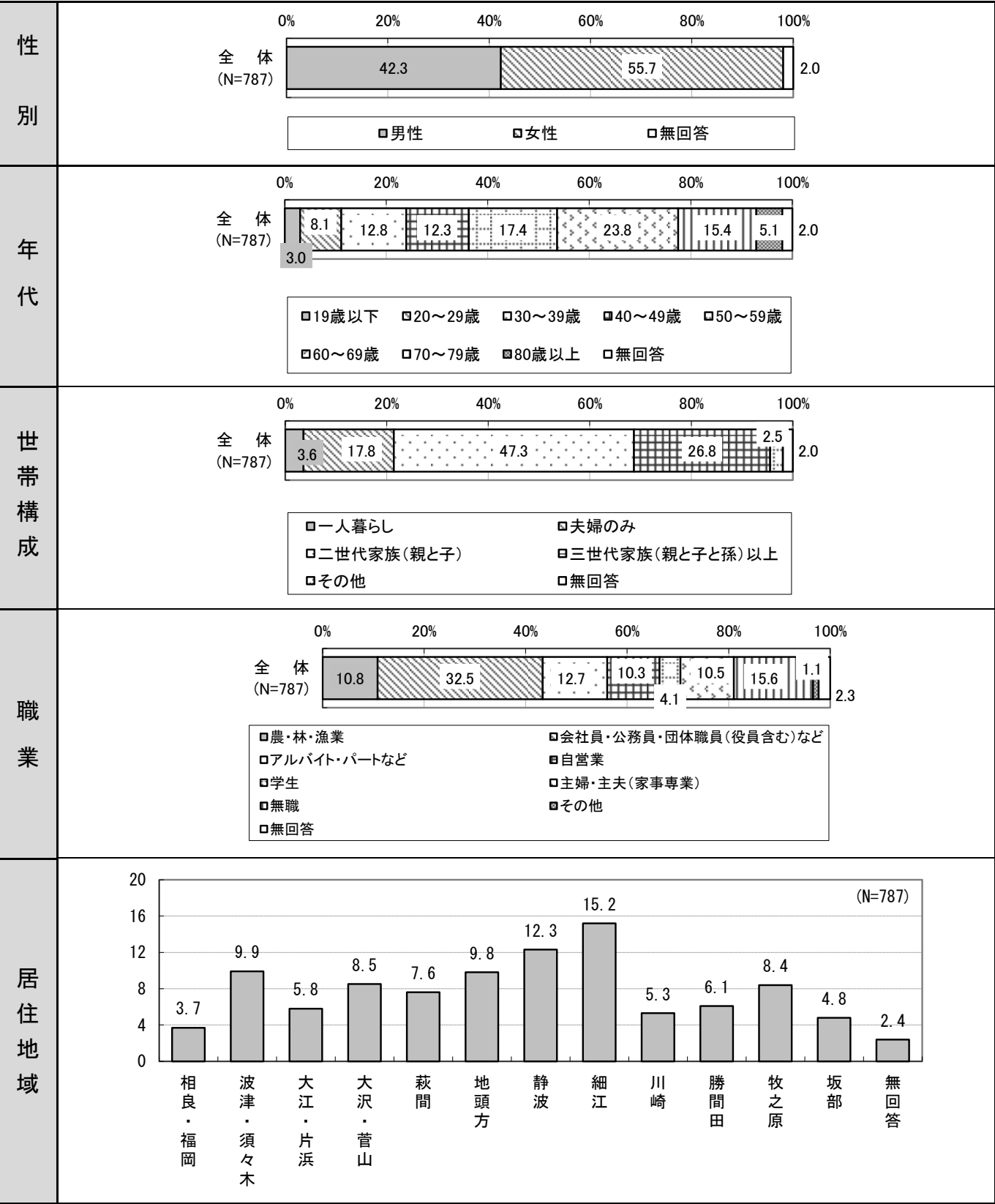
* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している



散布図でみると、『41 生活環境対策などへの取り組み』、『47 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』、『54 上水道施設整備の取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

また、重要度はいずれも高く、『39 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』を除いてマイナスの項目はみられない。

<回答者の属性>



性別は、「男性」が 42.3%に対して、「女性」が 55.7%と、女性の方が 13.4 ポイント高くなっている。

年代は、「60～69 歳」が 23.8%で最も多く、次いで「50～59 歳」が 17.4%、「70～79 歳」が 15.4%などとなっている。

居住地は、「細江」が 15.2%で最も多く、次いで「静波」が 12.3%などとなっている。

3 調査票

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください！

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力をお願い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、現在、来年度を始まりとする新しい総合計画の策定を進めています。

昨年、市民意識調査や 170 団体に上る様々な団体の代表との意見交換会など、合計 1,500 人を超える市民の声を調査・分析を行い、昨年 12 月には、次世代を担う若者が中心となった市民会議「NEXTまきのほら」を立ち上げ、計 5 回の会議を経て、今年 5 月に総合計画の基本構想案がまとまりました。

新しい総合計画では、私がこれまで市政経営の方針としてきた「市民協働」のもとで、活力を高め、若者が魅力を感じる住環境をつくること、共に支え、安心して思いが実現できる地域社会を築くこと、そして、経営を見直し、推進力を高めることを重点戦略としています。

調査の対象は、市内にお住まいの 16 歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた 1,400 人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんのでご安心ください。

設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様の声を必ず市政に反映しますので、ご協力をよろしくお願いします。

なお、調査結果については、本年 9 月に公表を予定しています。

平成 26 年 7 月

牧之原市長 西原茂樹



■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞取り等でご記入ください（ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください）。

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに（1つに○）、（3つ以内）などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例（①）

■調査票の返送と調査に関するお問合せ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画課までご返送ください。（切手は不要です。）

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ8月1日（金）までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画課（担当：北西・鳥居） 電話0548-23-0040

<牧之原市での暮らしについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

1. 住み続けたい

2. 市内の他の場所へ移りたい

3. 市外へ移りたい

4. わからない

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

→問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから

2. 通勤や通学など交通面が不便だから

3. 道路などの生活基盤が整備されていないから

4. 子育てや教育環境が良くないから

5. 医療や介護の環境が良くないから

6. 自然環境が悪化しているから

7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから

8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから

9. 知人や親族がいないから

10. 故郷ではないから

11. 勤めたい会社が市内にないから

12. その他（具体的に： ）

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

1. 大いに思う

2. ある程度思う

3. どちらともいえない

4. あまり思わない

5. まったく思わない

6. わからない

(問3 で「1 大いに思う」または「2 ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

→問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 健康であるから

2. 生きがいがあるから

3. 生活環境が良好であるから

4. 家族や友人との関係が良好だから

5. 治安が保たれているから

6. 住まいがあるから

7. 生活に余裕があるから

8. 災害がないから

9. 食生活が良好であるから

10. いい職場に勤めているから

11. 活躍できる場があるから

12. 社会貢献する場があるから

13. スポーツ活動が充実しているから

14. その他（具体的に： ）

<原子力発電についてお聞きします>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： _____）

<子育て環境についてお聞きします>

問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実
2. 親子で遊べる施設や公園の整備
3. 医療費が無料化
4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実
5. 教育・文化水準の向上
6. 一時的にこどもを預かる施設
7. 地震・津波など災害対策
8. 地域で子どもを育てる意識の向上
9. その他（具体的に： _____）

<“公共施設の更新問題”についてお聞きます>

日本では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。現在、これらの公共施設は、一斉に老朽化しつつあり、また、近い将来、一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、すべての公共施設を維持することが難しくなります。

このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」と呼ばれています。

問 8 あなたは、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」を知っていましたか？あてはまるものに 1 つ ○ 印をつけてください。

1. 知っている

2. 聞いたことがある

3. 知らない

問 9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題（老朽化問題）」に対応するための取り組みを始めました。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに 1 つ ○ 印をつけてください。

1. 知っている

2. 聞いたことがある

3. 知らない

（問 9 で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きます。）

→ 問 10 その情報をなにで見聞きましたか？あてはまるもの 全て に ○ 印をつけてください。

1. 広報まきのほら

2. ホームページ

3. 市の会合

4. 市民グループの会合

5. 職員の話

6. 議員の話

7. 家族や知人

8. その他（ ）

問 11 「公共施設の更新問題（老朽化問題）」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対して、あなたはどう思いますか？あてはまるものに 1 つ ○ 印をつけてください。

1. 容認できる

2. ある程度までは容認できる

3. 容認できない

<“産業・雇用”についてお聞きします>

問 12 あなたは、市の産業は、活力（元気）があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 大いに思う

2. ある程度思う

3. どちらともいえない

4. あまり思わない

5. まったく思わない

6. わからない

→（問 12 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。）

問 13 あなたは、どの産業がもっとも活力（元気）があると思いますか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 農業

2. 水産業

3. 商業

4. 工業

5. 観光業

6. その他（ ）

問 14 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 企業誘致の促進

2. 既存産業の設備投資などへの支援

3. 特産品・製品の市外へのPR

4. 販路開拓や市場調査への支援

5. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援

6. 後継者の育成への支援

7. 起業・新規就農に対する支援

8. イベントの開催

9. 異なる業種との交流の促進

10. 事業者の意識改革

11. 地域資源の活用

12. その他（具体的に： ）

<“地域活動”についてお聞きします>

問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに 1つ ○印をつけてください。

- 1.** 毎日 **2.** 週に4～5日 **3.** 週に2～3日
4. 週に1日 **5.** ほとんどない

問 16 あなたは何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 買い物 2. 仕事（農作業含む） 3. 通学 4. 塾
5. スポーツや部活動 6. 外食 7. 旅行 8. 散歩
9. 趣味や娯楽 10. 医療機関への通院 11. 学習活動 12. 地域活動
13. 友人や子どもの家などへの訪問 14. その他（ ） 15. 外出はほとんどしない

問 17 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 地域の計画づくり（地域の絆づくり等）
2. 防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）
3. 子育て支援（子育てサークル・託児ボランティアを含む）
4. 高齢者や障害者の支援
5. 健康づくり
6. スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）
7. 環境美化や保全
8. 公園や施設の維持管理
9. イベントの開催
10. 文化芸術（伝統行事、まつり等）
11. 学校行事（子ども会、PTA 活動等）
12. 自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）
13. 生涯学習
14. その他（具体的に：
15. 参加していない

問 18 あなたは、地域活動の活発・活性化に必要と思うことは何ですか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------------|-----------------|
| 1. 住民の自治意識の向上 | 2. 行政と住民との地域情報の共有 | 3. 人材育成 |
| 4. 活動拠点の整備 | 5. 行政からの人的支援 | 6. 地域のことは地域に任せる |
| 7. 各種組織団体の連携 | 8. 活動団体の自己財源の確保 | 9. 行政からの財政支援 |
| 10. その他（具体的に ） | | |

<市からの情報発信についてお聞きします>

問 19 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|----------|
| 1. 子育て | 2. 健康・医療・福祉 | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備 | 5. 観光・イベント | 6. 環境 |
| 7. 教育 | 8. 産業 | 9. 生活 |
| 10. スポーツ・文化・歴史 | 10. その他（ ） | |

問 20 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 広報まきのほら | 2. ホームページ | 3. フェイスブック |
| 4. 教育委員会だより | 5. 新聞、テレビ、ラジオ | 6. 区、町内会の会合 |
| 7. 市民グループの会合 | 8. 議員の話 | 9. 職員の話 |
| 10. 家族や知人 | 11. 公共施設の資料等 | 12. 議会だより |
| 13. その他（ ） | | |

→(問 20 で「1. 広報まきのほら」と答えた方にお聞きします。)

問 21 広報まきのほらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------|------------------|
| 1. 全て | 2. 表紙 | 3. 特集・お知らせ |
| 4. 市政情報 | 5. まちのわだい | 6. 健康ひろば（各検診日程等） |
| 7. 困りごと、悩みごと相談 | 8. 牧人 | 9. 図書館へ行こうよ |
| 10. 集まれまきのほら KIDS | 11. 生活情報 | 12. 巻末特集 |
| 13. 輝け未来（裏表紙） | | |

問 22 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

文字の大きさ	1. 大きい	2. ちょうど良い	3. 小さい		
文字の量	1. 多い	2. ちょうど良い	3. 少ない		
ページ数	1. 多い	2. ちょうど良い	3. 少ない		
見やすさ	1. 見やすい	2. どちらかとい えば見やすい	3. どちらかとい えば見にくい	4. 見にくい	5. どちらとも いえない
内容	1. 良い	2. どちらかとい えば良い	3. どちらかとい えば悪い	4. 悪い	5. どちらとも いえない

<牧之原市の行政サービスについてお聞きます>

問 23 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？ また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に○印をお付けください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

評 価 項 目	満足度 満足 ←→ 不満				重要度 高い ←→ 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
	1	2	③	4	1	②	3	4
〔記入例〕 行政改革の取り組み								
みんなが主役 想いが実現するまち								
1 自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
2 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
3 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	1	2	3	4	1	2	3	4
4 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み（市では協働を進めています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
6 行政改革の取り組み（効果的、効率的な取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4

評 価 項 目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
支えあい学びあう幸せのまち								
7 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
8 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
9 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
10 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
11 福祉施設などの整備(介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
12 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
13 こども医療費制度 (現在、中学生まで医療費助成を行っています。 基本的には1回の受診は個人負担が500円)	1	2	3	4	1	2	3	4
14 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
17 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (平成22年3月から指定管理者制度が導入されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
18 幼稚園・保育園の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
19 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 小・中学校施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4

評 価 項 目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
21 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
22 学校・家庭・地域での子どもたちへの学力向上 への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
23 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
知恵や技術を活かした活力あるまちづくり								
26 茶業安定の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策 や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
30 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場の 復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
31 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
33 空港を活用するための取り組み (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
34 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
35 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
36 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評 価 項 目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
うみ・そら・みどりと共生するまち								
38 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
39 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み (市では三戸町、松川町など、交流推進に取り組んでいます)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 自然環境の保全への取り組み (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 生活環境対策などへの取り組み (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
42 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 公害防止対策への取り組み (工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
44 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
45 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
48 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
50 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
51 道路や河川の補修や道路や河川の整備	1	2	3	4	1	2	3	4

評 価 項 目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
52 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
53 計画的な土地利用の推進 （住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担）	1	2	3	4	1	2	3	4
54 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
55 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
56 公共交通の充実（バス交通など） （通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
57 情報通信技術（ＩＣＴ）の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4

<あなたご自身のことについてお聞きます>

問 24 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

1. 男 性

2. 女 性

2 あなたの年齢は？

1. 19歳以下

2. 20～29歳

3. 30～39歳

4. 40～49歳

5. 50～59歳

6. 60～69歳

7. 70～79歳

8. 80歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○はひとつ）

1. 一人暮らし

2. 夫婦のみ

3. 二世世代家族（親と子）

4. 三世世代家族（親と子と孫）以上

5. その他（ ）

4 あなたの職業は？

1. 農・林・漁業

2. 会社員・公務員・団体職員（役員含む）など

3. アルバイト・パートなど

4. 自営業

5. 学 生

6. 主婦・主夫（家事専業）

7. 無 職

8. その他（ ）

5 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡

2. 波津・須々木

3. 大江・片浜

4. 大沢・菅山

5. 萩 間

6. 地頭方

7. 静 波

8. 細 江

9. 川 崎

10. 勝間田

11. 牧之原

12. 坂 部

次ページの質問へのご回答もお願いします。

<日ごろ思うことを、なんでもお書きください>

問 25 暮らしの中で、日ごろ喜びを感じたり、不満に思ったりしていることや、市役所への意見、市の取り組みの満足度を上げるアイデアなど、ご自由にお書きください。

ご 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た。

引き続き、牧之原市議会アンケートにもお答えください。

お手数ですが、この調査票と議会アンケートを同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに8月1日（金）までにご投函ください。

平成 26 年度
牧之原市 市民意識調査
報 告 書

発 行 平成 26 年 9 月
発 行 者 牧 之 原 市
企画・編集 政策協働部 企画課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>